

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略

最先端に挑み続ける「ものづくり」で「ひとづくり」 「輝くSUWA」の創生戦略

効果検証結果

表紙 目次	P1
効果検証結果の概要	P2
KPI進捗及び目標値一覧	P6
一之柱 魅力的で安定した「しごと」ができる「まち」の創生	P10
1 魅力的なしごと ～Attractive Job～ をつくる	P13
2 創造都市 ～Creative City～ をつくる	P23
3 新たな価値 ～New Value～ をつくる	P27
二之柱 「行ってみたい」、「戻ってきたい」、 「住んでみたい」と思える「まち」の創生	P30
1 「知っている」から「行ってみたい」まちへ	P33
2 「住み続けたい」、「戻ってきたい」まちへ	P37
3 「住んでみたい」、「選ばれる」まちへ	P40
三之柱 若い世代の「希望」を実現、 「ひと」を育てる「まち」の創生	P43
1 「結婚したい！」希望をかなえる	P46
2 「授かりたい、産みたい！」希望をかなえる	P47
3 「子育てしたい！」希望をかなえる	P50
4 「学びたい、学ばせたい！」希望をかなえる	P57
5 「働きたい！」希望をかなえる	P60
四之柱 誰もが安全・安心・安定して暮らせる、 個性が輝く「まち」の創生	P62
1 安全・安心な「暮らし」	P64
2 みんなで支えあう「暮らし」	P68
3 快適・便利な「暮らし」	P70
4 生きいき、元気な「暮らし」	P77
5 学べる、感じる「暮らし」	P83

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証結果の概要

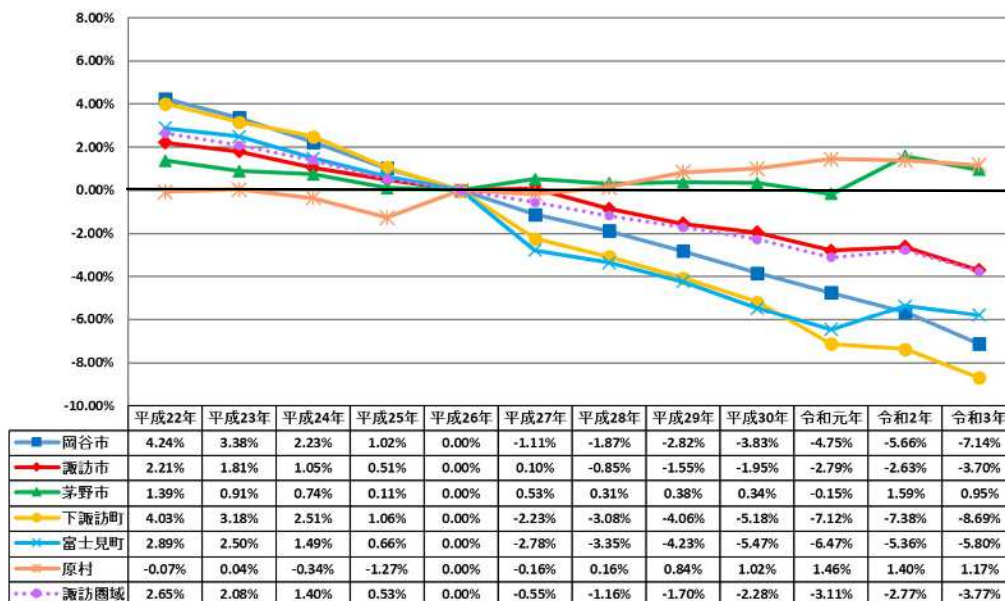
1 人口について

諏訪市の令和3年度人口は48,238人です。これは人口ビジョンにおける目標人口47,579人に対しては659人上回っていますが、毎年人口は減少しています。なお、平成27年度、令和2年度に人口が増加していますが、これは国勢調査の結果を反映したことによる増加です。



図：諏訪市人口の推移

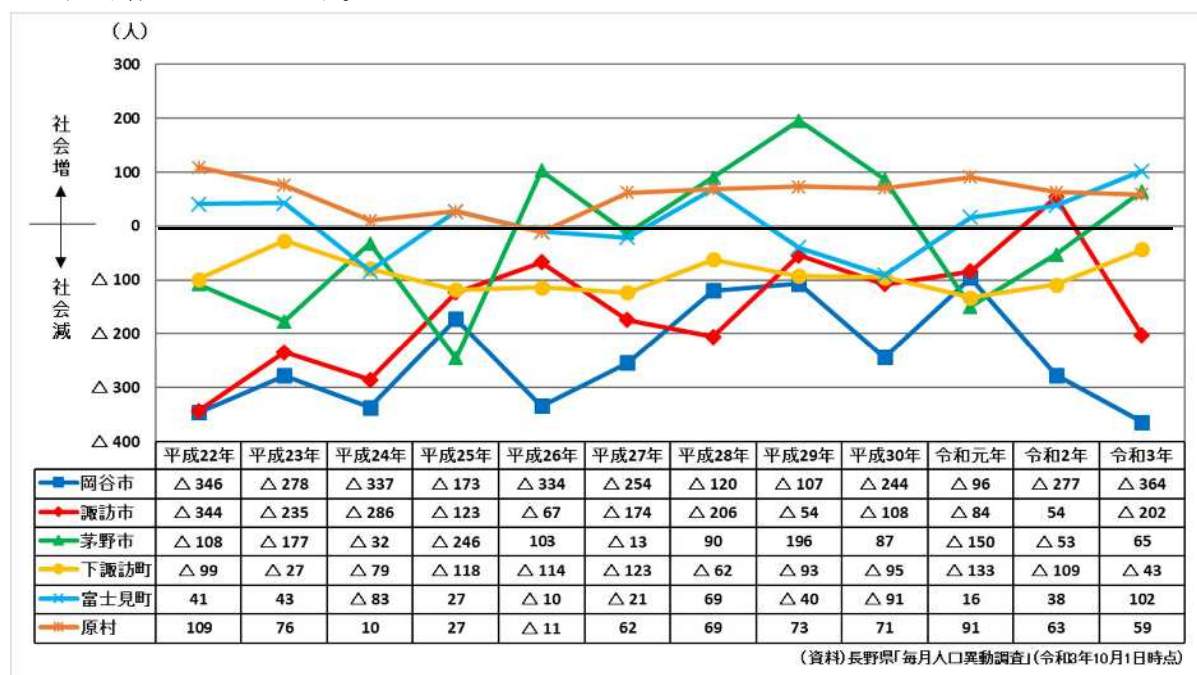
総合戦略計画期間開始前年の平成26年を基準とした人口増減率をみると、諏訪市の人口は減少を続けています。諏訪圏域全体を見ても減少傾向であることがわかります。



(資料)総務省「国勢調査」、長野県「毎月人口変動調査」(令和3年10月1日時点)

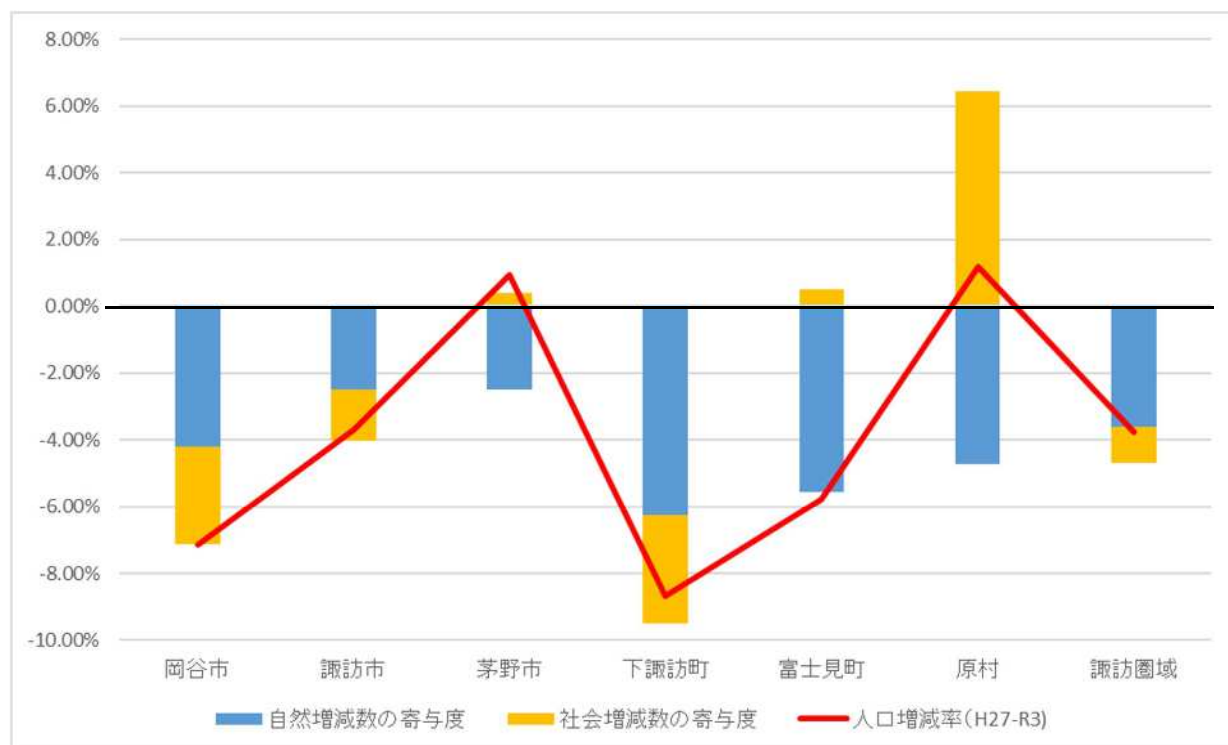
図：人口の推移（増減率）

令和2年に諏訪市は16年ぶりに社会増に転じましたが、令和3年は大きく社会減となりました。自然減と合わせると400人以上の人口減少となっています。茅野市・富士見町・原村では社会増となっています。



図：諏訪圏の社会増減推移

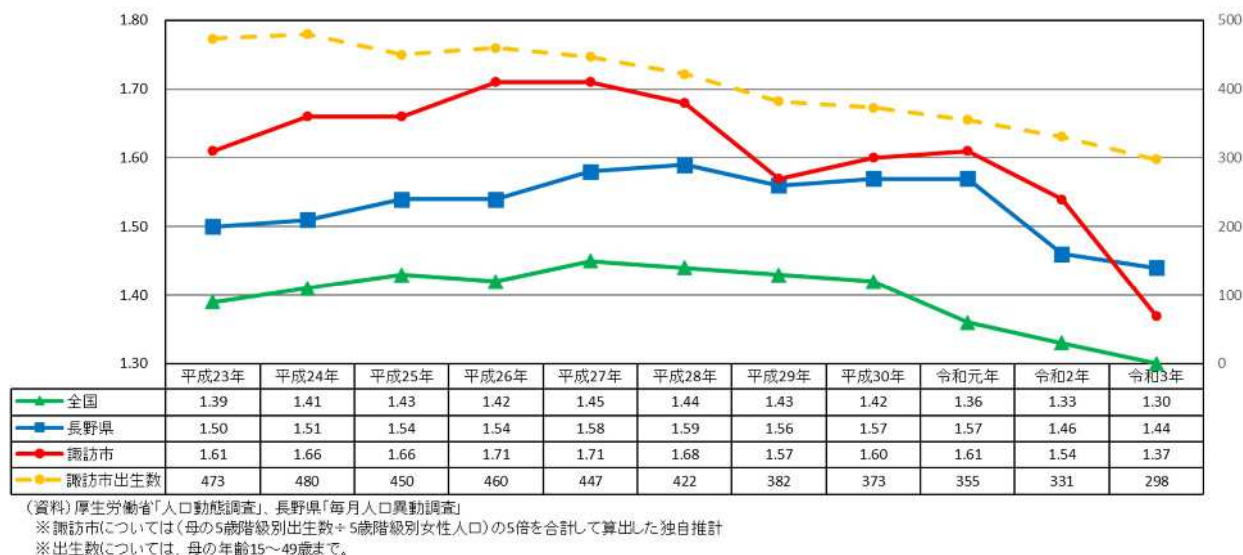
過去7年間の自然増減と社会増減が人口増減にどの程度影響しているのかをみると、自然減の影響の方が大きいことがわかります。



図：諏訪圏の自然増減社会増減の人口に対する寄与度（H27～R3）

令和3年の合計特殊出生率については、諏訪市は全国平均を上回っていますが、長野県の数値に対しては下回り、人口ビジョンにおける2040年2.27という目標達成については依然厳しい状況です。

自然増を目指すには出生数の増加が必要です。また、人口ビジョンにおける人口推計も出生率の向上が条件となっています。日本全体を見ても、自然減幅を抑制し自然増への転換を目指すには、出生数の増加は大きな課題です。



図：出生率推移

2 第2期地方創生総合戦略について

諏訪市では、令和4年度を計画初年度とする「第六次諏訪市総合計画」について、第2期諏訪市版総合戦略を一体化して策定しました。計画の中には、「関係人口」「新たな時代への対応」等といった、国の示す指針や方針についても色濃く反映させています。また、KPIについてはアウトカムを基本として設定を行いました。

第六次諏訪市総合計画では、諏訪市人口ビジョンにおける人口目標値を引き継いで、令和22年43,000人以上、令和42年40,000人以上を設定しています。

3 新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業で影響が出ていますが、この影響による目標値の変更は実施しておりません。

なお、効果検証について、数値目標やKPIの効果検証に対しては感染症の影響を記載する欄を設け、主な成果については感染症の影響、感染症を起因にした課題等の下線をつけています。

数値目標やKPIについては客観的な実績数値を使用し実施しますが、新型コロナウイルス感染症の影響についてもどの程度あったのかを同時に把握いたします。

4 数値目標の効果検証

総合戦略における四つの柱に掲げる **12 項目の数値目標**について、計画最終年度（令和 3 年度）の目標達成状況を 3 段階で評価しました。多くの項目で昨年度と同様の達成度となっています。

柱	数値目標	基準値	実績値	目標値	達成度	前年比較
一之柱	市内事業所従業者数	27,528 人 (平成 24 年)	26,259 人 (令和 3 年速報値)	28,000 人 (令和 3 年)	努力が必要	－
	市内民営事業所数	3,457 事業所 (平成 24 年)	2,994 事業所 (令和 3 年速報値)	3,500 事業所 (令和 3 年)	努力が必要	－
	製造品出荷額等 (従業員 4 人以上の事業所)	7,679,776 万円 (平成 25 年)	8,610,098 万円 (※令和 2 年)	10,000,000 万円 (令和 3 年)	概ね順調	↓
二之柱	社会増減数	△67 (平成 26 年)	△774 (7 年間累計)	△1,318 (7 年間累計)	順調	→
	生産年齢人口	29,115 人 (平成 26 年)	26,971 人 (令和 3 年)	26,574 人 (令和 3 年)	順調	→
	観光客入込数	6,168,519 人 (平成 26 年)	3,984,524 人 (令和 3 年)	6,400,000 人 (令和 3 年)	努力が必要	→
三之柱	合計特殊出生率	1.64 (※平成 26 年)	1.37 (令和 3 年)	1.78 (令和 3 年)	努力が必要	↓
	自然増減数	△67 (平成 26 年)	△1,248 (7 年間累計)	△776 (令和 3 年)	努力が必要	→
	学校教育に対する 市民満足度	3.01 (平成 27 年)	3.26 (令和 4 年調査)	向上 (令和 4 年調査)	概ね順調	→
四之柱	防災対策に対する 市民満足度	3.16 (平成 27 年)	3.35 (令和 4 年調査)	向上 (令和 4 年調査)	順調	↗
	健康づくりに対する 市民満足度	3.31 (平成 27 年)	3.47 (令和 4 年調査)	向上 (令和 4 年調査)	順調	↗
	生涯学習に対する 市民満足度	3.11 (平成 27 年)	3.23 (令和 4 年調査)	向上 (令和 4 年調査)	順調	↗

※「市内事業所従業者数」及び「市内民営事業所数」は令和 3 年経済センサス速報値。「製造品出荷額等」は令和 3 年経済センサスの確定数値。

5 重要業績評価指標（KPI）の効果検証

一之柱から四之柱に掲げる各施策の **80 項目の重要業績評価指標（KPI）**について、計画最終年度（令和 3 年度）の目標達成状況を 3 段階で評価しました。

※（ ）は前年の効果検証結果

柱	順調	概ね順調	努力が必要	実績値なし	計	感染症の影響を大きく受けたもの
一之柱	8 (8) 38.1% (38.1%)	3 (3) 14.3% (14.3%)	7 (7) 33.3% (33.3%)	3 (3) 14.3% (14.3%)	21	4 ※一之柱の 19.1%
二之柱	7 (5) 50.0% (35.7%)	1 (3) 7.2% (21.4%)	3 (6) 21.4% (42.9%)	3 (0) 21.4% (0.0%)	14	3 ※二之柱の 21.4%
三之柱	7 (7) 35.0% (35.0%)	8 (6) 40.0% (30.0%)	4 (5) 20.0% (25.0%)	1 (2) 5.0% (10.0%)	20	4 ※三之柱の 20.0%
四之柱	7 (9) 28.0% (34.6%)	4 (3) 16.0% (11.5%)	14 (14) 56.0% (53.8%)	0 (0) 0.0% (0.0%)	25	14 ※四之柱の 56.0%
計	29 (29) 36.3% (35.8%)	16 (15) 20.0% (18.5%)	28 (32) 35.0% (39.7%)	7 (5) 8.7% (6.2%)	80	25 ※全体の 31.3%

達成度の目安…順調（目標値以上）、概ね順調（80%以上 100%未満）、
努力が必要（80%未満）、実績値なし（当該年度の実績値なし）

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗及び目標値一覧

柱	施策	具体的な施策	KPI	令和3年 目標値	令和3年度 実績	令和3年度 達成度
一 之 柱	1 魅力的な しごと～ Attractive Job～をつくる	(1)工業の振興による競争力強化	製造業の従業員数 (従業員4人以上の事業所)	4,428人	5,004人	順調
			工場等立地促進助成金の申請件数	10件/年度	10件	順調
			新規創業した工業事業所数	2事業所/年度	1事業所	努力が必要
		(2)観光の振興による競争力強化	観光消費額	2,030,000万円	1,176,556万円	努力が必要
			外国人宿泊者数	41,000人	172人	努力が必要
		(3)商業の振興による競争力強化	商店数	600店	-	実績値なし
			年間販売額	17,000,000万円	-	実績値なし
		(4)農業の振興による競争力強化	認定農業者数	42人	35人	概ね順調
			耕作放棄地解消面積	0.2ha/年度	0.9ha	順調
		(5)若い世代の地元就職の促進・定着化	インターンシップ受入人数	20人/年度	6人	努力が必要
			大学卒業者等就職ガイダンス延べ参加者数	700人/年度	697人	概ね順調
	2 創造都市 ～Creative City～をつくる	(1)プロフェッショナル人材の誘致・育成	産業連携プロジェクト地域外参画事業者数	75者	146者	順調
		(2)地域の資源、創意工夫を活かした新産業・新事業の創出	空き店舗等活用補助金利用件数	2件/年度	3件	順調
			新技術・新製品研究開発による新製品市販化	4社/年度	13社	順調
			新規みやげ品開発数	2件/年度	0件	努力が必要
		(3)新規開業者・UIJターン起業者へのサポート体制構築	諏訪市の支援を受けたUIJターンによる起業数	2件/年度	2件	順調
	3 新たな価値～New Value～をつくる	(1)域外マナーを「稼ぐ力」の向上	諏訪圏工業メッセ共同出展における商談成立・継続交渉件数	12件/年度	-	実績値なし
			県外開催展示会への出展企業数	25社/年度	21社	概ね順調
		(2)様々な連携の促進による新たな可能性の発掘・育成	産業連携プロジェクト参画事業者数	320者	436者	順調
			大学と市内企業とのマッチング件数	10件/年度	6件	努力が必要
		(3)「SUWAブランド」の創出による新たな可能性の発信	「SUWAプレミアム」取扱商品数	166点	99点	努力が必要

4項目 ※新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたもの

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗及び目標値一覧

柱	施策	具体的な施策	KPI	令和3年 目標値	令和3年度 実績	令和3年度 達成度
二 之 柱	1「知っている」から「行ってみたい」まちへ	(1)豊富な観光資源を活かした観光戦略	宿泊客数	590,000人	293,879人	努力が必要
			観光消費額【再掲】	2,030,000万円	1,176,556万円	努力が必要
		(2)官民が連携したシティプロモーションによる魅力発信	移住・定住サポートサイトへのアクセス件数	10,000件	15,244件	順調
			ふるさと寄附金件数	1,700件	2,024件	順調
	2「住み続けたい」、「戻ってきたい」まちへ	(1)若い世代に向けた情報発信	大学卒業者等就職ガイダンス延べ参加者数【再掲】	700人/年度	697人	概ね順調
			奨学金の大学生貸与者のうち、卒業後の諏訪市居住者の割合	67.00%	0.0%	努力が必要
		(2)「ふるさと」としての愛着や誇り、地域貢献への意識醸成	学校支援ボランティア参加者延べ数	27,800人	9,647人	努力が必要
			生涯学習リーダーバンク登録者数	35人	65人	順調
	3「住んでみたい」、「選ばれる」まちへ	(1)移住相談、移住サポート体制の充実	移住セミナー等での相談者数	130人/年度	161人	順調
			諏訪圏移住相談センターへの相談件数	200人/年度	-	実績値なし
		(2)UIJターンの支援	諏訪市移住促進人材バンク利用者数	5人	-	実績値なし
			諏訪市の支援を受けたUIJターンによる起業数【再掲】	2件/年度	2件	順調
		(3)空き家バンクの活用促進	諏訪市空き家バンクによる契約成立件数	3件/年度	15件	順調
			諏訪市空き家バンク登録物件数	80件	241件	順調

3項目 ※新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたもの

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗及び目標値一覧

柱	施策	具体的な施策	KPI	令和3年 目標値	令和3年度 実績	令和3年度 達成度
三 之 柱	1「結婚したい！」希望をかなえる	(1)結婚に関する相談支援、きっかけづくりとなる出会いの支援	結婚相談登録者数	55人	104人	順調
			婚活イベント、セミナーへの参加者数	-	-	-
			「諏訪市新婚新生活住まい補助金」の交付見込数に対する交付決定数の割合	80.0%	120.0%	順調
	2「授かりたい、産みたい！」希望をかなえる	(1)妊娠・出産への支援	妊婦一般健康診査受診率 (1回目受診数/当年度妊娠届出数)	100%	97.8%	概ね順調
			新生児等の家庭訪問実施率 (訪問数/出生数)	100%	92.7%	概ね順調
		(2)出産前後のサポート体制整備	父親向け子育て講座受講率	20.00%	4.0%	努力が必要
	3「子育てしたい！」希望をかなえる	(1)安心して子育てができる環境整備	児童センター利用者数(児童、保護者)	27,000人	9,958人	努力が必要
			ファミリー・サポート・センター利用件数	1,000件	802件	概ね順調
			病児病後児保育利用者数	400人/年度	471人	順調
		(2)保育所の充実	保育所の待機児童数	0人	0人	順調
			出生数	2,985人 (7年間累計)	2,684人 (累計)	概ね順調
		(3)子育ての経済的負担・精神的負担を軽減するサポート体制構築	公立子育て支援センターでの相談件数	700件	1,430件	順調
			ひとり親世帯の就業支援による就業成立数	10件/年度	1件	努力が必要
	4「学びたい、学ばせたい！」希望をかなえる	(1)ものづくり教育を核としたキャリア教育の推進	「相手意識に立つものづくり科」アンケートで「ものづくりは楽しい」と答えた児童生徒の割合	95.00%	90.3%	概ね順調
			「相手意識に立つものづくり科」アンケートで「将来社会へ出たら必要な力や大切なことなどがわかりました」と答えた児童生徒の割合	87.40%	84.5%	概ね順調
		(2)国際理解教育や情報教育、地域学習などの推進	国際理解教育年間授業時間数(小学校各学校あたり)	105時間	105時間	順調
			夢科保養学園入園児童数	150人/年度	-	実績値なし
		(3)特別な支援が必要な子どもたちへの支援	教育相談最終結件数	130件	111件	概ね順調
	5「働き続けたい！」希望を実現	(1)多様な就労形態、育児休業の取得促進	「くるみん」認定企業数	3事業所	3事業所	順調
			「社員の子育て応援宣言！」登録企業数	100事業所	94事業所	概ね順調
		(2)仕事と生活と調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	「ワーク・ライフ・バランス」啓発のための講座・講演会参加者数	200人	47人	努力が必要

4項目 ※新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたもの

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗及び目標値一覧

柱	施策	具体的な施策	KPI	令和3年 目標値	令和3年度 実績	令和3年度 達成度
四之柱	1 安全・安心な「くらし」	(1)防災対策の強化、地域防災の充実	市地震総合防災訓練への参加者数	11,960人	47人	努力が必要
			自主防災組織の組織率	100%	95.6%	概ね順調
		(2)誰もが安心して自分らしく暮らすことができる支援	ボランティア登録者率	20.0%	19.1%	概ね順調
			障がい福祉サービス利用計画作成率	100%	100%	順調
	2 みんなで支えあう「くらし」	(1)市民参加のまちづくり推進、コミュニティの活性化	区・自治会の加入率	93.0%	83.9%	概ね順調
			外部評価制度の導入	実施	実施	順調
			すわまちくらぶ来館者数	-	-	-
			出前講座回数	50回/年度	19回	努力が必要
	3 快適・便利な「くらし」	(1)賑わいのあるまちの形成	駅前交流テラスすわっチャオ利用者数	200,000人/年度	126,070人	努力が必要
			かりんちゃんバスの1便当たり利用者数	7.5人/便	5.7人/便	努力が必要
		(2)地域公共交通網が確保された利便性の高い交通環境整備	二次交通を考慮した路線及びダイヤの改正	構築	構築	順調
			諏訪湖・霧ヶ峰の環境保全活動へのボランティア参加者数	1,000人	337人	努力が必要
		(3)快適な生活環境の維持保全	再生可能エネルギー等導入設置補助制度等による太陽光最大発電能力累計	6,500kW	6,924kW	順調
			再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度による補助件数累計(太陽光は除く)	16件	9件	努力が必要
		(4)公共施設やインフラなどの既存ストックの計画的な維持管理	市公共施設の総延床面積	215,891㎡	216,645㎡	概ね順調
			個別施設計画の策定率	100%	100%	順調
	4 活いき、元気な「くらし」	(1)健康づくりの推進による健康寿命延伸	すわっコランド入館者数	310,000人	193,828人	努力が必要
			特定健康診査受診率	60%	47.4% (暫定値)	努力が必要
		(2)持続可能な地域医療の実現	小児夜間急病センター利用者数	2,591人	922人	努力が必要
			在宅当番医の利用者数	2,500人	1,026人	努力が必要
		(3)住み慣れた地域で暮らし続けるための介護予防、介護サービスの推進	認知症サポーターの延べ養成数	3,700人	3,993人	順調
			要介護認定率	18.80%	17.53%	順調
	5 学べる、感じる「くらし」	(1)子どもから大人まで、生涯学べる環境づくり	生涯学習課主催の講座延べ参加者数	17,000人	6,214人	努力が必要
			スポーツ課主催・共催のスポーツ教室延べ参加者数	3,385人	2,351人	努力が必要
		(2)諏訪市の自然や歴史文化に触れる機会の創出	博物館入場者数	17,000人	8,688人	努力が必要
			美術館入場者数	10,000人	3,125人	努力が必要

14項目 ※新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたもの

一之柱 魅力的で安定した「しごと」ができる「まち」の創生

基本目標

諏訪市の地域資源や技術を活かすとともに、新たな人材の誘致、素材の発掘により、魅力的な「しごと」をつくり、安定した豊かな生活を営むことができる「まち」を目指します。

達成度の目安									
【数値目標の進捗状況】									
○順調：目標値以上 ○概ね順調：80%以上100%未満									
○努力が必要：80%未満 ○実績値なし：当該年度の実績値なし									
数値目標	項目	平成24年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
市内事業所従業者数 (経済センサス)	目標値		28,000人	28,000人	28,000人	28,000人	28,000人	28,000人	28,000人
	実績値	27,528人	※H26年 27,010人	26,809人	-	-	-	-	26,259人 (速報値)
	達成度		努力が必要	努力が必要	実績値なし	実績値なし	実績値なし	実績値なし	努力が必要
数値目標	項目	平成24年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
市内民営事業所数 (経済センサス)	目標値		3,500事業所	3,500事業所	3,500事業所	3,500事業所	3,500事業所	3,500事業所	3,500事業所
	実績値	3,457事業所	※H26年 3,353事業所	3,238事業所	-	-	-	-	2,994事業所 (速報値)
	達成度		努力が必要	努力が必要	実績値なし	実績値なし	実績値なし	実績値なし	努力が必要
数値目標	項目	平成25年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
製造品出荷額等(4人以上事業所) (工業統計調査)	目標値		7,743,021万円	7,807,266万円	7,871,510万円	7,935,755万円	8,000,000万円	10,000,000万円	10,000,000万円
	実績値	7,679,776万円	※平成26年 7,890,722万円	※平成27年 8,618,400万円	※平成28年 9,447,874万円	※平成29年 10,149,252万円	※平成30年 10,012,331万円	※令和元年 9,536,164万円	※令和2年 8,610,098万円
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調

【総合分析】

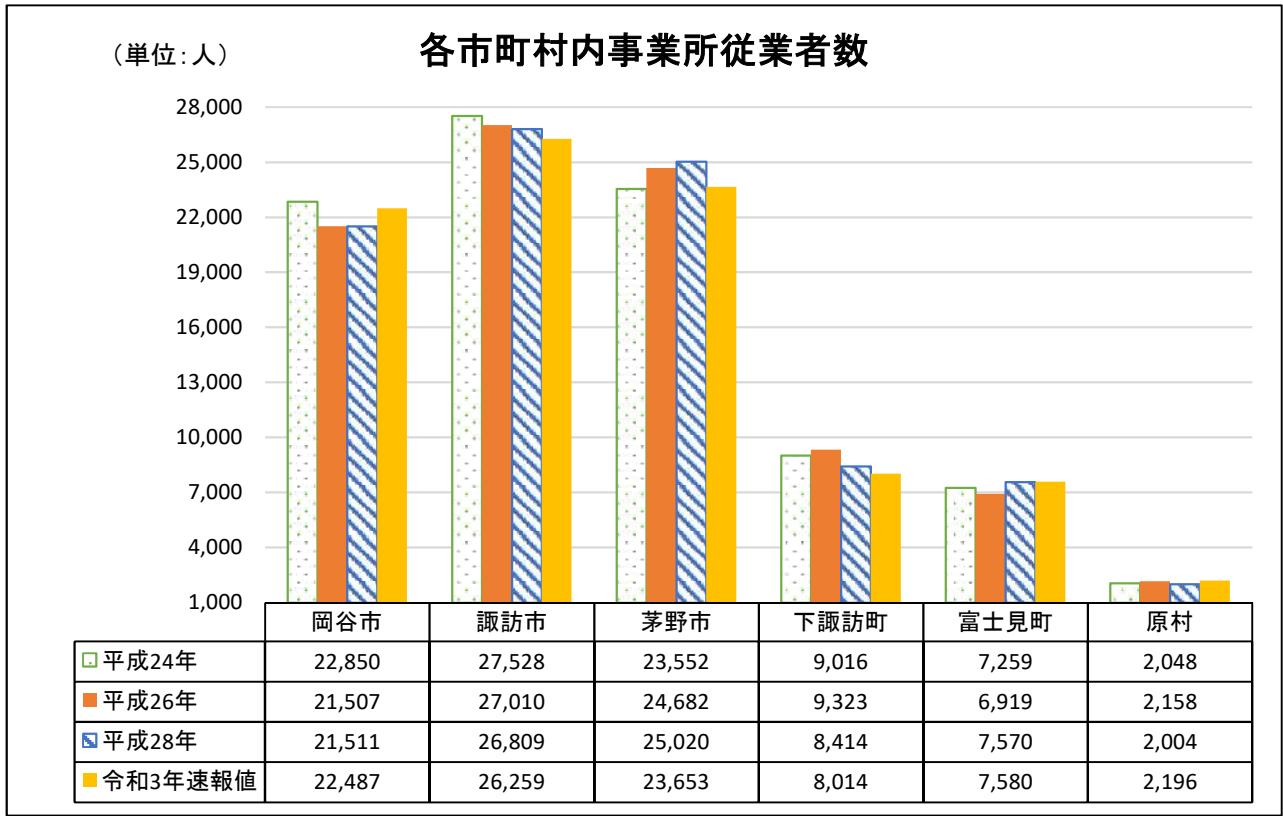
数値目標に対する新型コロナウイルス感染症の影響
数値目標のうち、市内事業所従業者数及び市内民間事業所数については、平成28年の数値より減少しているものの、基準値と平成28年とを比較した減少幅を考えると、現状維持とまではいかないが、コロナ禍でありながら減少を抑制できているものと考えられる。
●観光の振興による競争力強化 感染状況に応じて人の移動の自粛が求められる中、宿泊産業は市内で最も経済的打撃を受けている産業であり、感染対策を行いながらの集客イベントによる誘客では観光消費額拡大が難しい状況となっている。また、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線の運休・入国制限等が生じていることから、外国人観光客の誘客そのものが実質的に不可能な状況に陥っている。
●若い世代の地元就職の促進・定着化 感染症の影響により、短期インターンシップの増加やオンライン活用など、実施方法に変化が生じてきている。就職ガイダンスについては、オンライン開催に切り替えることで令和2年度以上の参加者が確保できた。全国的に感染症の影響でガイダンスが少なくなっており、採用担当者とコンタクトできる場が求められていると考えられる。
●域外マネーを「稼ぐ力」の向上 感染症の影響により、諏訪圏工業メッセの対面開催は令和3年度も中止となりオンライン開催となったが、対面開催と比較すると商談が少なく、運営方法等に課題が残る結果となった。しかしながら、令和3年度後半には感染状況が落ち着き、各企業の県外展示会出展の動きが活性化した。

一之柱 魅力的で安定した「しごと」ができる「まち」の創生

【総合分析】

基本目標の達成に寄与した取組成果
●農業の振興による競争力強化 耕作放棄地解消については、令和2年度実績ほどではないものの、農業委員等と連携し450%の大幅な目標達成となった。また、ふるさと納税の返礼品としている諏訪湖米、後山産松茸、りんごは好評である。
●プロフェッショナル人材の誘致・育成 ワーケーション推進事業やデザインプロジェクト、産業連携事業補助等を通じ、地域外の新たな事業者や関係者の参画が順調に広がっている。また、他業種間の連携においては、過去に行った別プロジェクトや事業で関係性ができた事業者とのマッチングによる支援も広がっている。
●様々な連携の促進による新たな可能性の発掘・育成 実績を上げた過去のプロジェクトが地域外にも周知されてきており、事業化に実績のあるキーマンを起点にして、新たな参画者のプロジェクトや域外協力者への広がりにつながる好循環となっている。
今後の方向性
●観光の振興による競争力強化 諏訪市観光グランドデザインを実現していくため、新たな観光素材の発掘・磨き上げを行う等、通年での誘客促進及び滞在時間延長の取り組みにより、観光消費額の拡大を図る。また、新型コロナ流行収束後の海外旅行需要では、アジア・欧米豪の12地域の中で「日本」を希望する需要が比較的高いことから、コロナ収束後の需要国（特にアジアや東南アジア等）の状況を注視し、引き続き県内や近隣自治体と連携した招聘事業の誘致を図っていく。
●域外マナーを「稼ぐ力」の向上 諏訪圏工業メッセ共同出展は、規模が小さく単独出展が難しい企業のための施策であるため、企業の技術力をよりPRできる展示方法等を検討し、継続して支援していく。また、県外開催展示会への出展については、他自治体の制度内容を参考にしたり、展示会のトレンド等を反映したりして補助制度を見直し、継続して支援していく。
●「SUWAブランド」の創出による新たな可能性の発信 令和3年度には、SUWAプレミアムの活動やビジネスモデルが評価され「産業観光まちづくり大賞」において、経済産業大臣賞を受賞した。引き続き、販売に終始せず、ブランドストーリーに重きを置いたブランディングを行い、地域の魅力発信に結びつけていく。

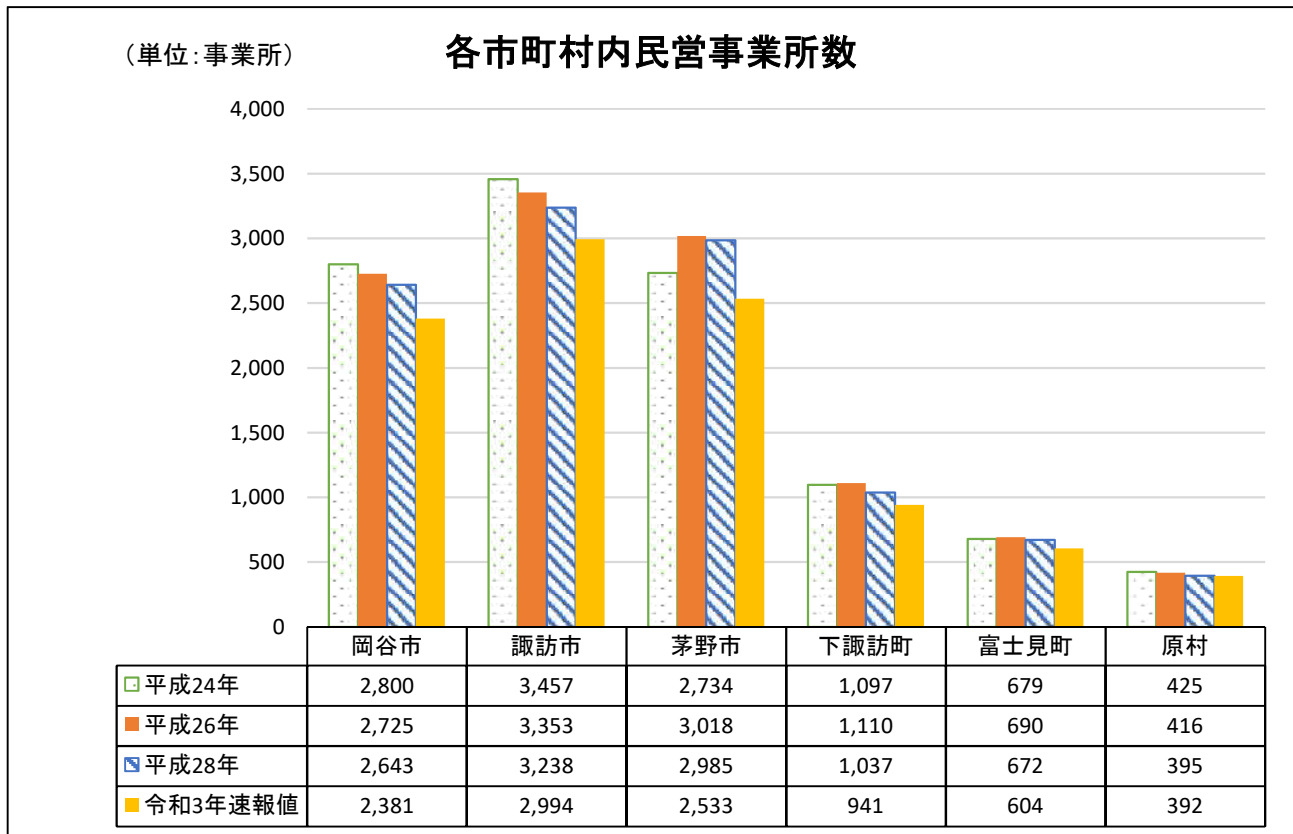
【参考：諏訪地域の数値】



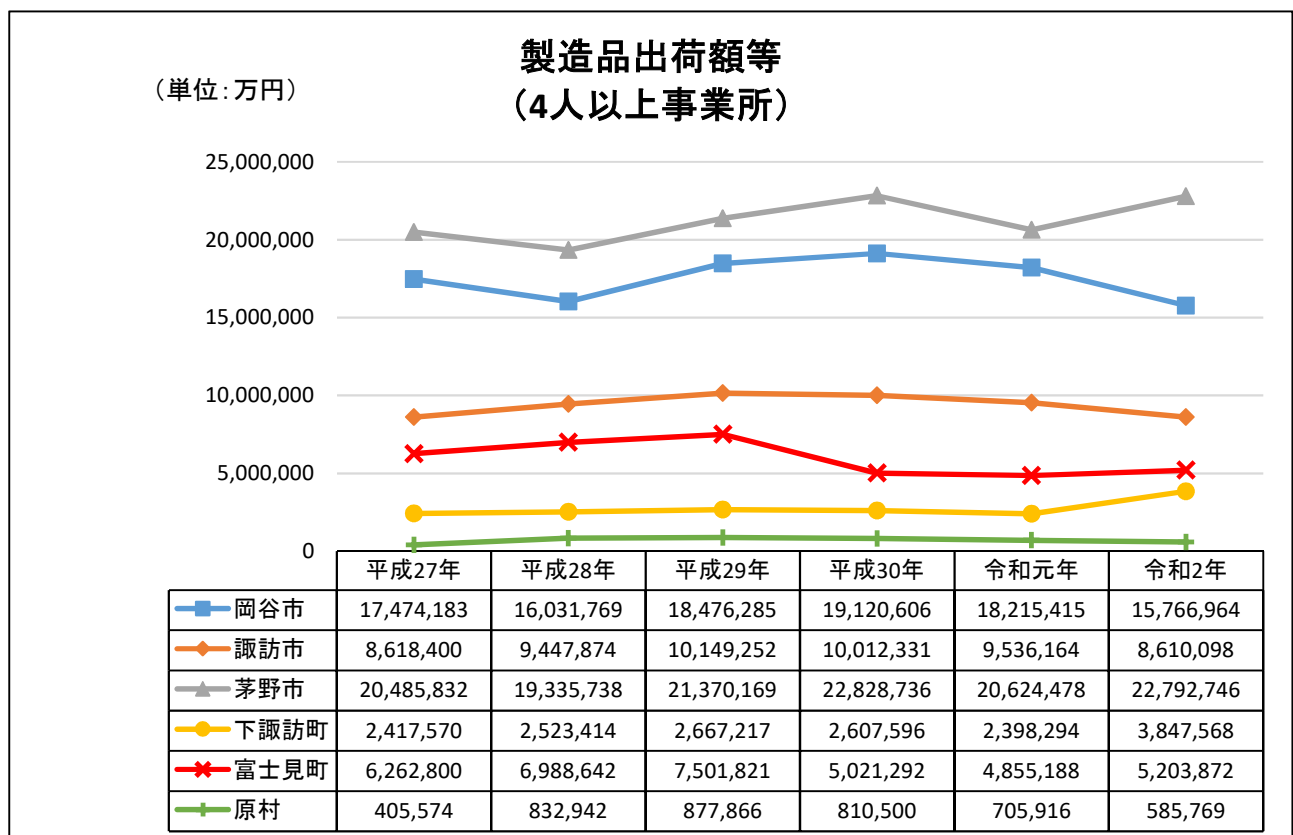
(資料)経済産業省「経済センサス」

一之柱 魅力的で安定した「しごと」ができる「まち」の創生

【参考：諏訪地域の数値】



(資料)経済産業省「経済センサス」



(資料)経済産業省「工業統計調査」

1 魅力的なしごと～Attractive Job～をつくる

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) 工業の振興による競争力強化

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
製造業の従業員数 (従業員4人以上の事業所)	目標値		4,428人	4,428人	4,428人	4,428人	4,428人	4,428人	4,428人
	実績値	4,428人	-	4,609人	4,888人	4,999人	5,190人	5,085人	5,004人
	達成度		実績値なし	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響	各種補助金や融資等により、引き続き厳しい状況ではあるが雇用を維持していると考えられる。製造業については、中国ロックダウン、ウクライナ情勢、円安など不透明な外部環境が懸念材料となっている。							
	達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響も懸念されるところだが、大幅な減少なく雇用を維持できていると考えている。							
	今後の取組	今後成長が見込まれる成長産業分野などへ企業が進出する際の支援を行い、新規受注の確保により従業員数の維持を図る。今後も引き続き雇用情勢にかかる新型コロナウイルス感染症の影響を注視していく必要がある。							
工場等立地促進助成金の申請件数	目標値		7件/年度	7件/年度	7件/年度	7件/年度	7件/年度	10件/年度	10件/年度
	実績値	7件	10件	16件	13件	15件	10件	15件	10件
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	年度により利用件数が増減するが、今年度は10件の利用があった。また、アンケートの結果では工場を増設したことにより生産性も向上し、新たな雇用に結びついている。							
	今後の取組	制度利用をした企業への調査、国や他自治体の制度内容を見ながら、継続的に実施していく。							
新規創業した工業事業所数	目標値		2事業所/年度	2事業所/年度	2事業所/年度	2事業所/年度	2事業所/年度	2事業所/年度	2事業所/年度
	実績値	2事業所	2事業所	1事業所	1事業所	2事業所	1事業所	2事業所	1事業所
	達成度		順調	努力が必要	努力が必要	順調	努力が必要	順調	努力が必要
	感染症の影響								
	達成状況の分析	令和3年度の新規創業工業者は1社である。工業を行うにはそれなりの規模が必要であるため、まずは希望に見合う物件があるかが大きな課題となるが、市内で希望物件を見つけるのに苦労すると聞いている。事業用地の確保も今後の課題である。							
	今後の取組	新規創業を促すためにも支援は必要であり、国や他自治体の制度内容を見ながら、継続的に実施していく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
工場等立地促進助成金 商工課	工場、事務所等、市内への企業の立地を促進、立地企業の事業経営の支援を実施。 【実績】令和3年度 工場等の新設・増設・空き工場取得: 10件	土地情報等の収集及び県や不動産業者と連携しネットワークの構築を行う必要がある。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
工場・事務所等の立地促進 商工課	工場、事務所等、市内への企業の立地を促進、立地企業の事業経営の支援を実施。 【実績】令和3年度 工場等の賃貸借助成:10件	創業の候補地として選択してもらえるように、情報の提供・情報発信等の充実を図る。
事業継続計画(BCP)の策定促進 商工課	工業振興審議会から一定のニーズを満たしたため、事業終了と答申がされ、平成29年度までの支援としたが、引き続き希望の企業には、諏訪圏ものづくり推進機構のサポートを紹介している。	令和2年度から外部人材活用補助金の拡充により、コンサルティング等を活用してBCP計画を作成した事業者を支援しており、積極的に周知を行い策定を促進させる。
外国語翻訳支援 商工課	経済のグローバル化に伴い、企業が外国語による契約書や製品カタログ等の作成を行う際の翻訳を支援する。 【実績】令和3年度 制度利用企業:5社、6件	ビジネスの面では、英語・中国語が中心であることから、現状のサポート体制を維持し、必要としている企業の利用を促進していく。
生産設備の導入支援 商工課	第6次諏訪市総合計画の方針により、AI・IoTなど先端分野の導入に切り替え支援する。 【実績】令和3年度 制度利用企業:3社	制度の周知とサポート、先進事例等の情報提供の実施。国との制度の整合性を図る。
工業アドバイザーによる経営・技術アドバイス 商工課	工業専門のアドバイザーにより、企業が直面する様々な課題の解決や技術・生産管理についてのアドバイスを行う。 【実績】令和3年度 訪問企業数:のべ1,122回	アドバイスする企業の相談内容も高度化しており、アドバイザーの負担が大きくなってきている。
経営者やものづくり人材の育成促進 商工課	技術水準の向上及び能力開発を目的に受講させる各種研修の経費負担を軽減し、人材育成に対する意識を高め、工業従事者の能力向上を図る。 【実績】 人材育成補助金交付人数 92人 技術研修補助金交付人数 23人 eラーニング補助金交付人数 66人	人材育成のため、成果が現れるのに時間がかかる。長期的な視点が必要である。令和2年度から、eラーニングを追加し、コロナ禍でも研修が円滑に進められるよう支援をしている。

1 魅力的なしごと～Attractive Job～をつくる

(2) 観光の振興による競争力強化

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
観光消費額	目標値		1,928,716万円	1,946,537万円	1,964,358万円	1,982,179万円	2,000,000万円	2,030,000万円	2,030,000万円
	実績値	1,910,895万円	1,924,941万円	2,014,817万円	1,926,772万円	1,954,582万円	1,968,407万円	1,222,339万円	1,176,556万円
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	感染状況に応じて人の移動の自粛が求められる中、宿泊産業は市内で最も経済的打撃を受けている産業であり、感染対策を行いながらの集客イベントによる誘客では観光消費額拡大が難しい状況となっている。							
	達成状況の分析	コロナ前(令和元年/2019年)と比較して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実績値は大幅に下回った。							
	今後の取組	諏訪市観光グランドデザインを実現していくため、新たな観光素材の発掘・磨き上げを行う等、通年で誘客促進及び滞在時間延長の取り組みにより、観光消費額の拡大を図る。							
外国人宿泊者数	目標値		27,430人	30,572人	33,715人	36,857人	40,000人	41,000人	41,000人
	実績値	24,287人	37,615人	30,312人	25,437人	30,265人	29,098人	3,440人	172人
	達成度		順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線の運休・入国制限等が生じていることから、外国人観光客の誘客そのものが実質的に不可能な状況に陥っている。							
	達成状況の分析	前年比で▲95.0%の減少であり、令和2年7月以降はビジネス目的の入国等が限定的に再開されたものの、観光目的の入国が認められていない状況となっている。							
	今後の取組	新型コロナ流行収束後の海外旅行需要では、アジア・欧米豪の12地域の中で「日本」を希望する需要が比較的高いことから、コロナ収束後の需要国(特にアジアや東南アジア等)の状況を注視し、引き続き県内や近隣自治体と連携した招聘事業の誘致を図っていく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
諏訪湖祭湖上花火大会の実施 観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、第73回諏訪湖祭は、感染防止対策を十分に行いながら、ウィズコロナ時代における新たな形の「湖上花火Two Weeks」として8/1～8/15の間、毎晩約10分間の花火打ち上げを実施した。	花火大会等のスタイルについては、諏訪湖花火の意義と伝統を継承しながら、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ、ウィズコロナ・ポストコロナに対応したスタイルを、柔軟に考えていく必要がある。
地域特色を生かした観光PRの実施 観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏のみならず、管内の各種イベントのほとんどが中止となり、「諏訪の国」ブランドを活用したプロモーション展開も実施不可となった。	コロナ禍に対応した形で「諏訪の国」ブランドを再構築したことから、新たに令和4年諏訪大社式年造営御柱大祭と「諏訪の国」ブランドの相乗効果によるプロモーションを展開することで、観光PRを実施していく。
外国語パンフレットの作成 観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンド誘客需要が皆無となってしまったため、観光パンフレットの印刷は行わず、諏訪地方観光連盟インバウンド戦略部会を通して、ウェブサイトやSNSでの情報発信に特化したプロモーションを展開した。	コロナ収束後の需要国(特にアジアや東南アジア等)の状況を注視し、引き続き県内や近隣自治体と連携した招聘事業の誘致を図っていく必要がある。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
訪日教育旅行の受入 観光課	<u>新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日教育旅行需要が皆無となってしまったため、諏訪地方観光連盟インバウンド戦略部会を通して、ウェブサイトやSNSでの情報発信に特化したプロモーションを展開した。</u>	コロナ収束後の需要国(特にアジアや東南アジア等)の状況を注視し、引き続き県内や近隣自治体と連携した招聘事業の誘致を図っていく。
首都圏で効果的な観光プロモーションの実施 観光課	<u>新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏での観光キャンペーンや各種イベントが中止となったことから、京王新宿にある京王インフォメーションプラザを活用し、現地スタッフによる観光案内を実施した。</u> 【実績】パンフレット配布部数3,245部	諏訪市観光グランドデザインの実現に向けた「誘客コンテンツ」をウェブサイト・SNSを活用した情報発信を行う等、ターゲットごとにメリハリのある施策を効果的に講じることにより、リピーター確保につなげていく必要がある。
霧ヶ峰への誘客促進 観光課	リフト事業は旅館組合や観光協会等との連携による商品等で誘客に努めた。 【実績】 冬山リフト 旅館組合パック 394人 夏山リフト 霧ヶ峰で朝食を 178人 キャンプ場 3,180人	キャンプ場はブーム等もあり来場者が過去に比べて多い。 リフト事業はレジャーの多様化やスキー市場規模の縮小、温暖化等により苦戦しており、今後も厳しい状況と思われる。 今後の霧ヶ峰の活性化等について民間主導によりどんなことが考えられるか検討を進める。
高島城への誘客促進 観光課	企画展を実施。 【実績】 入場者数 34,326人	観光客や市民に愛される施設となるよう、展示物の見直しや企画展等を実施する。
間欠泉センターの施設の充実 観光課	【実績】 来場者数 57,485人	建物、設備ともに老朽化が進んでいる。今後の施設自体のあり方や、サイクリングロード整備、諏訪湖かわまちづくり計画などによる利活用等の検討。

1 魅力的なしごと ～Attractive Job～ をつくる

(3) 商業の振興による競争力強化

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成24年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
商店数 (商業統計調査)	目標値		600店	600店	600店	600店	600店	600店	600店
	実績値	620店	594店	-	604店	-	-	-	-
	達成度		概ね順調	実績値なし	順調	実績値なし	実績値なし	実績値なし	実績値なし
	感染症の影響								
	達成状況の分析	補助制度の継続等により、既存店舗の現状を維持し、創業者を支援することで商店数の減少を抑制していると考えられる。							
	今後の取組	各事業者の経営力向上への資金面での支援の継続、創業者への支援の継続。							
年間販売額 (商業統計調査)	目標値		17,000,000万円	17,000,000万円	17,000,000万円	17,000,000万円	17,000,000万円	17,000,000万円	17,000,000万円
	実績値	16,891,787万円	16,525,400万円	-	17,790,350万円	-	-	-	-
	達成度		概ね順調	実績値なし	順調	実績値なし	実績値なし	実績値なし	実績値なし
	感染症の影響								
	達成状況の分析	補助制度等を利用し、集客することで、人の流れが生まれ消費喚起につながっていると考えられる。							
	今後の取組	補助制度の継続等により、各事業者の販売意識を高めるための支援をする。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
推薦みやげ品の宣伝周知 商工課	市役所ロビー展、パンフレットの改良等を行い、推せんみやげ品の知名度向上を図った。また、市内店舗へ登録勧誘を行った。 【実績】推せんみやげ品登録数 56品 イベントの開催がなく、各種イベントでのPR物販が出来なかった。	推せんみやげ品の更なる宣伝周知の継続、登録制度・開発奨励金制度の周知に努める。 県外イベント等での宣伝が出来ない。
商店街イベントへの支援 商工課	商店街等が顧客獲得のために実施するセールなどのイベント事業に対して補助し、市内商店街の振興を図った。	商店街を維持していくため、イベントは集客という目に見える効果はあるが、商店街の独自財源での開催は難しく、継続した市の補助が必要である。 コロナ対策を取りながら新規要素を取り入れたイベント開催となるよう助言をする。
店舗リフォーム助成制度 商工課	既存店舗のリフォームへ補助することで、リフォーム需要を喚起し、市内小規模建設事業者の業務受注を促進させ、まちの賑わいづくりにつなげ市内経済の活性化を図った。 【実績】店舗補助件数 7件 補助金額 1,572千円	店舗リフォーム補助金は、市内経済の活性化を目指し、本事業の更なる宣伝周知の継続に努める。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部						
中小企業者への融資 商工課	「緊急経営対策資金」「緊急経営借換資金」を延長し、中小企業者に必要な資金のあっせんを行うことで事業資金借入を容易にし、また利用者に対し利子補給、保証料補給をすることで借入後の負担軽減を行い、資金面での支援をした。 【実績】 <table border="1"> <tr> <td>融資利用件数</td> <td>385件</td> </tr> <tr> <td>利子補給金額</td> <td>34,169,447円</td> </tr> <tr> <td>保証料補給金額</td> <td>87,051,585円</td> </tr> </table>	融資利用件数	385件	利子補給金額	34,169,447円	保証料補給金額	87,051,585円	企業にとって、どのような制度を必要としているかを見極めより利用しやすい制度となるよう内容の見直しを行っていく。
融資利用件数	385件							
利子補給金額	34,169,447円							
保証料補給金額	87,051,585円							
創業支援事業計画による創業支援事業 商工課	産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画により、諏訪商工会議所内に、ワンストップ個別相談窓口を設置、創業に必要な知識の習得のための指導、創業機運醸成事業による創業啓発イベントの開催、コワーキングスペース「Tsunagu」の活用等による創業支援事業を実施した。	創業者に出来るだけ早い段階での関わりが有効な支援と思われるため、事業の更なる周知に努め、関係機関との連携を密にし事業を継続していく。						

1 魅力的なしごと ~Attractive Job~ をつくる

(4) 農業の振興による競争力強化

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
認定農業者数	目標値		30人	33人	34人	39人	39人	40人	42人
	実績値	29人	33人	33人	37人	39人	39人	39人	35人
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調
	感染症の影響								
	【備考】 毎年1人以上の新規認定	達成状況の分析							
	今後の取組	農業者数が減少している中で認定農業者数は伸び悩んでいるが、新規就農者については、微増ではあるが確保できている。 認定農業者の確保について、農業者への周知を行い、認定数の維持・増加を推進していく。また、新規就農者については、引き続き県・JAと連携し相談する中で確保を図っていく。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
耕作放棄地解消面積	目標値		0.2ha/年度	0.2ha/年度	0.2ha/年度	0.2ha/年度	0.2ha/年度	0.2ha/年度	0.2ha/年度
	実績値	2.5ha	0.1ha	0.2ha	1.27ha	0.87ha	5.9ha	3.1ha	0.9ha
	達成度		努力が必要	概ね順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響								
	【備考】 現状の取組状況をもとに 目標を設定	達成状況の分析							
	今後の取組	年2回の農業委員による農地パトロールを行い、耕作放棄所有者への利用意向調査を実施し、耕作放棄地や遊休農地の解消を図るため、農地利用最適化に向けた取組みを実施できた。 耕作放棄地の解消について、農業委員と農地利用最適化推進委員と関係機関と協力し、耕作放棄地所有者と農地を探している人とのマッチングの体制づくりを推進していく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
人・農地プランによる 新規就農者の支援 農林課	新たに農業経営を開始する農業者に対して経営資金の援助を実施した。	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、新たな担い手を確保し、地域農業の振興を図るため、今後も継続していく。
多面的機能支払交付事業 農林課	農地・水路・農道等の地域資源の保全管理や長寿命化、農村環境保全等のために地域共同で行う活動に対して支援を実施した。	本事業の協定面積を維持・拡大させることは、農地や水路、農道等の地域資源を適切に保全管理し、農業農村の有する多面的多面的活動の維持・発揮に繋がるので、今後も推進していく。
諏訪野菜ブランド プロジェクトとふるさと納税の農産物の返 礼品への取組 農林課	ふるさと納税の返礼品として出品している諏訪湖米、後山産松茸、リンゴが好評である。	農家の高齢化による担い手不足による生産量維持が課題であり、各種関係団体と連携し、事業を継続的に進めていく。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
農作物の鳥獣被害対策の取組 農林課	諏訪市猟友会や諏訪市鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣駆除の他、諏訪市鳥獣被害対策協議会に対し、鳥獣駆除及び侵入防護柵設置の支援を実施した。	諏訪市猟友会や諏訪市鳥獣被害対策実施隊を中心に、捕獲体制の強化を図り、尚一層の有害鳥獣駆除を進めていく。
農道・農業用水路の修繕 農林課	用水の安定供給に与する農業用施設の修繕工事の実施の他、地元分担金を徴収し水路の新設等の整備工事を実施した。	農業用施設の修繕・整備を行うことで用水の安定供給だけでなく流域治水対策の推進にも繋がるため、地元区等と協議を行いながら計画的に実施を進めていく。

1 魅力的なしごと ～Attractive Job～ をつくる

(5)若い世代の地元就職の促進・定着化

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
インターンシップ受入 人数	目標値		10人/年度	12人/年度	14人/年度	16人/年度	18人/年度	20人/年度	20人/年度
	実績値	-	10人	8人	6人	13人	21人	7人	6人
	達成度		順調	努力が必要	努力が必要	概ね順調	順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の 影響	感染症の影響により、企業によってはインターンシップを規模縮小するなど受け入れが困難になっている。コロナ禍で短期インターンシップが増加したり、オンラインの活用が増えるなど実施方法に変化が生じている。							
	達成状況 の分析	感染症の影響もあり、参加実績6名と低調に推移した。ただし、就職後のミスマッチによる離職を防ぐためにも必要な事業であると考えているため、継続して実施していく。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定		今後の取組 引き続き学生の受入を促進することで、地元就職を推進していく。新卒の学生を採用へつなげるため積極的に支援していく。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
大学卒業者等就職ガイ ダンス延べ参加者数	目標値		700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度
	実績値	627人	452人	465人	444人	515人	316人	575人	697人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	概ね順調	概ね順調
	感染症の 影響	予定していた3回の就職ガイダンスが中止になったが、オンライン開催に振り替えることで参加実績をある程度確保することができた。全国的にも感染症の影響によりガイダンスが少なくなっていることから、採用担当者とコンタクトできる場を求めていると考えられる。							
	達成状況 の分析	感染症の影響はあるが、新規学卒者の採用意欲は低下していないとみられ、動向を注視していく必要がある。							
【備考】 計画当初の目標値を維持		今後の取組 景気や市場の動向により参加者が大きく変動する事業であるため、継続して地道に取り組むことが必要である。オンラインを含めた多様な情報発信方法の検討をする。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
インターンシップの促進支援 商工課	インターンシップを実施した中小企業者に対し補助を行うことで、ものづくりを支える優秀な人材を継続的かつ安定的に雇用できるよう支援をする。 【実績】令和3年度 インターンシップ受入人数: 6人	インターンシップを通して、諏訪地域の企業の魅力を伝えていくとともに、企業と学校との産学連携の促進を図っていく。コロナの影響を受ける中で、オンライン等活用して企業の魅力を発信していくことも重要となる。
職業観の早期醸成、早期離職の解消、地元就職の推進 商工課	キャリア教育事業の一環として、市内高校へ諏訪地域の企業が出向き事業概要や会社組織、学生時代に身に付けてほしい能力や社会に出て働くという厳しさ、やりがい等についての説明、質疑応答をした。 【実績】実施高校 1校 参加企業数 10社	成果がすぐ目に見える事業ではないため、継続して地道に取り組む実施校も増やしていく。 保護者へ向けた情報発信や、大学進学後の学生に対するフォローアップについて実施する。
大学卒業予定者や転職移住者等への情報発信 商工課	大学等卒業予定者、転職移住者等への就職説明会の開催により、市内企業への求職希望者と求人企業のマッチングの機会とし、雇用の確保につなげた。また、大学訪問や企業ガイドブックの作成により、市内企業の情報発信の一手段として採用動画作成への支援を始めている。 【実績】就職説明会開催 6回 大学訪問 1校	成果がすぐ目に見える事業ではないため、継続して地道に取り組むことが必要である。 多様な情報発信方法を検討する。 令和4年度もオンライン企業説明会を開催し、マッチングの機会を提供していく。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
雇用奨励金の交付 商工課	・障がい者、子育て女性を雇用した事業主に奨励金を交付し、幅広い雇用の創出につなげた <u>【実績】</u> 障がい者3名、子育て女性6名	「子育て女性・障がい者」支援の充実を検討していく。特に子育て女性の把握が難しいため、事業者に対し積極的に情報提供を行う。
諏訪東京理科大学の公立化 企画政策課	平成30年4月の公立化後、志願者が大きく増加。県外からの志願者が約84%となっている。	引き続き連携強化を図るとともに、地域外からの入学者の諏訪地域への就職を促す取組をより充実させる必要がある。

2 創造都市 ～Creative City～ をつくる

(1) プロフェッショナル人材の誘致・育成

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
産業連携プロジェクト 地域外参画事業者数	目標値		12者	14者	16者	18者	20者	70者	75者
	実績値	10者	17者	23者	51者	62者	75者	94者	146者
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響	感染症により、域外関係者との連携や参画に支障が出ないか懸念されたものの、オンラインの活用や感染対策への配慮の他、比較的感染が抑制されたタイミングを見計らい事業を行い、新たな展開に結びつくことができた。							
	達成状況の分析	ワーケーション推進事業やデザインプロジェクト、産業連携事業補助等を通じ、地域外の新たな事業者や関係者の参画は順調に広がっている。今後も、諏訪市の魅力や成功事例の外部発信を継続し、新たな諏訪ファンの獲得を目指していく。							
【備考】 平成30年実績62者を上回る数値を目標に設定	今後の取組	成功事例や連携実績を外部にPRしながら、新たな地域内外の人材や企業潜在的な資源の顕在化につながるよう、幅広い異分野の事業者や関係団体にも周知していく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
SUWAデザインプロジェクト 産業連携推進室	公立諏訪東京理科大学の大学生が参加し2年目となった。受託事業者や首都圏クリエイターと直接打ち合わせの機会は一続き限定的だったが、オンラインツールを活用した遠隔地との双方向でのやりとりによりカバーした。事業者・大学生の双方が新規アイデア創出のレクチャーを受け、地元企業の魅力発信の動画を作成した。 【実績】令和3年度 参加大学生:11名 参加事業数:3	地元大学生の活動を通じて関係人口の創出や地元事業者の魅力発信に効果があるとの評価が多く、今後も継続実施を見込んでいるが、プロジェクトに参画する新規大学生や事業者への周知案内が課題である。 <u>引き続き、感染症の影響に配慮し、安全安心を確保するためオンラインの活用等を併用しながら効果的な事業を目指す。</u>
産業連携事業補助金 産業連携推進室	新たな連携の基になるテーマや課題が寄せられた際に、過去に行った別プロジェクトや事業で関係性ができた事業者とのマッチングにより支援が広がっている。今後とも、他業種間の人材が交流し、新たな事業展開のきっかけ作りとなるよう支援していく。 【実績】令和3年度 補助した事業数:5 補助した金額:347万円	域外からの移住者や、近隣市町村の先進事業者から新規案件の相談が寄せられるなど、潜在的な人材や既存地域資源の掘り起しは継続した取り組みが必要である。そのためにも、幅広い異分野の事業者や関係団体へも声掛けしながら連携支援を継続していく。
学生雇用応援事業 商工課	公立諏訪東京理科大学学生に就職先の候補として諏訪の企業を知ってもらうため、製造業を主とした市内企業の工場見学、情報提供等を行い、将来の雇用を後押しする。 【実績】令和3年度参加人数 16名 コロナの影響から参加人数の制限等を実施。	担当窓口となる大学就職課等に事業の趣旨を理解してもらい、学生への周知・募集に協力いただく必要がある。 <u>企業の学生受け入れにあたって感染対策を講じる必要があり、調整が必要。</u>

2 創造都市 ～Creative City～ をつくる

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 地域の資源、創意工夫を活かした新産業・新事業の創出

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
空き店舗等活用補助 金利用件数	目標値		2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度
	実績値	-	3件	5件	3件	1件	2件	0件	3件
	達成度		順調	順調	順調	努力が必要	順調	努力が必要	順調
	感染症の 影響								
	達成状況 の分析	事業者にとって空き店舗等を活用することは新築に比べ初期投資を削減できるとともに、市内空き店舗等の有効活用による賑わい創出効果を生み出すことができるため、当補助事業の実施は有効である。							
【備考】 計画当初の目標値を維持	今後の 取組	空店舗等は地域が衰退しているという印象をあたえてしまうため、既存事業を継続する。							
	目標値		4社/年度	4社/年度	4社/年度	4社/年度	4社/年度	4社/年度	4社/年度
	実績値	4社	1社	3社	2社	4社	4社	14社	13社
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	順調	順調	順調	順調
	感染症の 影響	感染症の影響を乗り越えるため新技術・新製品の開発に前向きにチャレンジする企業を支援するため、予算額を拡充して支援を行った。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基本 計画との整合を図り設定	達成状況 の分析	補助金には13社が採択された。コロナの中で積極的に新技術・新製品の開発に取り組む意欲的な企業に支援することができた。							
	今後の 取組	企業が研究開発体質を持つことが競争力を維持・向上させることに繋がるため、制度の周知を行い引き続き研究開発に取り組む企業を支援していく。							
	目標値		-	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度
	実績値	-	-	0件	2件	2件	1件	5件	0件
	達成度		実績値なし	努力が必要	順調	順調	努力が必要	順調	努力が必要
新規みやげ品開発数	感染症の 影響								
	達成状況 の分析	新たにみやげ品を完成させることは簡単ではないため今年度においては申請がなかったが、奨励金があることで開発意識及び事業者のみやげ品に対する認知度を向上させられる。							
	今後の 取組	新たなみやげ品を開発することで、事業者の販売意識や経営力を高めることにつながるため、補助制度の周知に努めながら支援していく。							
	目標値		-	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度
	実績値	-	-	0件	2件	2件	1件	5件	0件
【備考】 計画当初の目標値を維持	達成度		実績値なし	努力が必要	順調	順調	努力が必要	順調	努力が必要
	感染症の 影響								
	達成状況 の分析	新たにみやげ品を完成させることは簡単ではないため今年度においては申請がなかったが、奨励金があることで開発意識及び事業者のみやげ品に対する認知度を向上させられる。							
	今後の 取組	新たなみやげ品を開発することで、事業者の販売意識や経営力を高めることにつながるため、補助制度の周知に努めながら支援していく。							
	目標値		-	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度
	実績値	-	-	0件	2件	2件	1件	5件	0件
	達成度		実績値なし	努力が必要	順調	順調	努力が必要	順調	努力が必要

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
空店舗等活用補助事業 商工課	市内の空店舗等を有効活用し街の賑わいづくりにつなげるため、新たに空き店舗等を改装して事業を開始する事業者に対して改修費用の一部を補助する。 【実績】 店舗補助件数 3件 補助金額 1,500千円	持続可能な地域経済実現に向け、空店舗等活用補助は商店街の賑わいづくりに有効な手段であり、若手創業者への支援にもなるが、その後も継続的な支援が必要である。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
新技術・新製品開発支援 商工課	新技術・新製品の開発に意欲的な企業を支援し、新産業・新事業の創出を図る。 【実績】令和3年度 新技術・新製品開発補助の申請・採択企業数:13社(感染症の影響を考慮し、予算拡充) 各種認証取得支援事業補助の申請・採択企業数:0社	各種認証取得支援事業は航空・宇宙産業や医療・ヘルスケア産業を対象とするため、認証自体のハードルが高いが、認証取得を進めている企業に対し引き続き支援していく。
新規みやげ品開発への支援 商工課	市役所ロビー展、パンフレットの改良等を行い、推せんみやげ品の知名度向上を図った。また、市内店舗へ登録勧誘を行った。 【実績】物販回数 0回 推せんみやげ品登録数 56品 <u>感染症の影響により、イベント等が中止となり各種イベントでのPR物販は出来なかった。</u>	推せんみやげ品の更なる宣伝周知の継続、登録制度・開発奨励金制度の周知に努める。
諏訪圏5市町村によるSUWAブランド創造事業 商工課	以下2事業を介して、SUWAブランドの販路開拓・若年層を対象としたものづくり機会の創出・提案型技術者の育成を実施する。 1. SUWAブランドの普及・高付加価値化事業 2. 関係人口の創出とものづくり人材の育成・確保事業	主な事業目的が人材育成のため、成果が現れるのが数年後となる。長期的な視点が必要だが、成果の見える化が必要である。 <u>感染対策を徹底することで、例年と同規模のワークショップを開催することができた。</u>

2 創造都市 ～Creative City～ をつくる

(3) 新規開業者・UIJターン起業家へのサポート体制構築

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
諏訪市の支援を受けたUIJターンによる起業数	目標値		-	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度
	実績値	-	-	1件	3件	2件	4件	1件	2件
	達成度		実績値なし	努力が必要	順調	順調	順調	努力が必要	順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	諏訪市の利率や利子補給は開業者の資金計画のなかで魅力的な資金となっている。							
	今後の取組	利率や利子補給については魅力的な内容になっているため、更なる広報周知に努め、利用率のアップを図る。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
開業支援資金 商工課	創業に必要な資金のあつせんを行うことで事業資金借入れを容易にし、また利用者に対し利子補給、保証料補給することで借入れ後の負担軽減を行い、資金面での支援をした。 【実績】 開業支援資金利用者 市20件 県14件	金融業界全体の金利が大幅に下がっている中で、市の制度資金の利用率アップは難しいが、より利用しやすい制度となるよう、内容の見直しを行っていく。UIJターン者の周知に努める。
店舗等の立地促進 商工課	店舗等の立地促進を図り、雇用の創出と地域活性化を目的とし、店舗等の新設等に伴い発生する固定資産税額を補助した。 【実績】2件	土地柄上、積極的な店舗誘致ができずにいるが、この制度が諏訪市で新規に開業するきっかけの一つになるよう周知する。
創業支援事業計画による創業支援事業【再掲】 商工課	産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画により、諏訪商工会議所内に、ワンストップ個別相談窓口を設置、創業に必要な知識の習得のための指導、創業機運醸成事業による創業啓発イベントの開催、コワーキングスペース「Tsunagu」の活用等による創業支援事業を実施した。	創業者に出来るだけ早い段階での関わりが有効な支援とされるため、事業の更なる周知に努め、関係機関との連携を密にし事業を継続していく。

3 新たな価値 ～New Value～ をつくる

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) 域外マネーを「稼ぐ力」の向上

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
諏訪圏工業メッセ共同 出展における商談成 立・継続交渉件数	目標値		12件/年度	12件/年度	12件/年度	12件/年度	12件/年度	12件/年度	12件/年度
	実績値	11件	10件	6件	5件	5件	4件	-	-
	達成度		概ね順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	実績値なし	実績値なし
	感染症の 影響	令和3年度も、感染症の影響によりリアルでの諏訪圏工業メッセが中止となった。							
	達成状況 の分析	諏訪圏工業メッセが中止されたことの代替として、オンライン商談会を開催したが受注獲得に いたらず低調に終わっている。リアルで開催される工業メッセと比較すると商談が少なく、運営 方法等に課題が残る。							
【備考】 計画当初の目標値を維持	今後の 取組	規模が小さく単独出展が難しい企業のための施策であるので、より技術をPR出来る展示方法 を検討し、継続して支援していく。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
県外開催展示会への 出展企業数	目標値		25社/年度	25社/年度	25社/年度	25社/年度	25社/年度	25社/年度	25社/年度
	実績値	22社	17社	16社	24社	22社	18社	14社	21社
	達成度		努力が必要	努力が必要	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要	概ね順調
	感染症の 影響	年度の後半はコロナ感染状況も落ち着き、各企業の展示会出展の動きが活発化した。							
	達成状況 の分析	令和3年度も引き続き補助金の上限額・補助率について拡充をし、積極的に販路開拓に取り 組む企業に対して支援を実施した。昨年と比較すると補助金実績が伸びており、出展した企 業に対して手厚くサポートすることができた。							
【備考】 計画当初の目標値を維持	今後の 取組	展示会に出展した企業の評価や、他の自治体の制度内容、展示会のトレンド等を反映して制 度を見直し、継続していく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
諏訪圏工業メッセ共同 出展事業 商工課	令和3年度は、感染症の影響によりリアルで の諏訪圏工業メッセが中止となった。 【実績】令和3年度 実績なし	令和4年度以降は、感染症の影響を注視しつつ、現地開 催とオンライン(メタバース)を併用しながらの運営を検討 していく。
機械要素技術展共同 出展事業 商工課	茅野市との共同により、市内企業を募り国内 最大級の技術展示会へ共同出展する。 【実績】令和3年度 感染症の影響により中止	予算内で装飾方法を見直すなど、より効果的な展示手法 を検討し、企業の負担を軽減していく。感染症の影響を考 慮し、企業と調整を図りながら事業を進めていく。
展示会出展支援事業 商工課	自社の技術・製品をPRし販路開拓を促進し、 工業の振興を図るため、展示会に係る経費の 一部を補助。感染症の影響を考慮し、補助金 の上限額・補助率を拡充した。 【実績】令和3年度 補助した企業数: 21社 補助した金額: 約810万円	企業の経営基盤強化と活性化を図り、地域の競争力強化 のために、新たな販路開拓や受注拡大を促進する。感染 症の影響を考慮し、補助金の予算を拡充し継続支援を行 う。

3 新たな価値 ～New Value～ をつくる

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 様々な連携の促進による新たな可能性の発掘・育成

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
産業連携プロジェクト 参画事業者数	目標値		133者	150者	166者	183者	200者	300者	320者
	実績値	116者	165者	195者	246者	280者	311者	360者	436者
	達成度		概ね順調	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の 影響	産業連携プロジェクトは、昨年同様に感染症の影響を特に受けることはなく、このような状況下でも新しいアイデアや既存資源を生かした企画が寄せられた。							
	達成状況 の分析	実績を上げた過去のプロジェクトの周知が地域内のみならず地域外にも広まり、事業化に実績のあるキーマンを起点にして新たな参画者のプロジェクトや域外協力者への広がりに繋がる好循環となっている。							
【備考】 平成30年実績280者を上回る数値を目標に設定		今後の取組							
		新たな参画希望者や繋がりを求める関係者が交流・声掛けをしやすい場を継続して設置し、成功事例や連携実績の外部PRを進め、様々な地域人材や資源の参入誘発を促していく。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
大学と市内企業との マッチング件数	目標値		10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度
	実績値	8件	12件	6件	6件	3件	5件	8件	6件
	達成度		順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	概ね順調	努力が必要
	感染症の 影響								
	達成状況 の分析	現在は公立諏訪東京理科大学と信州大学と連携してマッチングを実施しているが、令和3年度は公立諏訪東京理科大学とのマッチング2件、信州大学とのマッチング4件であった。							
【備考】 計画当初の目標値を維持		今後の取組							
		公立諏訪東京理科大学と信州大学との連携を更に進めると共に、他大学との連携によるマッチングも視野に入れていく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
産業連携事業補助金 【再掲】 産業連携推進室	新たな連携の基になるテーマや課題が寄せられた際に、過去に行った別プロジェクトや事業で関係性ができた事業者とのマッチングにより支援が広がった。今後とも、他業種間の人材が交流し、新たな事業展開のきっかけ作りとなるよう支援していく。 【実績】令和3年度 補助した事業数: 5 補助した金額: 347万円	様々な事業やプロジェクトの展開をきっかけに、地域内外の人材や地域資源の掘り起しが進んでいる。幅広い異分野の事業者や関係団体から新規案件の相談が寄せられた際には、域外からの移住者や、近隣市町村の先進事業者も含め、適材適所に配慮したマッチング支援が必要である。
蔵前・如水・理窓スマ イリンク事業 商工課	理窓会による講演会「山口東京理科大学における産学連携活動の進め方」 【実績】令和3年度 現地参加: 20名 オンライン参加: 23名	企業のニーズや市場トレンドを反映した一般向けセミナーとともに、未来の人材への種まきとして、子供向けの実験教室などを開催していく。令和4年度も、感染対策を実施した上で、講演会開催に向けて準備を進めていく。
公立諏訪東京理科大学と市内企業とのマッチング事業 商工課	市内企業等のニーズと、公立諏訪東京理科大学のシーズとのマッチングを通じ共同研究等を行い、産学官連携・農工医連携を推進。 【実績】マッチング件数: 2件	わかりやすいシーズ集を大学に作成していただき、企業に広く周知する。 公立諏訪東京理科大学以外の大学のシーズとのマッチングも図る。

3 新たな価値 ～New Value～ をつくる

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(3)「SUWAブランド」の創出による新たな可能性の発信

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
「SUWAプレミアム」取扱商品数	目標値		118点	126点	134点	142点	150点	158点	166点
	実績値	110点	122点	131点	137点	145点	162点	93点	99点
	達成度		概ね順調	順調	順調	順調	順調	努力が必要	努力が必要
【備考】 当初から8点/年増として いる基準を維持	感染症の影響	公式HPでのPRや、機会を捉えた様々な媒体を活用したプレスリリースでの周知が進んだこともあり、特に感染症の影響を大きく受けることもなく取り扱い商品数は順調に推移している。							
	達成状況の分析	令和2年度時点で実績値である取扱商品数が大幅に減少しているが、これは以前より課題だった認定商品の見直し等に起因しているため、それ以降は引き続き増加傾向である。							
	今後の取組	令和3年度には、SUWAプレミアムの活動やビジネスモデルが評価され「産業観光まちづくり大賞」にて、経済産業大臣賞を受賞した。引き続き、販売に終始せず、ブランドストーリーにウェイトを置いたブランディングを行い、地域の魅力発信に結びつけていく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
SUWAプレミアム販路創生事業 産業連携推進室	旗艦店であるSUWAガラスの里は、引き続き団体観光客の来訪が減少するなど、 <u>従来の主な販路だった対面販売は制約を受けることとなった</u> 。そこで、令和2年度に続き、SNSやHPを活用したネットによるPRを進め、販路の多角化に当たった。	感染症に起因する観光スタイルや従来の対面販売の手法が変化し続けていくことが見込まれる。そのような中で、新しいPR方法や変化に応じたブランディングが可能となるよう、新たな連携事業者との協働による体制作りが求められる。
産業連携事業補助金【再掲】 産業連携推進室	新たな連携の基になるテーマや課題が寄せられた際に、過去に行った別プロジェクトや事業で関係性ができた事業者とのマッチングにより支援が広がりとつある。今後とも、他業種間の人材が交流し、新たな事業展開のきっかけ作りとなるよう支援していく。 【実績】令和3年度 補助した事業数:5 補助した金額:347万円	様々な事業やプロジェクトの展開をきっかけに、地域内外の人材や地域資源の掘り起しが進んでいる。幅広い異分野の事業者や関係団体から新規案件の相談が寄せられた際には、域外からの移住者や、近隣市町村の先進事業者も含め、適材適所に配慮したマッチング支援が必要である。

二之柱「行ってみたい」、「戻ってきたい」、「住んでみたい」と思える「まち」の創生

基本目標

諏訪市の観光資源の活用により交流人口の増加を図るとともに、誰もが認める魅力ある地域づくりにより人口流出を抑制することで、人口の社会増への転換を目指し、社会減を縮小します。

達成度の目安
○順調:目標値以上
○概ね順調:80%以上100%未満
○努力が必要:80%未満
○実績値なし:当該年度の実績値なし

数値目標	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
社会増減数 (長野県毎月人口異動調査)	目標値		△188(累計)	△377(累計)	△565(累計)	△754(累計)	△942(累計)	△1,130(累計)	△1,318(累計)
	実績値	△67	△174(累計)	△380(累計)	△434(累計)	△542(累計)	△626(累計)	△572(累計)	△774(累計)
	達成度		順調	概ね順調	順調	順調	順調	順調	順調
【備考】 人口ビジョンをもとに社会減の抑制を目標設定									
数値目標	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
生産年齢人口 (国勢調査等)	目標値		28,752人	28,389人	28,026人	27,663人	27,300人	26,937人	26,574人
	実績値	29,115人	28,648人	28,360人	28,015人	27,839人	27,530人	27,385人	26,971人
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	順調	順調	順調
【備考】 人口ビジョンをもとに生産年齢人口の減少抑制を目標に設定									
数値目標	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
観光客入込数	目標値		6,214,815人	6,261,111人	6,307,408人	6,353,704人	6,400,000人	6,400,000人	6,400,000人
	実績値	6,168,519人	6,213,793人	6,572,737人	6,191,640人	6,300,615人	6,220,152人	4,130,996人	3,984,524人
	達成度		概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
【備考】 諏訪地方観光連盟「観光戦略プラン」をもとに目標を設定									

【総合分析】

数値目標に対する新型コロナウイルス感染症の影響

観光客入込数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年に引き続き大幅に落ち込んでいる。

●豊富な観光資源を活かした観光戦略
感染状況に応じて人の移動の自粛が求められる中、宿泊産業は市内で最も経済的打撃を受けている産業であり、感染対策を行いながらの集客イベントによる誘客では観光消費額拡大が難しい状況となっている。

●若い世代に向けた情報発信
感染症の影響により、短期インターンシップの増加やオンライン活用など、実施方法に変化が生じてきている。就職ガイダンスについては、オンライン開催に切り替えることで令和2年度以上の参加者が確保できた。全国的に感染症の影響でガイダンスが少なくなっており、採用担当者とコンタクトできる場が求められていると考えられる。【再掲】

●「ふるさと」としての愛着や誇り、地域貢献への意識醸成
新たな指導者制度への移行を行う目前で新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、新制度への移行が行えなくなってしまった。

二之柱 「行ってみたい」、「戻ってきたい」、「住んでみたい」と思える「まち」の創生

【総合分析】

基本目標の達成に寄与した取組成果

●官民が連携したシティプロモーションによる魅力発信

ふるさと寄附の返礼品として体験型企画やSUWAプレミアム商品に積極的に取り組んだことにより、寄附件数の目標値を達成することができた。

●移住相談、移住サポート体制の充実

移住セミナー等での相談者数については、対面、オンラインで開催された移住セミナーへの参加や、アウトドアを切り口にした移住プロモーションの実施に努め、目標値を上回った。

●空き家バンクの利活用促進

空き家バンクによる契約成立件数、空き家バンク登録物件数は関係機関との連携により目標を達成できた。また、空家対策についても、パンフレットの作成・配布や協議会における課題整理等を実施することができた。

今後の方向性

●豊富な観光資源を活かした観光戦略

宿泊は経済波及効果が大きいことから、宿泊ニーズが高いターゲットを意識した施策を講じるとともに、令和4年諏訪大社式年造営御柱大祭をフックとしたプロモーション展開と、アフターコロナを視野に入れながら、選ばれる観光地としての情報発信を実施していく。

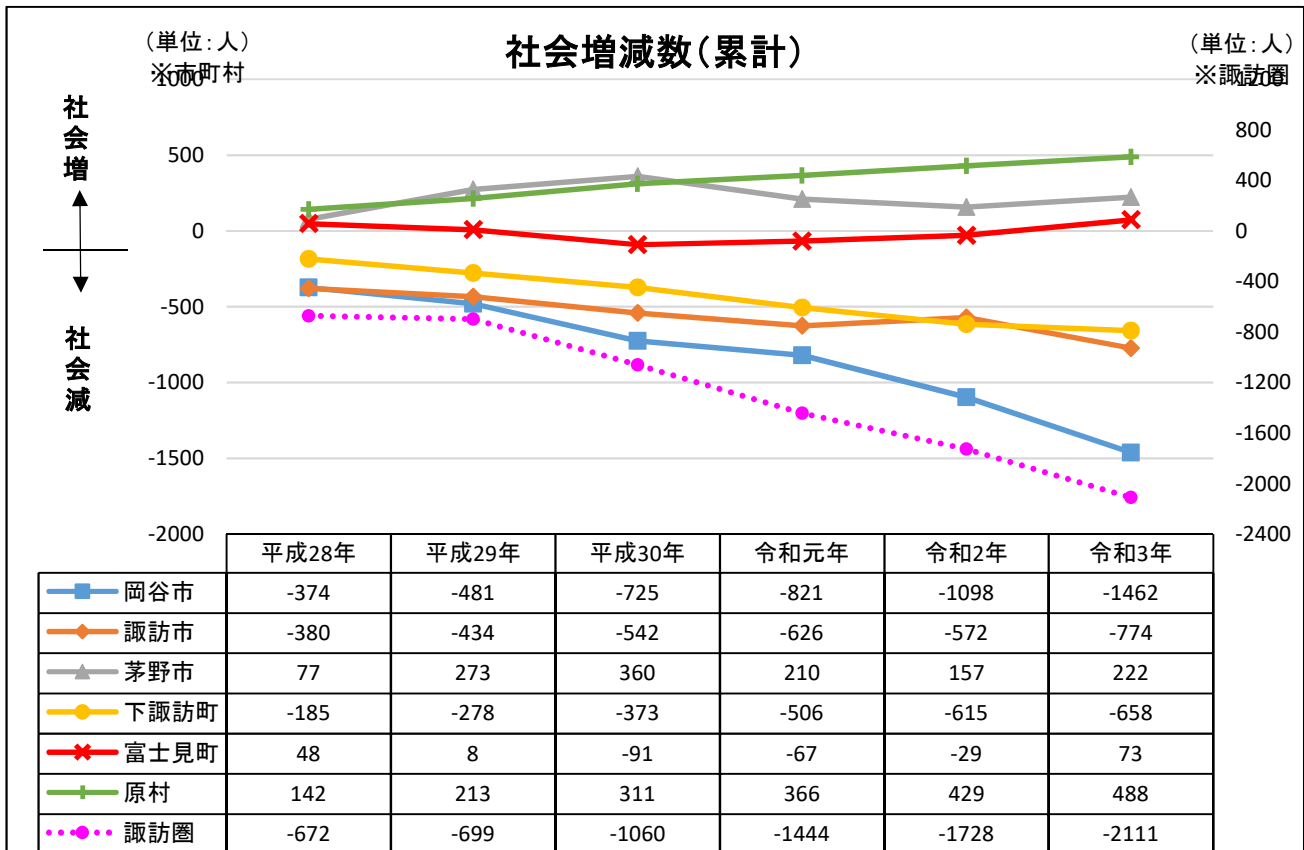
●官民が連携したシティプロモーションによる魅力発信

移住促進に繋がるような魅力ある情報をホームページやSNSで発信できるように努める。また、ふるさと納税制度の趣旨に則り、諏訪市を応援してもらえるような取り組みを拡充させるため、ガバメントクラウドファンディングや魅力的な「体験型」「サービス提供型」返礼品を充実させていく。

●移住相談、移住サポート体制の充実

移住セミナー等については、新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、「新たな生活様式」に沿った形で事業を企画し、移住希望者や関係人口創出につながるPRに務める。

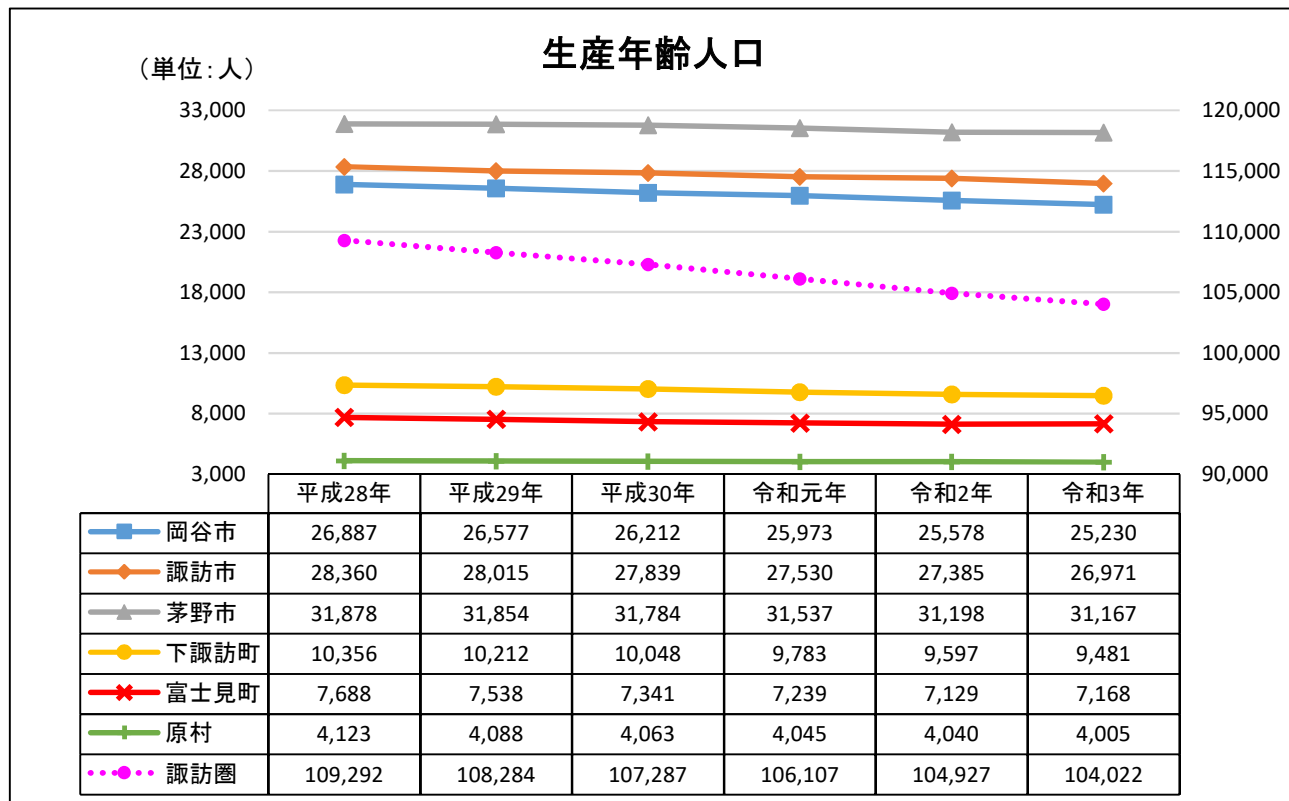
【参考：諏訪地域の数値】



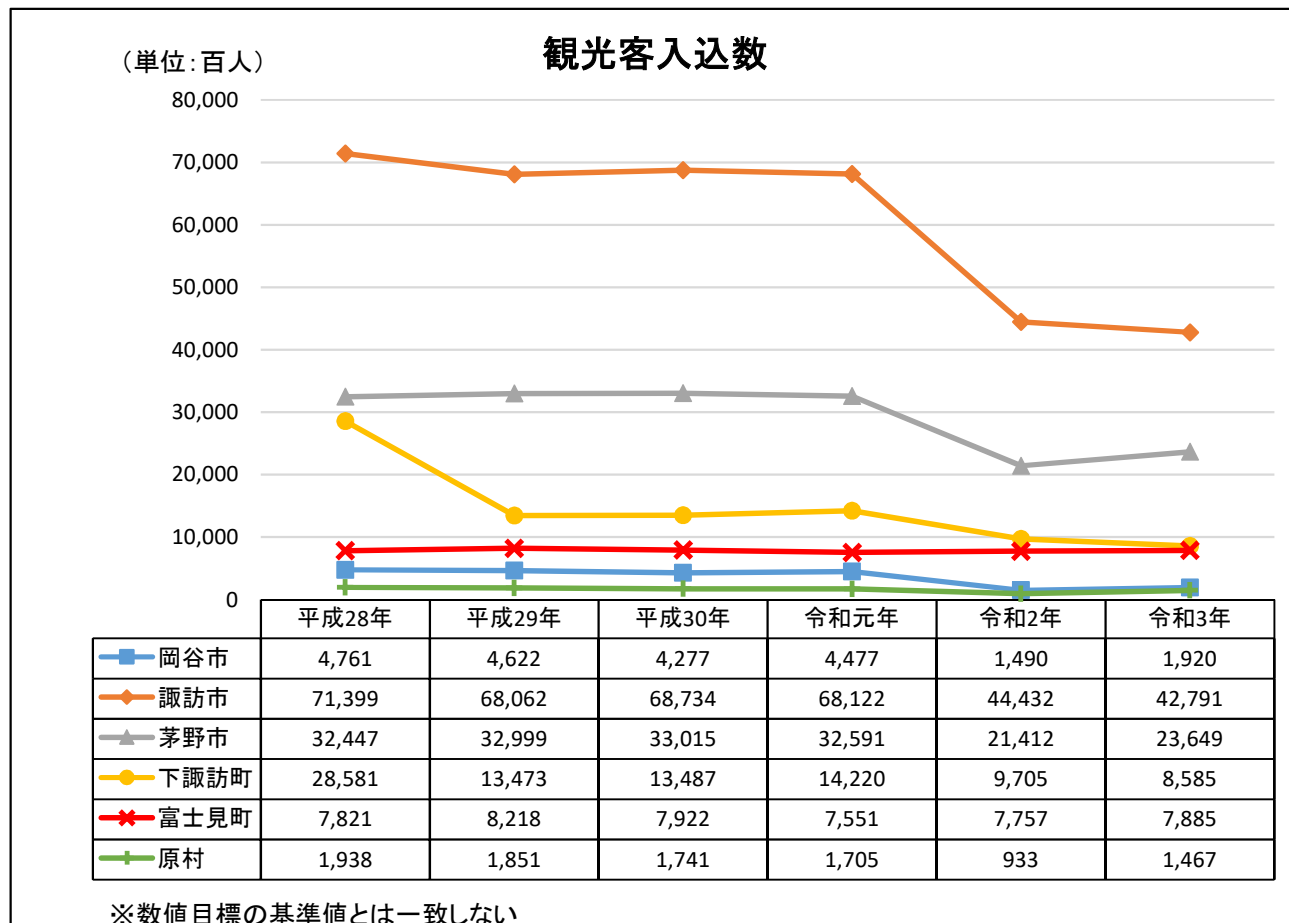
(資料)長野県「毎月人口異動調査」

二之柱「行ってみいたい」、「戻ってきたい」、「住んでみたい」と思える「まち」の創生

【参考：諏訪地域の数値】



(資料)総務省「国勢調査」等



(資料)長野県「観光地利用者統計調査」

1「知っている」から「行ってみたい」まちへ

(1) 豊富な観光資源を活かした観光戦略

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
宿泊客数	目標値		562,082人	566,561人	571,041人	575,521人	580,000人	590,000人	590,000人
	実績値	557,602人	561,939人	571,724人	569,015人	571,848人	605,321人	307,035人	293,879人
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	感染状況に応じて人の移動の自粛が求められる中、宿泊産業は市内で最も経済的打撃を受けている産業であり、感染対策を行いながらの集客イベントによる誘客では観光消費額拡大が難しい状況となっている。							
	達成状況の分析	コロナ前(令和元年/2019年)と比較して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実績値は大幅に下回った。							
	今後の取組	宿泊は経済波及効果が大きいことから、宿泊ニーズが高いターゲットを意識した施策を講じるとともに、令和4年諏訪大社式年造営御柱大祭をフックとしたプロモーション展開と、アフターコロナを視野に入れながら、選ばれる観光地としての情報発信を実施していく。							
観光消費額【再掲】	目標値		1,928,716万円	1,946,537万円	1,964,358万円	1,982,179万円	2,000,000万円	2,030,000万円	2,030,000万円
	実績値	1,910,895万円	1,924,941万円	2,014,817万円	1,926,772万円	1,954,582万円	1,968,407万円	1,222,339万円	1,176,556万円
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	感染状況に応じて人の移動の自粛が求められる中、宿泊産業は市内で最も経済的打撃を受けている産業であり、感染対策を行いながらの集客イベントによる誘客では観光消費額拡大が難しい状況となっている。							
	達成状況の分析	コロナ前(令和元年/2019年)と比較して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実績値は大幅に下回った。							
	今後の取組	諏訪市観光ランドデザインを実現していくため、新たな観光素材の発掘・磨き上げを行う等、通年での誘客促進及び滞在時間延長の取り組みにより、観光消費額の拡大を図る。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
他の観光資源を結び付けたコラボ・イベント開催 観光課	宿泊向けの旅行商品として、霧ヶ峰夏山リフトを利用し霧ヶ峰高原を散策した後、地域素材を活かした高原での朝食体験ができる「霧ヶ峰で朝食を」を継続実施した。 【実績】参加人数192名 ※SUWAKOホラーナイトクルーズは中止	コロナ禍、少人数で実施可能な体験アクティビティを発掘し、通年で情報発信することにより、持続的な誘客活動につなげる必要がある。
観光誘客宣伝事業 観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏での観光キャンペーンや各種イベントが中止となったことから、京王新宿にある京王インフォメーションプラザを活用し、現地スタッフによる観光案内を実施した。 【実績】パンフレット配布部数3,245部	諏訪市観光ランドデザインの実現に向けた「誘客コンテンツ」をウェブサイト・SNSを活用した情報発信を行う等、ターゲットごとにメリハリのある施策を効果的に講じることにより、リピーター確保につなげていく必要がある。
諏訪圏フィルムコミッションへの支援 観光課	映画、テレビの制作者等に積極的に働きかけ、諏訪エリアのPR、地域の文化振興、諏訪エリアへの交流人口増につなげた。諏訪エリアへのロケを誘致することで、宿泊代や食事代等、一定の経済効果につながっている。 【実績】諏訪市内撮影支援件数51件	コロナ禍では、コンテンツ情報による観光の誘客プロモーションが有効であることから、諏訪エリアの知名度向上やロケ候補地の充実を図り、地元ロケ作品やフィルムコミッション活動を地域内外に対し訴求していく必要がある。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
周遊・滞在型観光地への転換 観光課	市民または諏訪エリアに縁のある方でSNSのフォロワー1,000人以上の方を「諏訪の国公式アンバサダー」として募集し、広域の魅力を発信し、周遊滞在化の促進を図った。【実績】「諏訪の国アンバサダー」instagram総投稿数: 513、総いいね: 128,972、総コメント1,157	周遊・滞在化を促進するため、公民連携による「諏訪の国ブランド」の情報発信、諏訪6市町村全体の周遊・滞在化を進める「仕掛け」と平行し、「諏訪の国公式アンバサダー」と連携したプロモーションを展開していく必要がある。
広域観光「信州ビーナスライン広域連携事業」 観光課	ウェブサイトやSNSを活用した広域連携による情報発信、レンタカー利用者のモニタリング調査、スタンプラリーや来訪者アンケートを実施し、周遊促進を図った。 【実績】125件(スタンプラリー)、319名(アンケート)	ビーナスラインブランドの向上及び霧ヶ峰高原への誘客拡大を図るため、広域での情報発信を継続的に実施する必要がある。
信州シルクロード連携協議会との連携 観光課	<u>新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行商品造成に向けたPRキャラバンやメディアトリップなどのイベントが中止となったが、今後につなげるため令和3年度「高速道路利用・観光・地域連携推進プラン」提案に向けた申請・準備を行った。</u>	アフターコロナを視野に、インバウンド訪日旅行や教育旅行の潜在ニーズを意識しながら、魅力的な旅行商品コンテンツの充実を図るとともに、継続的なプロモーションが必要である。
諏訪湖周サイクリングロード整備計画 都市計画課	サイクリングロード1,115mの整備工事を実施した。 また、関連するジョギングロードの一部改良工事や間欠泉センター横に新たに駐車場整備を実施した。	令和5年度末完成に向け着実に工事を実施する。 市施工区間で一番狭隘な大和地内の工事にあたり、地区要望等に対し丁寧な協議・対応をして事業を円滑に実施する。 また、統一したルール作りや周知等に遅れがみられるため、県中心に取り組みを進める。

1「知っている」から「行ってみたい」まちへ

(2) 官民が連携したシティプロモーションによる魅力発信

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
移住・定住サポートサイトへのアクセス件数	目標値		180,000件	180,000件	180,000件	180,000件	180,000件	10,000件	10,000件
	実績値	-	159,288件	84,461件	91,779件	9,292件	4,888件	4,197件	15,244件
	達成度		概ね順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	移住・定住サポートサイトに新規で先輩移住者の声を掲載したことで、アクセス件数は目標値を上回ることができた。							
	今後の取組	移住促進に繋がるような魅力ある情報をホームページやSNSで発信できるように努める。							
【備考】 現状の分析に加え、今後の取組を勘案して設定									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
ふるさと寄附件数	目標値		1,000件	1,000件	1,000件	1,700件	1,700件	1,700件	1,700件
	実績値	295件	1,664件	1,913件	1,983件	2,048件	1,646件	2,654件	2,024件
	達成度		順調	順調	順調	順調	概ね順調	順調	順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	体験型などの返礼品企画やSUWAプレミアム商品に積極的に取り組んだことにより、寄附件数の目標値を上回ることができた。							
	今後の取組	ふるさと納税制度の趣旨に則り、諏訪市を応援してもらえるような取り組みを拡充させるため、ガバメントクラウドファンディングや魅力的な「体験型」「サービス提供型」返礼品を充実させていく。							
【備考】 H30年度から上方修正した目標値を維持									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
諏訪市まち歩きナビ「すわなび」の運用 企画政策課	利用実績とコストを勘案し、スマホアプリとしての「すわなび」を令和3年度末で終了。諏訪市ホームページからアクセスできる公開型GIS「すわなび」へデータ移行、令和4年度から稼働する準備を行った。	令和4年4月1日より稼働した公開型GIS「すわなび」により、利便性が向上した。搭載データを最新化し利活用を促進することが課題となる。
ふるさと寄附金事業 地域戦略・男女共同参画課	・新型コロナウイルス感染症の影響により、体験型の返礼品を増やしたが、実際に諏訪に来て体験してもらうことはできなかった。 しかし、SUWAプレミアム商品を追加したことにより、寄附件数の目標数値を上回ることができた。	・より大勢の方の共感を得られるような取組や、地方税法の規定に則した魅力ある返礼品の効果的な情報発信方法を模索・実践し、寄附件数の目標達成を目指す。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
秘書広報課の設置 秘書広報課	・市PR用ロゴマーク・キャッチコピーを記者会見用バックパネルや広報紙、ホームページ、名刺等に使用し、多くの人の目に触れることで知名度や認知度の向上を図った。 ・利用者数が多く、即時性のある媒体として2月に市LINE公式アカウントを開設し、情報発信を行った。	・市の各分野の取組を一層効果的に発信するため、多媒体の活用や仕組みづくり等に取り組む。 ・市内外に諏訪市の魅力を効果的に発信するため、SNSや市PR用ロゴマーク・キャッチコピーの活用を継続する。 ・職員の情報発信力向上のため、時代に合った内容に見直ししながら情報発信力・広報力向上研修を継続実施する。
SNSを活用した情報発信 秘書広報課 企画政策課	SNS活用による情報発信を実施。新たな情報発信媒体として市LINE公式アカウントを開設した。 【実績】 ・LINE…登録者数:2,012人 ・Facebook…投稿数:275件 ・YouTube…動画投稿:41本	・市内外に諏訪市の魅力を届けるため、継続的に地域情報や季節の情報を発信する。 ・情報発信力・広報力向上研修において、SNSの活用に重点を置き、職員の情報発信に関する意識の醸成を図る。

2「住み続けたい」、「戻ってきたい」まちへ

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1)若い世代に向けた情報発信

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
大学卒業者等就職ガイダンス延べ参加者数【再掲】	目標値		700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度
	実績値	627人	452人	465人	444人	515人	316人	575人	697人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	概ね順調	概ね順調
	感染症の影響	予定していた3回の就職ガイダンスが中止になったが、オンライン開催に振り替えることで参加実績をある程度確保することができた。全国的にも感染症の影響によりガイダンスが少なくなっていることから、採用担当者とコンタクトできる場を求めていると考えられる。							
	達成状況の分析	感染症の影響はあるが、新規学卒者の採用意欲は低下していないとみられ、動向を注視していく必要がある。							
【備考】 計画当初の目標値を維持	今後の取組	景気や市場の動向により参加者が大きく変動する事業であるため、継続して地道に取り組むことが必要である。オンラインを含めた多様な情報発信方法の検討をする。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
奨学資金の大学生貸与者のうち、卒業後の諏訪市居住者の割合	目標値		67.0%	67.0%	67.0%	67.0%	67.0%	67.0%	67.0%
	実績値	66.7%	55.6%	60.0%	58.3%	60.0%	66.7%	57.1%	0.0%
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要
	感染症の影響	令和3年度実績値は、令和2年度卒業生(令和3年3月末卒業生)等をもとに積算しており、令和3年中の諏訪市内外への転出入、転職等の申し出はないため、現時点影響はないと判断。							
	達成状況の分析	年1回実施している奨学生との面談において卒業後諏訪市定住を希望する者も多く見受けられるが、実績値の推移は奨学生の就職状況等に左右される。なお、令和3年度は、卒業生2名とともに県外で就職となっている。							
【備考】 計画当初の目標値を維持	今後の取組	上記面談等の機会を捉え、貸付対象者には奨学金償還免除制度の案内を行い、諏訪市定住を卒業後の進路の選択肢の一つとして検討してもらう取り組みを引き続き行う。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
奨学資金貸付事業の実施 教育総務課	・二之柱2「住み続けたい」、「戻ってきたい」まちへの取組として、平成28年度に償還免除制度を拡充。 ・償還免除制度を周知することにより奨学生の諏訪市定住を支援している。 ・令和2年度から、大学生への給付を再開した。	大学生への給付を再開したことから、新型コロナウイルス感染症による経済への影響等も含め奨学金申請の今後の動向に注視し、奨学生の諏訪市定住に係る支援対策の検証を行うとともに、奨学金制度全体の見直しを図る。
若年世代への歯科検診 健康推進課	令和2年度から20歳～70歳の節目の年齢に個別通知をして市内歯科医院での検診を勧奨している。R3年度の受診率は7.4%、年齢別では20歳7.9%、30歳6.9%、性別では女性の方がやや受診率が高い。令和2年度より1%程度受診率が上昇している。	歯周病は全身疾患の原因となる場合があり、若いうちから歯と口腔の状態を知り、セルフケアすることが大切である。引き続き検診対象者に個別通知を行い、広報等により歯科ケアについての正しい知識について啓蒙・啓発していく。また、コロナ禍であっても感染状況を考慮しながら定期検診を受けることの必要性を啓発していく。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
職業観の早期醸成、 早期離職の解消、地 元就職の推進【再掲】 商工課	キャリア教育事業の一環として、市内高校へ 諏訪地域の企業が出向き事業概要や会社組 織、学生時代に身に付けてほしい能力や社会 に出て働くという厳しさ、やりがい等について の説明、質疑応答をした。 【実績】実施高校 1校 参加企業数 10社	成果がすぐ目に見える事業ではないため、継続して地道 に取り組み実施校も増やしていく。 保護者へ向けた情報発信や、大学進学後の学生に対す るフォローアップについて実施する。
大学卒業予定者や転 職移住者等への情報 発信【再掲】 商工課	大学等卒業予定者、転職移住者等への就職 説明会の開催により、市内企業への求職希望 者と求人企業のマッチングの機会とし、雇用 の確保につなげた。また、大学訪問や企業ガ イドブックの作成により、市内企業の情報発信 の一手段として採用動画作成への支援を始め ている。 【実績】就職説明会開催 6回 大学訪問 1 校	成果がすぐ目に見える事業ではないため、継続して地道 に取り組むことが必要である。 多様な情報発信方法を検討する。 <u>令和4年度もオンライン企業説明会を開催し、マッチング の機会を提供していく。</u>

2「住み続けたい」、「戻ってきたい」まちへ

(2)「ふるさと」としての愛着や誇り、地域貢献への意識醸成

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
学校支援ボランティア 参加者延べ数	目標値		27,800人	27,800人	27,800人	27,800人	27,800人	27,800人	27,800人
	実績値	27,554人	26,962人	28,831人	27,341人	24,506人	20,271人	10,304人	9,647人
	達成度		概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要
	【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	感染症の影響 感染症の影響により、ボランティアの交流会や資質向上のための講演会をやむを得ず中止とした。また、地域ボランティアによる活動も内容変更や延期等をしながらの活動となった。 達成状況の分析 感染症の影響により、活動の中止や内容変更、延期等をしながらの活動となったが、地域と学校との情報交換・情報共有は行うことができ、活動についてもできること・できるやり方を考え工夫をしながら実施することができた。 今後の取組 引き続き地域ボランティアの支援を受けながら、地域と連携した教育及び学校支援の更なる充実を図り、地域と学校が連携して進める「学びのまちづくり」を推進する。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
生涯学習リーダーバンク 登録者数	目標値		60人	60人	60人	60人	60人	35人	35人
	実績値	57人	52人	65人	65人	65人	65人	65人	65人
	達成度		概ね順調	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	【備考】 ※令和2年度以降指導者数の見込とする 地域ニーズに応えられる人材数への変更を前提に設定	感染症の影響 新たな指導者制度への移行を行う目前でコロナ感染症が発生し、新制度への移行が行えなくなりました。 達成状況の分析 新たな指導者制度への移行が行えなかったため、旧リーダーバンクにより問い合わせや必要な対応を行っている。 今後の取組 コロナ禍により指導者の活用以前に、人の集まることが難しくなってしまう、新たな制度への移行が行えていないため、感染症の動向に注視しつつ、移行を行うための準備を行っていきたい。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
信州型コミュニティスクール創造事業の推進 教育総務課	感染症の影響により、中止となる活動もあったが内容や形を変更し工夫しながら活動を実施するとともに、新たな活動として、広報の作成や学校HPなどによる情報発信、地域と学校との情報交換や情報共有、小中学校間の活動の連携、パソコン関係のボランティア等を開始するなど活動の幅も広がってきている。	新しい生活様式としての交流や支援の方法を確立する。また、地域と学校や中学校区内の小中間が連携して、「めざす子ども像」の確認と具現のために、学校と地域がそれぞれの役割を明確にし、学校・地域各々からの発信を推進し、地域と児童生徒・学校間の相互理解を進める。小中一貫教育校への移行を進める中で、一貫教育を支えるための組織づくりを進める。
ミュージアムパスポートの配布 生涯学習課 (博物館・美術館)	・市内小中学生に諏訪市ミュージアムパスポートを配布し施設利用の促進を図った。3館スタンプラリー記念品の見直しを実施。 【実績】パスポート配布数4,855人 令和3年度利用者: 博物館596人(12/29～1/31 資料整理休館): 美術館236人(2/14～3/18資料整理休館): 原田泰治美術館163人(1/27～3/6臨時休館) ※ 新型コロナウイルス感染予防対策による臨時休館(9/3～12)、イベントや講座の中止・延期	・引き続き、新任教職員研修や来館鑑賞などの機会を捉え、学校の先生方への周知を図りたい。併せて児童生徒、保護者向けにも、活用に向けてアピールを工夫したい。(美術館)。 ・ミュージアムパスポートを持参して有効活用してもらうために、学校と連携して周知に努める。 ・小中学生の学びをサポートする事業の充実と促進。(博物館) ・すわだ昔情報センターの利用促進の工夫(博物館) ※コロナ禍においても小中学生が安心して利用し、双方の学びを継続できる場や機会を提供すること。

3「住んでみたい」、「選ばれる」まちへ

(1) 移住相談、移住サポート体制の充実

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
移住セミナー等での相談者数	目標値		100人/年度	100人/年度	100人/年度	100人/年度	100人/年度	130人/年度	130人/年度
	実績値	57人	139人	110人	179人	172人	160人	121人	161人
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	概ね順調	順調
	感染症の影響	感染対策を実施しながら2年ぶりの対面でのセミナー、オンラインによるセミナーが開催され、件数は目標を上回った。							
	達成状況の分析	対面、オンラインで開催された移住セミナーへの参加や、アウトドアを切り口にした移住プロモーションの実施に努め、目標値を上回った。							
【備考】 現状及び今後の取組を 勘案し設定		今後の取組 新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、「新たな生活様式」に沿った形で事業を企画し、移住希望者や関係人口創出につながるPRに務める。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
諏訪圏移住相談センターへの相談件数	目標値		-	150件/年度	150件/年度	150件/年度	150件/年度	200件/年度	200件/年度
	実績値	-	-	179件	193件	310件	272件	98件	-
	達成度		実績値なし	順調	順調	順調	順調	努力が必要	実績値なし
	感染症の影響								
	達成状況の分析	諏訪圏移住相談支援センターの諸事情により実績値なし							
【備考】 現状及び今後の取組を 勘案し設定		今後の取組 令和3年度で終了							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
諏訪圏移住相談センターの相談件数 地域戦略・男女共同参画課	諏訪圏移住相談支援センターの諸事情により実績値なし	令和3年度で終了

3「住んでみたい」、「選ばれる」まちへ

(2) UIJターンの支援

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
諏訪市移住促進人財 バンク利用者数	目標値		-	-	5人	5人	5人	5人	-
	実績値	-	-	-	22人	16人	21人	12人	-
	達成度		実績値なし	実績値なし	順調	順調	順調	順調	実績値なし
	感染症の 影響								
	達成状況 の分析	令和2年度事業終了							
	今後の 取組	令和2年度事業終了							
諏訪市の支援を受け たUIJターンによる起 業数【再掲】	目標値		-	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度
	実績値	-	-	1件	3件	2件	4件	1件	2件
	達成度		実績値なし	努力が必要	順調	順調	順調	努力が必要	順調
	感染症の 影響								
	達成状況 の分析	諏訪市の利率や利子補給は開業者の資金計画のなかで魅力的な資金となっている。							
	今後の 取組	利率や利子補給については魅力的な内容になっているため、更なる広報周知に努め、利用率のアップを図る。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
空店舗等活用補助事業【再掲】 商工課	市内の空店舗等を有効活用し街の賑わいづくりにつなげるため、新たに空き店舗等を改装して事業を開始する事業者に対して改修費用の一部を補助する。 【実績】 店舗補助件数 3件 補助金額 1,500千円	持続可能な地域経済実現に向け、空店舗等活用補助は商店街の賑わいづくりに有効な手段であり、若手創業者への支援にもなるが、その後も継続的な支援が必要である。
店舗等の立地促進【再掲】 商工課	店舗等の立地促進を図り、雇用の創出と地域活性化を目的とし、店舗等の新設等に伴い発生する固定資産税額を補助した。 【実績】2件	土地柄上、積極的な店舗誘致ができずにいるが、この制度が諏訪市で新規に開業するきっかけの一つになるよう周知する。
開業支援資金【再掲】 商工課	創業に必要な資金のあつせんを行うことで事業資金借入れを容易にし、また利用者に対し利子補給、保証料補給することで借入れ後の負担軽減を行い、資金面での支援をした。 【実績】 開業支援資金利用者 市20件 県14件	金融業界全体の金利が大幅に下がっている中で、市の制度資金の利用率アップは難しいが、より利用しやすい制度となるよう、内容の見直しを行っていく。UIJターン者の周知に努める。
諏訪市移住促進人財バンク 地域戦略・男女共同参画課	令和2年度事業終了	令和2年度事業終了

3「住んでみたい」、「選ばれる」まちへ

(3) 空き家バンクの利活用促進

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
諏訪市空き家バンクによる契約成立件数	目標値		3件/年度	3件/年度	3件/年度	3件/年度	3件/年度	3件/年度	3件/年度
	実績値	-	0件	3件	6件	4件	9件	20件	15件
	達成度		努力が必要	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	諏訪市空き家・空き地バンクに対する問い合わせ件数は横ばいとなっており、目標としていた契約成立件数を達成することができた。							
	今後の取組	諏訪宅地建物取引業協会との連携により、諏訪市空き家・空き地バンク活用相談会を開催するとともに、広報すわ等で移住促進空き家バンク活用補助金を積極的に周知し、市内の利活用可能な空き家の登録促進を図ることで、契約成立件数増を目指す。							
諏訪市空き家バンク登録物件数	目標値			60件	67件	73件	80件	80件	80件
	実績値		53件	50件	30件	45件	137件	270件	241件
	達成度			概ね順調	努力が必要	努力が必要	順調	順調	順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	長野県宅地建物取引業協会諏訪支部と連携して空き家・空き地バンクを運営しているが、登録件数目標を達成することができた。							
	今後の取組	諏訪宅地建物取引業協会との連携により、諏訪市空き家・空き地バンク活用相談会を開催するとともに、移住促進空き家バンク活用補助金を積極的にプロモーションし、市内の利活用可能な空き家の登録促進を図ることで、契約成立件数増を目指す。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
諏訪市空き家バンクの運用 地域戦略・男女共同参画課	・空き家バンクによる契約成立を促進するため、仲介手数料及び家財処分に対する補助を実施。15件の契約成立があった。	・空き家となっている物件には、家財処分が課題となっているケースがあるため、継続して補助メニューを周知する必要がある。
空家対策の推進 都市計画課	・統合型GISによる空家情報の把握、適正管理に係る指導を継続した。 ・空き家パンフレット「あなたの空き家大丈夫ですか？」を作成、配布した。 ・空家等対策協議会を開催し、課題等を整理した。 ・空家跡地活用支援事業補助金は9件の実績があった。	・所有者等に向けた啓発及び効率的な空家情報の把握 ・関連部署との連携 ・適正管理が必要な空家に対する指導 ・利活用に関する支援策の検討

三之柱 若い世代の「希望」を実現、「ひと」を育てる「まち」の創生

基本目標

結婚・出産・子育てに対する切れ目のない支援により、若い世代の希望が実現できる「まち」の実現を目指し、人口の自然減に歯止めをかけるとともに、未来を担う「ひと」を育てます。

達成度の目安 ○順調:目標値以上 ○概ね順調:80%以上100%未満 ○努力が必要:80%未満 ○実績値なし:当該年度の実績値なし									
数値目標	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
合計特殊出生率 (人口動態調査等)	目標値		1.66	1.68	1.70	1.72	1.74	1.76	1.78
	実績値	1.64	1.71	1.68	1.57	1.60	1.61	1.54	1.37
	達成度		順調	順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要
【備考】 人口ビジョンをもとに目標を設定									
数値目標	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
自然増減数 (長野県毎月人口異動調査)	目標値		△134(累計)	△268(累計)	△402(累計)	△536(累計)	△670(累計)	△735(累計)	△776(累計)
	実績値	△67	△81(累計)	△229(累計)	△357(累計)	△502(累計)	△730(累計)	△979(累計)	△1,248(累計)
	達成度		順調	順調	順調	順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
【備考】 人口ビジョンをもとに自然減の抑制を目標に設定									
数値目標	項目	平成27年 (基準値)	平成28年調査	平成29年調査	平成30年調査	令和元年調査	令和2年調査 (当初目標値)	令和3年調査	令和4年調査 (目標値)
学校教育に対する市民満足度	目標値		向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上
	実績値	3.01	3.01	3.10	3.26	3.28	3.30	3.27	3.26
	達成度		概ね順調	順調	順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調
【備考】 基準値を上回ることを目標に設定									

数値目標に対する新型コロナウイルス感染症の影響
●結婚に関する相談支援、きっかけづくりとなる出会いの支援 コロナ禍により民間の婚活イベント等が少ないため、結婚相談の新規登録希望者はコンスタントにあり、お見合いの件数も増加した。
●出産前後のサポート体制整備 新生児等の家庭訪問は、通常は訪問時に室内に入らせてもらうが、保護者希望により玄関先で行った場合がある。父親向け子育て講座は、6回中5回中止。1回オンラインにて実施した。
●安心して子育てができる環境整備 児童センターは9月3日から12日まで、県新型コロナウイルス感染症警戒レベル5及び「命と暮らしを救う集中対策期間」に伴い臨時休館。感染症対策徹底のため、前年度に引き続き開館時間の短縮や入館制限等を実施した。また、イベントも状況に応じて中止又は延期した。ファミリー・サポート・センター、病児病後児保育は令和2年度は利用が減少したが、令和3年度は例年並みの利用となった。
●子育ての経済的負担・精神的負担を軽減するサポート体制構築 感染症の影響により子育て支援講座を一部中止とした。また、昨年度と同様、コロナ禍における子育てのストレスや不安等に関する相談が多く寄せられた。
●ものづくり教育を核としたキャリア教育の推進 コロナ禍であったが、万全な感染症対策を講じ、「ものづくり」を学ぶ「地域密着型ものづくり講座」を実施した。ものづくり教育で児童生徒が制作した作品を販売する「チャレンジショップ」は中止となったが、ものづくり学習の活動の様子や諏訪市の特色ある学習活動の成果を、一般市民に披露する機会として「相手意識に立つものづくり科ロビー展」を開催した。
●仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進 新型コロナウイルス感染症の影響により、「ともに生きる諏訪セミナー」や「ともに生きる諏訪市民大会」が中止となった。

三之柱 若い世代の「希望」を実現、「ひと」を育てる「まち」の創生

【総合分析】

基本目標の達成に寄与した取組成果

●安心して子育てができる環境整備

開設3年目を迎えた子ども家庭総合支援拠点「すわ☆あゆみステーション」は、認知度の向上とともに多くの相談が寄せられるようになったが、子どもと子育て家庭の困りごとに寄り添ったきめ細やかな支援に努めた。病児病後児保育では、令和2年度に対象年齢を引き上げて利用対象を拡大したことや、制度の周知や理解が進んだことから、幅広く園児・児童の利用へとつながり、順調な利用者数を達成した。子育て情報の一元化に取り組み、諏訪市ホームページリニューアルに合わせて、子育てサイトを親しみやすくわかりやすいページにリニューアルした。

●国際理解教育や情報教育、地域学習などの推進

「未来創造ゆめスクールプラン基本計画」に基づき、城北小学校と高島小学校を統合し、城南小学校の一部通学区を変更した上諏訪小学校を令和3年4月に開校し、隣接する上諏訪中学校と小中一貫教育を開始した。

今後の方向性

●安心して子育てができる環境整備

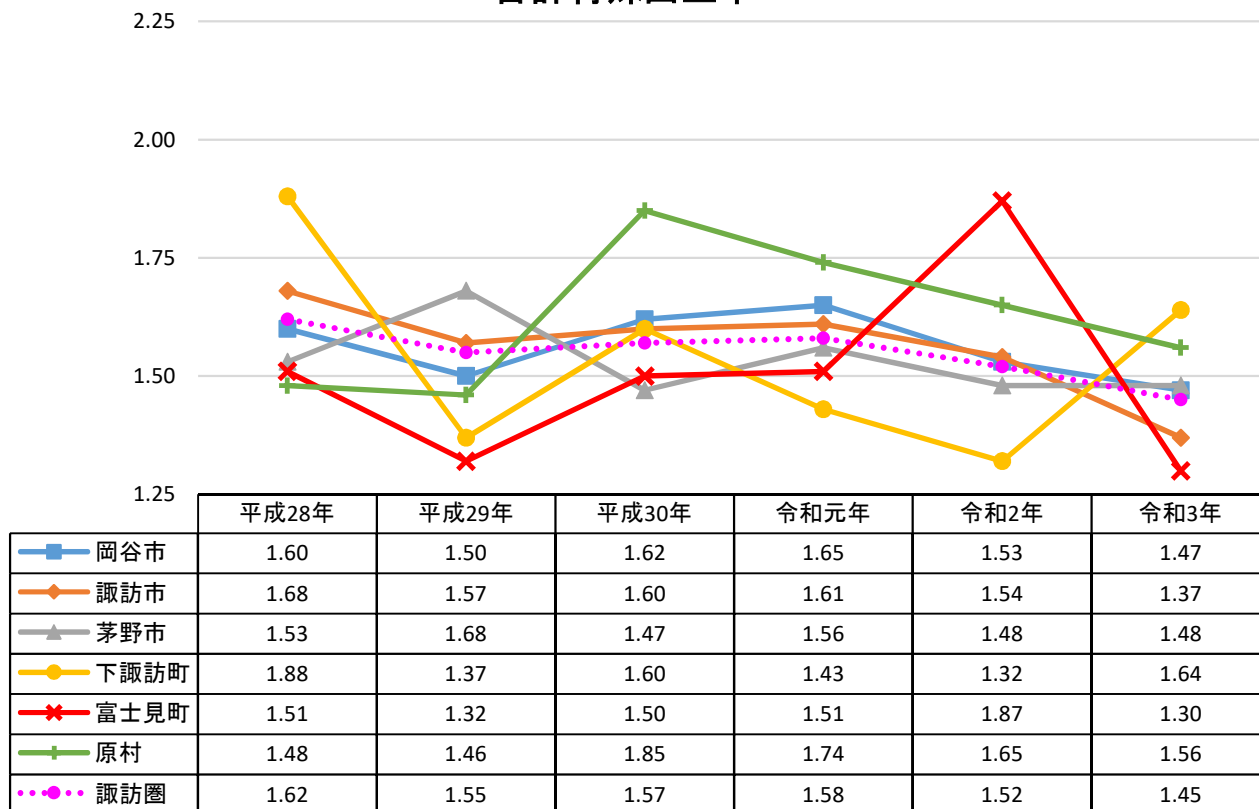
すわ☆あゆみステーションでは、多様化する相談に対応できる相談体制の確保に努めるとともに、オンラインを活用した情報配信や相談の仕組みなどを検討する。子育て支援拠点、施設では、ウィズコロナという新しいフェーズの中でも安心して利用してもらえるように衛生管理やイベントのあり方など運営の見直しを継続的に行う。ファミリー・サポート・センターは、働き方の多様化などを背景としたニーズの変化に対応できるよう、受託者と意見交換しながら、きめ細やかな会員相互扶助が行われるよう事業を実施する。様々なニーズに対応できる「まかせて会員」の確保に努める。

●国際理解教育や情報教育、地域学習などの推進

上諏訪小学校と上諏訪中学校との小中一貫教育における児童・生徒の様子の観察、学習に対する評価、全体的な評価・成果を検証する。また、令和5年度から市内全校を対象とした分離型小中一貫教育を開始するため、「小中一貫教育プロジェクト推進委員会」を立ち上げ、研究・実践を開始するとともに、次期の再編の準備に着手する。蓼科保養学園については、令和4年度もコロナ禍を踏まえ年間を通じ休園。今後の課題などを整理する中で、次年度以降の運営等について検討する必要がある。

【参考：諏訪地域の数値】

合計特殊出生率



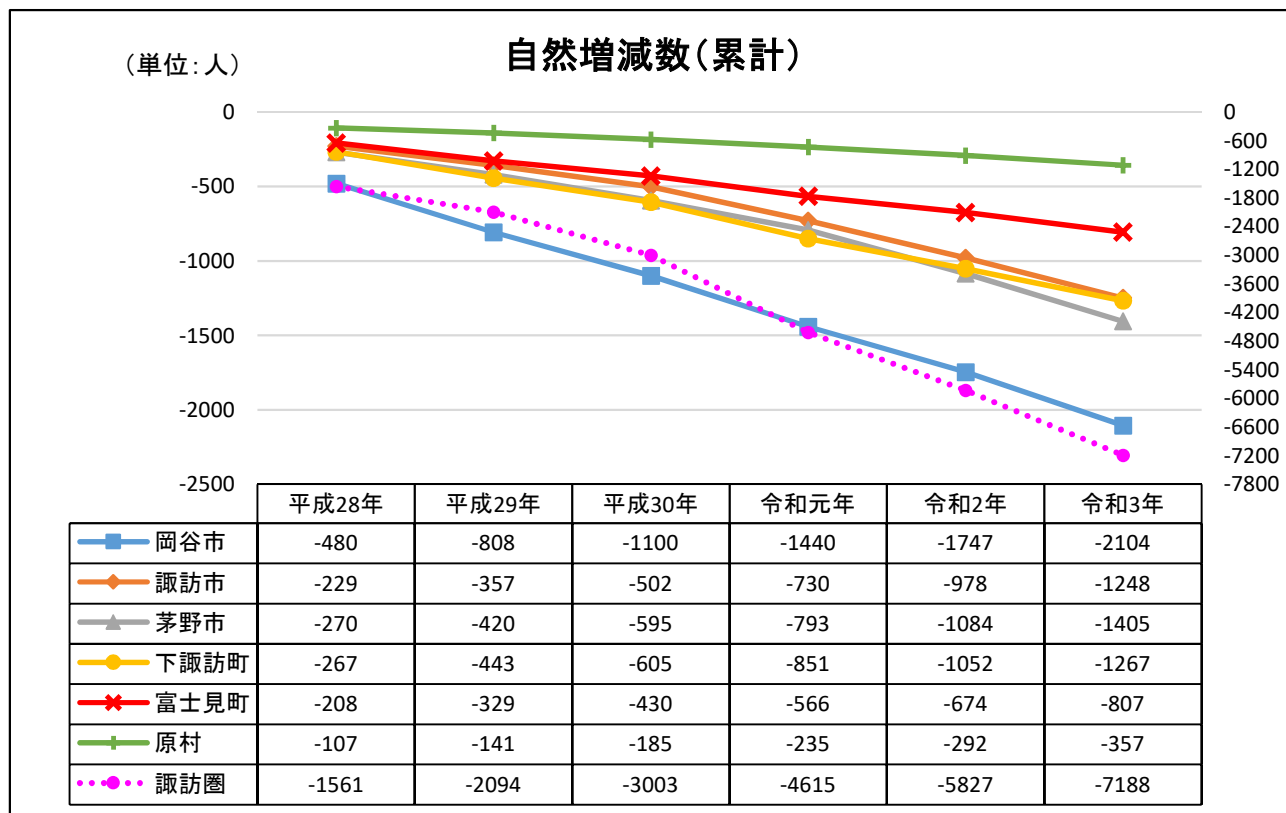
※諏訪市独自推計による

※平成27年以降(母の5歳階級別出生数÷5歳階級別女性人口)の5倍を合計し算出しており、ベイズ推定値とは異なる

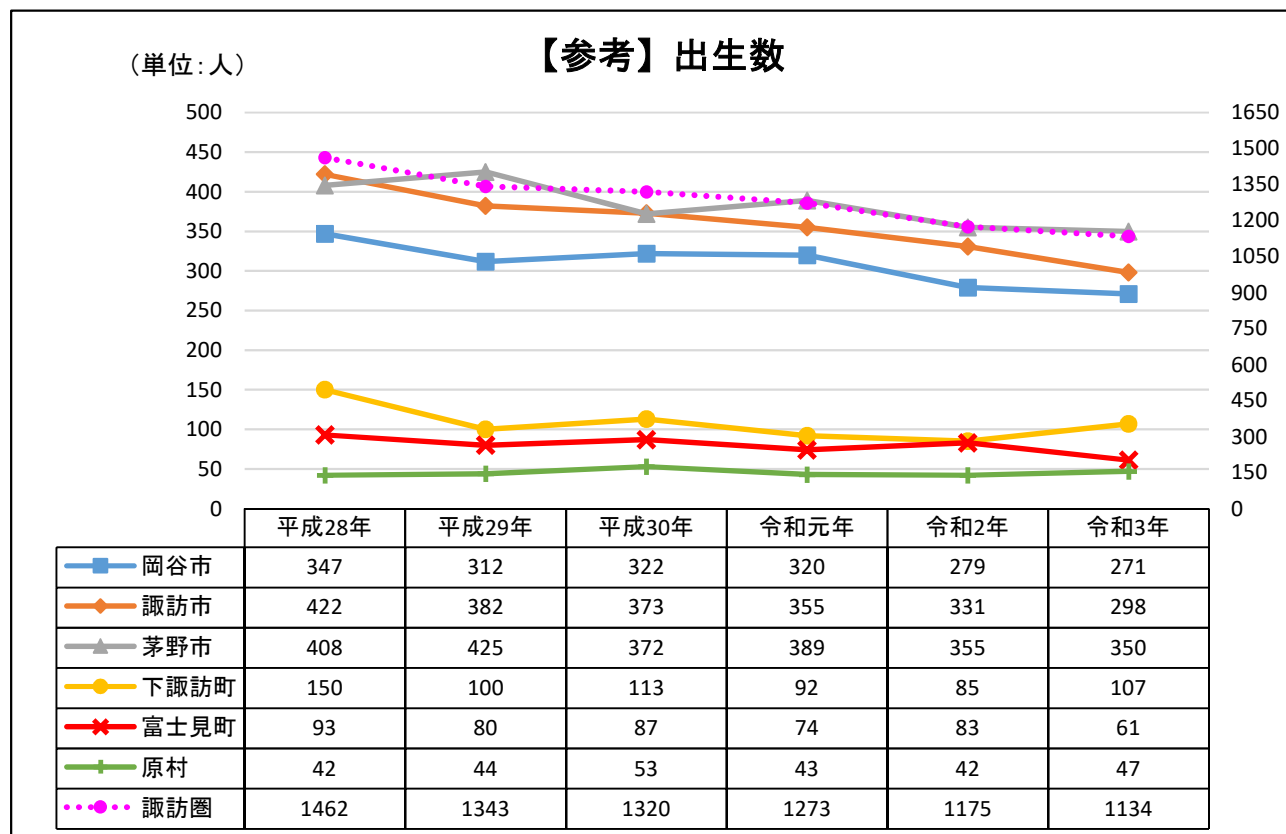
(資料)厚生労働省「人口動態調査」等

三之柱 若い世代の「希望」を実現、「ひと」を育てる「まち」の創生

【参考：諏訪地域の数値】



(資料)長野県「毎月人口異動調査」



(資料)厚生労働省「人口動態調査」

1「結婚したい！」希望をかなえる

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1)結婚に関する相談支援、きっかけづくりとなる出会いの支援

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
結婚相談登録者数	目標値		55人	55人	55人	55人	55人	55人	55人
	実績値	49人	70人	74人	69人	71人	73人	86人	104人
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響	コロナ禍により婚活イベントが少ないため、新規登録の希望者もコンスタントにあり、お見合いの件数も増加した。							
	達成状況の分析	「ながの結婚マッチングシステム」が令和4年1月にリニューアルされ、スマートフォンやパソコンからお相手を検索・オファーができる便利な機能等が搭載されたことにより、若い登録者も増えている。							
【備考】 現状の取組状況をもとに当初計画時の目標を維持		今後の取組 相談支援では、お見合い時の身だしなみや話題、お見合い写真撮影のポイントやお相手の良いところを見つける方法など婚活のアドバイスを行うとともに、引き続き未婚の子を持つ親御さんの相談も受け付けていく。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
婚活イベント、セミナーへの参加者数	目標値		130人/年度	130人/年度	130人/年度	130人/年度	130人/年度		
	実績値	113人	58人	99人	170人	105人	47人		
	達成度		努力が必要	努力が必要	順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響								
	達成状況の分析	令和元年度事業終了							
【備考】 令和元年度事業終了		今後の取組 令和元年度事業終了							
KPI	項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
「諏訪市新婚新生活住まいる補助金」の交付見込数に対する交付決定数の割合	目標値				80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
	実績値				80.0%	120.0%	180%	200%	120.0%
	達成度				順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響	新型コロナウイルスが補助金申請へ影響を及ぼすかと思われたが、結果的には前年を上回る申請があった。							
	達成状況の分析	申請数は年々増加しているので、それに見合った予算措置が求められる。							
【備考】 計画当初の目標値を維持		今後の取組 令和4年度は、申請見込数を増やすとともに予算を増額して継続する。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
社会福祉協議会による結婚相談所の開設 社会福祉課	・相談所開設日数 : 47日 ・相談登録者数 : 104名 (うち、新規登録者数 : 33名) ・お見合い件数 : 91件 ・成婚件数 : 4件	婚活イベントが少ないため、新規登録の希望者もコンスタントにあり、お見合いの件数も増加したが、なかなか成婚には結びついていない現状にある。今後もコロナ禍が続くと予想されるため、オンラインお見合いについても積極的に実施していく。
婚活イベント、セミナー等の開催 地域戦略・男女共同参画課	国や県の施策と連携し、婚姻に伴う新生活を経済的に支援する補助制度を実施。 【実績】交付件数18件	年度末にかけて申請が集中するが、補助対象経費の締切が2月までとなっているため、補助上限額に達しない者に対する継続補助を検討する。

2「授かりたい、産みたい！」希望をかなえる

(1) 妊娠・出産への支援

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
妊婦一般健康診査受診率 (1回目受診数/当年妊娠届出数) 【備考】 全ての妊婦が健康診査を受診することを目標に設定	目標値		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績値	97.5%	98.4%	97.2%	98.2%	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	順調	順調	概ね順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	妊娠初期に妊娠に気づかず受診が遅れた場合はあるが、健診を受けることなく出産した例はない。							
	今後の取組	継続実施と、妊婦健診の必要性を届出時に説明。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)		課題と対応(令和4年度以降)	
	※感染症の影響については下線部		※感染症に起因する課題等については下線部	
不妊及び不育治療費等助成 健康推進課	少子化対策として、子どもを希望する夫婦が不妊・不育治療を受ける場合の経済的・心理的負担を軽減するために助成を行っている。令和3年度申請数は例年の7割程度の42件であった。 <u>コロナ禍により受診控え、または所得が低下したことにより治療を控えた可能性がある。</u>		令和4年度から主な不妊治療が保険適用となるが、自己負担額は多く治療も長期にわたることがあることから、助成内容を一部変更し、引き続き継続する。	
妊婦一般健康診査 健康推進課	妊娠期のトラブルを早期発見、早期対処し安全な出産ができるようにする。そのために経済的な負担を軽減し定期的な健診受診の促進を図る。現在高い受診率を維持できている。		妊娠届提出時に受診券を渡しながら妊婦全員に面談を行うことで、妊婦健診の受診を促すとともに、産後の継続的な支援につなげることができるため継続していく。	
未熟児養育医療助成事業 健康推進課	妊娠、出産から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う事業のひとつであり、また未熟児の入院に関わる経済的負担の軽減を図る。双子の児の利用があった。		利用は少数であるが、申請をしてもらうことで状況の把握ができること、また医療機関と情報共有・連携がはかりやすくなるため継続していく。	

2「授かりたい、産みたい！」希望をかなえる

(2) 出産前後のサポート体制整備

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
新生児等の家庭訪問 実施率 (訪問数/出生数) ※前年2月～当年1月出生数 【備考】 全ての妊婦が健康診査を受診することを目標に設定	目標値		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績値	98.3%	96.7%	95.2%	94.0%	97.4%	96.2%	96.9%	92.7%
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
	感染症の影響	通常は訪問時に室内に入らせてもらうが、玄関先で行った場合がある。(保護者希望)							
	達成状況の分析	里帰り先に長期滞在する割合が増えているが、滞在先の自治体に依頼して訪問してもらっている。当年度に出産していても訪問は来年度になることもあるため100%の達成にはならないが、全例について訪問等何らかの支援ができています。							
	今後の取組	継続実施							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
父親向け子育て講座 受講率 【備考】 過去5年間の受講者数伸び率をもとに目標を設定	目標値		20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
	実績値	17.2%	16.8%	16.3%	19.1%	18.8%	11.7%	-	4.0%
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	実績値なし	努力が必要
	感染症の影響	6回中5回中止。1回オンラインにて実施。							
	達成状況の分析	オンラインの実施で、令和元年以前の1回あたりの参加組数と同程度の参加者があり、アンケートにおいても好評であった。							
	今後の取組	コロナウイルスの感染状況に関わらず、全ての教室をオンラインで実施し継続することとする。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
赤ちゃん訪問事業 健康推進課	出産後2ヶ月までを目途に訪問し、母子の健康状態等について把握するとともに、特に母親の育児に関する状況や心身の状態を確認し困りごと等について支援する。全例について訪問等を行った。	感染対策を十分に行い、保護者にもその旨伝えて訪問についての理解を得るようにする。拒否された場合であっても、電話等直接接しない方法での状況把握、支援を行うようにする。里帰り出産をしていても、他自治体への依頼等でできるだけ早期に訪問を行えるように計画する。
乳幼児健診事業 健康推進課	法定健診及び任意の2歳児相談を行っている。感染状況が悪化していても感染対策を行いながら年間予定どおり実施した。法定健診はいずれも95%以上の受診率であった。	感染対策を十分に行い、保護者にもその旨伝えて訪問についての理解を得るようにして時期を逸することなく、児の成長発達の確認や保護者の支援を行えるようにする。発達支援室とも継続して連携し、必要な支援が切れ目なく行えるようにする。
父親向け子育て支援事業 健康推進課	緊急事態宣言等で実施できない時期が続いたが、要望もあったためオンラインで1回開催し、好評であった。	社会的に男性の子育てに関心が高く、その必要性も言われている。妊婦は感染の高リスク者であることから、感染状況に関わらずオンラインで開催することで、安心して参加できるように実施する。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
産後ケア・サポート事業 健康推進課	産後ケアの利用人数は増加している。 <u>感染状況によって他者と会う機会が減り、相談やストレスの発散がしにくい状況で、利用が増えている可能性がある。</u> 産後サポートについては、ヘルパーの人手不足もあり、サービス利用しないと家事・育児がかなり逼迫することが予想される家庭に利用を限定した。	産後ケアは継続。産後サポートは、委託を受けられる事業所を増やし、サービスの充実を図る。
子育て応援相談事業 健康推進課	専任保健師を配置し、妊娠から子育て期まで切れ目のない支援を行う。子育て支援プラン作成15件。	こども課との連携や、支援が必要な家庭へ継続的に関わっていくために継続実施。

3「子育てしたい！」希望をかなえる

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1)安心して子育てができる環境整備

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
児童センター利用者数(児童、保護者) 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		27,000人	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人
	実績値	27,160人	26,674人	26,013人	25,696人	25,136人	22,310人	8,516人	9,958人
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	令和3年9月3日から12日まで、県新型コロナウイルス感染症警戒レベル5及び「命と暮らしを救う集中対策期間」に伴い臨時休館。感染症対策徹底のため、前年度に引き続き開館時間の短縮や入館制限等を実施した。また、イベントも状況に応じて中止又は延期した。							
	達成状況の分析	コロナ禍であっても継続して開館することに重点を置き運営した。孤立しがちな環境下であっても多くの子どもたちや保護者に利用してもらえた点から概ね順調であったと言える。							
	今後の取組	ウィズコロナという新しいフェーズの中でも安心して利用してもらえるように衛生管理やイベントのあり方など運営の見直しを継続的に行う。子どもの健全育成支援、親支援を継続的に行う拠点として運営する。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
ファミリー・サポート・センター利用件数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		826件	870件	913件	957件	1,000件	1,000件	1,000件
	実績値	783件	906件	1,120件	916件	1,107件	718件	603件	802件
	達成度		順調	順調	順調	順調	概ね順調	努力が必要	概ね順調
	感染症の影響	令和2年度は感染症の影響により利用者が減少したが、令和3年度は例年並みの実績に戻った。							
	達成状況の分析	保育園等の送迎、仕事の間の預かりなどのニーズはあり、子育ての援助を受けたい人と、援助を行いたい人の会員相互扶助による子育て世代のサポートを行うことができた。							
	今後の取組	働き方の多様化などを背景としたニーズの変化に対応できるよう、受託者と意見交換しながら、きめ細やかな会員相互扶助が行われるよう事業を実施する。様々なニーズに対応できる「まかせて会員」の確保に努める。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
病児病後児保育利用者数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		400人/年度	400人/年度	400人/年度	400人/年度	400人/年度	400人/年度	400人/年度
	実績値	427人	458人	430人	377人	479人	512人	158人	471人
	達成度		順調	順調	概ね順調	順調	順調	努力が必要	順調
	感染症の影響	令和2年度は感染症の影響により利用者が大幅に減少したが、令和3年度は例年並みの実績に戻った。							
	達成状況の分析	令和2年度に対象年齢を引き上げて利用対象を拡大したことや、制度の周知や理解が進んだことから、幅広く園児・児童の利用へとつながり、順調な利用者数を達成した。							
	今後の取組	引き続き、諏訪市保育園保護者会連合会等からの要望を聞いたり、キッズケアルーム・スマイルの職員と情報交換を行いながら、さらなる事業の充実を図る。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
児童センターの運営 こども課	乳幼児親子イベント355回、全年齢イベント48回、保護者向けイベント14回 <u>感染症対策により、イベント回数や定員を大幅に見直し、衛生管理・安全対策を徹底し実施</u>	利用者のニーズを把握し、イベントや講座の企画運営に反映させる。また、親支援の観点から必要な企画を検討し、子育て支援機能を強化する。 <u>感染症対策の継続実施</u>

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
異世代が交流できる「ふれあいの家」の運営 こども課	団体利用者数 3,131人(延べ612団体) 個人利用者数 507人 感染症対策により、定員等を見直し、衛生管理・安全対策を徹底し開館	多様な世代の様々な人との関わりを通じて子どもの健やかな成長を促すという施設の設置目的に即した、世代間交流が図られる運営のあり方を検討する。 感染症対策を継続し、定員等の制限緩和を考慮しながら開館
児童遊園の遊具の点検・整備の実施 こども課	全児童遊園の遊具等点検を行い、点検結果と地元区からの要望を総合的に検討し、安全面での優先度の高いものから遊具等の修繕、撤去を行った。	全児童遊園の遊具等点検を行い、点検結果と地元区からの要望を勘案し安全管理に努める。
あゆステの運営 こども課	開設3年目を迎えた子ども家庭総合支援拠点「すわ☆あゆみステーション」は、認知度の向上とともに多くの相談が寄せられるようになったが、子どもと子育て家庭の困りごとに寄り添ったきめ細やかな支援に努めた。	各職種の専門性向上と、専門的職種の安定的確保が課題である。様々な機会をとらえて資質向上を図り、やりがいのある働きやすい職場環境を整え、人材確保に努める。また、多様化する相談に対応できる相談体制の確保に努めるとともに、オンラインを活用した情報配信や相談の仕組みなどを検討する。
子育て情報の一元化 こども課	諏訪市ホームページリニューアルに合わせて、子育てサイトを親しみやすくわかりやすいページにリニューアルした。	子育てサイトで発信する情報の充実に努め、ページへのアクセス数などにより情報発信の有用性、利活用状況を把握できるようにする。
ファミリー・サポート事業の実施 こども課	会員数:新規会員28名、おねがい会員233名、まかせて会員72名、両方会員2名 活動件数:育児サポート799件、緊急サポート3件	まかせて会員数が減少傾向にあるほか、多様なニーズに対応できる会員の養成が課題である。受託者と市が協働して会員拡充に向けた取り組みを進める。
放課後児童クラブの運営 教育総務課	放課後児童クラブを市内6小学校にて11クラブを運営(養護クラブ含む) ・通常利用登録児童354人 ・長期休業日利用登録児童232人 合計586人(令和4年3月末)	利用児童が安心安全に過ごせるよう、適切な遊びや生活指導を行い、児童の健全な育成とともに、子育て支援が図られている。利用児童数及び配慮が必要な子の増加により、指導員体制を充実させる必要がある。クラブ室の安全対策及び環境整備を進める必要がある。
病児病後児保育事業 こども課	制度の周知や理解が進んだことから、幅広く園児・児童の利用へとつながり、順調な利用者数を達成した。	安心して出産・子育てができる環境を整備するため、引き続き、保護者等からの要望などを参考にしながら、さらなる事業の充実を図るよう努める。
乳幼児子育て学級の開催 生涯学習課(公民館)	全16回(5～10月)定員20組 育児サポーター8名 【実績】令和3年度 受講者16組(乳幼児16名)	・講座の周知について、引き続き子育て中の人々が訪れる関連施設等に募集チラシを置くなど工夫する。 ・四条例館においても子育て関係の講座を充実させていく。 ・講座内容についてニーズに合ったものを工夫する。
親子向け講座「enjoyサイエンス」の開催 生涯学習課(公民館)	【実績】令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大のため7回中止し、全4回開催。内1回を四賀公民館で、1回を森林体験学習館で実施。受講者各8組63人。	・市内全域の小学生が参加しやすいよう、四条例館を活用するなどの工夫をしていく。 ・男のおもしろ倶楽部の受講者がボランティアでサポートすることがある。今後も多世代の交流ができる機会を増やしていく。
託児サポート付講座の開催 生涯学習課(公民館)	・子育て中の保護者の講座参加のため、講座受講者の託児サポートを無料実施。 【実績】令和3年度 利用者231組(乳幼児子育て学級211組、一般講座8講座20組)	・募集チラシや広報、新聞記事等を通じて、託児サポート(無料)があることをPRし、子育て中の親の社会参加を図っていく。
男のおもしろおはなし会の開催 生涯学習課(公民館)	・男のおもしろ倶楽部受講者のボランティアによる男性の読み聞かせ。 【実績】令和3年度 コロナ禍により実績なし	・コロナ禍により活動が途切れてしまったため、方向性について今後検討する。
ファーストブック・セカンドブック(本のプレゼント)の実施 生涯学習課(図書館)	親子で絵本を楽しむきっかけとして、0歳児・3歳児の健診時に、絵本のプレゼントを実施。 【実績】ファーストブック対象に対する配布率95.2% セカンドブック対象に対する配布率72.6%	健診未受診者へは配布ができないため、絵本プレゼントのことが伝わるよう、保育園等を通して情報発信をしていく。

3「子育てしたい！」希望をかなえる

(2) 保育所の充実

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度	平成27年度 (基準値)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
保育所の待機児童数	目標値			0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実績値	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	達成度			順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響								
【備考】 待機児童ゼロを堅持	達成状況 の分析	令和元年度に赤沼保育園の3歳未満児室を拡張整備して、保育の受け皿を増やすなどの取り組みを進めた結果、待機児童0人を維持することができた。							
	今後の 取組	3歳未満児の保育需要は年々増加傾向にあり、今後も社会情勢の変容等により需要が高まることが予測されるため、保育所の申し込み状況の動向を見極めつつ、さらなる保育士確保の検討を行う。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
延長保育や一時保育など地域子ども・子育て支援(特別保育)事業 こども課	3歳未満児の一時保育については、令和3年度も2園(片羽、豊田)で実施した。幼保無償化により、保育標準時間認定を受けた子どもは、延長保育使用料が原則無償となり、保護者の利便性の向上につながった。	生活様式や価値観の多様化、働き方の見直しなど社会情勢の変容により、さまざまな事由による一時保育のニーズが増加傾向にある。諏訪市保育園保護者会連合会とも協議を行い、新たなニーズに応えられる効果的な資源配分を検討する。
心身の発達に資する体験保育・交流保育の推進 こども課	市内保育園の統一的なテーマに「絵本の読み聞かせ」を掲げ、各園において実践的研究を進めた。その他、地域の方の協力を得ながら、地域資源を生かした体験保育、交流保育を推進した。	令和4年度は、昨年度から引き続き、市内保育園の統一的テーマを「絵本の読み聞かせ」に掲げ、各園での実践研究を進める。新型コロナウイルス感染症対策として、講師による講演等をオンラインにより開催する。
障がい児等に対する保育体制の整備 こども課	障がい等を有する子どもが増えているため、障がい児等保育事業実施要綱により、医療的ケアを要する児童を保育園で受け入れている。	障がい等を有する子どもが、保育園での集団生活を通じて自立した生活を送ることができるよう、障がい児等保育事業実施要綱に基づいて、手厚い保育を進める。
保育人材の育成(質の向上) こども課	乳幼児保育の専門知識や、幅広い教養、人権感覚を磨くために、保育所職員研修や啓発事業等を行った。	園児の安全性向上のために必要な職員研修について、諏訪市保育協会と協働して実施を検討する。また、実践研修の場を最大限生かし、OJTを活用した園内研修の充実を図る。
3歳未満児保育の受入体制確保 こども課	3歳未満児の保育の受け皿を確保するため、令和元年度に赤沼保育園を改修して、0・1・2歳児の保育室を整備した。保育所の待機児童0人を維持するために、引き続き保育士の確保に努めた。	今後も3歳未満児の保育需要が高まる傾向が予測されるなか、保育士の確保に努めながら、新規に民間施設の開所希望がある場合には対応する。
保育環境(規模・配置)適正化の推進 こども課	子どもの豊かな育ちや多様な保育ニーズに対応するための基本方針「ひろがる笑顔”ゆめ保育所プラン”」の策定経過や内容を周知するため、諏訪市保育園保護者会連合会等に対し説明会を開催した。	「ゆめ保育所プラン」に基づき、各地区の保護者や住民等との懇談の機会を設け、保育・幼児教育サービス全体の充実を図り、安定的かつ持続的に展開できる保育行政を探っていく。
園舎の維持管理・環境整備 こども課	園庭固定遊具の年次更新を図るとともに、保育環境向上のための各種整備を進めた。	園庭固定遊具の年次更新や施設老朽箇所の修繕など、安心して生活しながら楽しく遊べる保育環境を整備するための工事・修繕や備品購入を行う。

3「子育てしたい！」希望をかなえる

(3)子育ての経済的負担・精神的負担を軽減するサポート体制構築

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調:目標値以上

○概ね順調:80%以上100%未満

○努力が必要:80%未満

○実績値なし:当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
出生数 【備考】 人口ビジョンをもとに出生数の減少抑制を目標に設定	目標値		427人(累計)	853人(累計)	1,280人(累計)	1,706人(累計)	2,133人(累計)	2,559人(累計)	2,985人(累計)
	実績値	467人	458人(累計)	899人(累計)	1,296人(累計)	1,670人(累計)	2,045人(累計)	2,383人(累計)	2,684人(累計)
	達成度		順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、結婚や出産という機会を控えようとする動きは全国的にある。							
	達成状況の分析	概ね順調となっているものの、出生数は減少傾向にあり対策が必要である。							
	今後の取組	市内で安心して出産・育児ができる施策や事業の検討を進めるとともに、市内外への積極的なPRが必要である。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
公立子育て支援センターでの相談件数 【備考】 R元年度以降上方修正した目標値を維持	目標値		500件	600件	600件	600件	700件	700件	700件
	実績値	473件	611件	1,043件	1,254件	1,169件	919件	1,468件	1,430件
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響	感染症の影響により、講座を一部中止とした。昨年度と同様、コロナ禍における子育てのストレスや不安等に関する相談が多く寄せられた。							
	達成状況の分析	本事業が地域に定着してきており、相談件数は目標値を達成している。また、講座の内容については、時勢に沿うものを開催するよう工夫しながらニーズに対応している。							
	今後の取組	年々複雑かつ多様化する保護者の相談内容にきめ細かく対応できるように、職員のスキル向上が必要である。公立・私立間の交流や情報交換を行い、支援体制のさらなる強化を図っていく。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
ひとり親世帯の就業支援による就業成立数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度
	実績値	13件	6件	3件	4件	2件	2件	4件	1件
	達成度		概ね順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	感染症拡大に伴う休業、営業自粛、営業時間短縮など、パートやアルバイトでの就労が多いひとり親への影響が懸念された。							
	達成状況の分析	就業支援による就業成立件数は目標値を下回ったが、様々な機関による就業支援・相談の場が増えていることも要因である。各機関と連携しながら、就労安定に資する取り組みを継続している。							
	今後の取組	引き続き就業支援を行うとともに、高等職業訓練給付金など他の施策も活用しながら、ひとり親家庭の自立の生活安定につなげていく。感染症拡大の影響を受けやすいひとり親世帯の就労の安定に資する取り組みを継続する。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
福祉医療費の給付 市民課	乳幼児等、障がい者、母子・父子家庭の早期適切な受療と医療費の家計への負担軽減を図るため、福祉医療費給付事業を実施した。また、令和3年8月より乳幼児等に係る柔道整復施術療養費の現物給付化を実施した。新型コロナウイルス感染症の感染の拡大の影響を受けて、医療機関の受診控えが発生した令和2年度に比して、給付件数・金額ともに増加した。	県内においては、乳幼児等に係る福祉医療費の給付対象年齢について拡大する動きが活発化していることから、その動向を注視し、当市における対象年齢の拡大について検討していたが、令和5年度より対象年齢を18歳まで引き上げる方針を決定した。 また、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した令和2年度を除き、給付額は増加し続けている。適正な医療機関の受診による医療費の適正化について、啓発が必要である。
児童扶養手当の支給 こども課	受給者数 326人(令和4年3月末) 支給総額 174,566,320円	国の制度に基づき適正に支給する。
巡回支援専門員の配置 こども課	「子育て支援シート」の見直しにより、切れ目ない発達支援体制が強化された。 子育て支援シート使用者数:337件	巡回支援専門員を中心に保育園・学校等における切れ目のない発達支援を推進する。そのツールとして「子育て支援シート」の利用促進や改善見直しを随時行い、関係分野の横断的な連携を強化する。
地域子育て支援センター こども課	子育て支援センターの相談件数は、1,430件(実績値)となった。市全体の子育て支援センター機能を強化するため、私立幼稚園も参画した公立・私立間の交流会を実施した。	乳幼児およびその保護者が相互に交流できる場を開設し、相談援助や子育て支援の情報提供を行う。引き続き、相談支援のための専門職を配置するとともに、センター機能を強化するため、公立・私立間の交流の場を継続して設けるほか、情報発信強化に努める。
ひとり親家庭の支援 こども課	高等職業訓練促進給付金支給件数:1件 児童扶養手当受給者数(令和4年3月末):326人 <u>子育て世帯生活支援特別給付金(国事業)</u> <u>(ひとり親世帯分):384世帯</u>	国の制度に基づき適切に運用する。 <u>子育て世帯生活支援特別給付金(国事業)を支給するとともに、国の給付金対象者に子ども支援特別給付金(市単)を上乗せして支給する(ひとり親世帯分)。</u>

4「学びたい、学ばせたい！」希望をかなえる

(1)ものづくり教育を核としたキャリア教育の推進

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
「相手意識に立つものづくり科」アンケートで「ものづくりは楽しい」と答えた児童生徒の割合	目標値		84.0%	85.5%	87.0%	88.5%	90.0%	93.5%	95.0%
	実績値	90.2%	92.4%	92.0%	92.0%	93.2%	93.4%	90.6%	90.3%
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調
	感染症の影響	令和3年度はコロナ禍の中であったが、万全な感染症対策を講じ、地元企業に協力いただき「ものづくり」を学ぶ「地域密着型ものづくり講座」を実施した。ものづくり教育で児童生徒が制作した作品を販売する「チャレンジショップ」は中止となったが、ものづくり学習の活動の様子や諏訪市の特色ある学習活動の成果を、一般市民に披露する機会として「相手意識に立つものづくり科ロビー展」を開催した。							
	達成状況の分析	時計づくりや地域密着型ものづくり講座など地元企業の方々の協力で支えられているものづくり学習は大変貴重であり、体験学習としても質の高いものである。チャレンジショップの出品も含め子ども達にもものづくりの楽しさや自分の手によって制作した達成感を体験するものになっている。※R3年度は時計づくり、チャレンジショップが中止。							
【備考】 過去の実績から、諏訪市総合計画後期基本計画を超える目標値を設定	今後の取組	引き続き企業・行政・教育の3者が協力し、一体となり、時計づくりや地域密着型ものづくり講座を連携して推進する。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
「相手意識に立つものづくり科」アンケートで「将来社会へ出たら必要な力や大切なことがわかりました」と答えた児童生徒の割合	目標値		80.3%	81.5%	82.6%	83.8%	85.0%	86.2%	87.4%
	実績値	79.1%	80.8%	80.4%	80.6%	78.6%	84.7%	74.8%	84.5%
	達成度		順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
	感染症の影響	令和3年度はコロナ禍の中であったが、万全な感染症対策を講じ、地元企業と協力して「ものづくり」を学ぶ「地域密着型ものづくり講座」を開催したことにより、現場での実体験を経験することができた。							
	達成状況の分析	地域密着型ものづくり講座で、働く人々の姿に直接触れることで、ものづくりの大切さや働くことの意味などについて学ぶことができ、大事なキャリア教育の一つでもあり、郷土諏訪の良さを理解するうえでも貴重な「ふるさと学習」となっている。							
【備考】 計画当初の目標値伸び率を維持	今後の取組	引き続き「ものづくり精神」を生かした「諏訪版キャリア教育」を推進する。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)		課題と対応(令和4年度以降)	
	※感染症の影響については下線部		※感染症に起因する課題等については下線部	
教育振興基本計画の策定 教育総務課	諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「安心して子育てができる環境整備」、「ものづくり教育を核としたキャリア教育の推進」、及び「子どもから大人まで生涯学べる環境整備」などの具体的な活動計画(平成30年度～令和4年度)を策定している。		第六次諏訪市総合計画及び、(第一次)教育振興基本計画の検証等を踏まえ、令和4年度に第二次教育振興基本計画策定委員会を開催し、改訂作業を行う。	
地域密着型ものづくり講座の実施 教育総務課	「相手意識に立つものづくり科」アンケートで「ものづくりは楽しい」と答えた児童生徒の割合【目標値】95.0%【令和3年実績値】90.3%。同アンケートで「社会に出たら必要になる力・考え方、大切なことなどがわかった」と答えた児童生徒の割合【令和3年度実績】84.5%。		今後も「相手意識に立つものづくり科」の充実により、ものづくりを活用しながら、豊かな心情を養い、 <u>将来の地域産業を担う意欲を醸成していくが、新型コロナウイルスの影響が続くと想定される中、違った形での取り組みを検討する必要がある。</u>	

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
チャレンジショップの開催 教育総務課	相手意識に立つものづくり科授業の中で、チャレンジショップへの出品作品を制作することができた。 ※コロナ過の影響により、「チャレンジショップ」は中止となったが、ものづくり学習の活動の様子や諏訪市の特色ある学習活動の成果を、一般市民に披露する機会として「相手意識に立つものづくり科ロビー展」を開催し、出品作品を展示した。	「相手意識に立つ」ことを生かした学習により、他者への思いやりの気持ちや人とのコミュニケーション能力をさらに養う。

4「学びたい、学ばせたい！」希望をかなえる

(2)国際理解教育や情報教育、地域学習などの推進

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
国際理解教育年間授業時間数(小学校各学校あたり)	目標値		50時間	50時間	50時間	50時間	105時間	105時間	105時間
	実績値	50時間	50時間	50時間	105時間	105時間	103時間	88時間	105時間
	達成度		概ね順調	概ね順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調	順調
	感染症の影響	令和3年度はコロナ禍の中であったが、万全な感染症対策を講じ、授業を実施したことから国の示す方針に沿った授業時間数の確保ができた。							
	達成状況の分析	外国語指導講師(ALT)4名が全小学校を巡回し、担任とALTが授業を進める場面では、会話やゲームを通して児童が英語に慣れ親しむことができた。							
【備考】 計画当初の目標値を維持	今後の取組	令和2年度からの小学校5・6年生の英語教育教科化に伴い、5・6年生は「読む・書く」の指導を段階的にいき、3・4年生は「聞く・話す」を中心とした外国語活動を推進する。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
蓼科保養学園入園児童数	目標値		150人/年度	150人/年度	150人/年度	150人/年度	150人/年度	150人/年度	150人/年度
	実績値	149人	125人	135人	144人	136人	148人	82人	—
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	実績値なし
	感染症の影響	コロナ禍を踏まえ、令和2年度冬季から休園が続いている。							
	達成状況の分析	実績値なし。							
【備考】 計画当初の目標値を維持	今後の取組	令和4年度もコロナ禍を踏まえ年間を通じ休園していたが、年度末をもって閉園することを決定した。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
国際理解・外国語教育の推進 教育総務課	国際理解教育年間授業時間数目標値(小学校各学校あたり) 105時間 【内訳】3・4年生: 35時間 5・6年生: 70時間 令和3年度実績: 105時間 【内訳】3・4年生: 35時間 5・6年生: 70時間	令和3年度はコロナ禍の中であったが、万全な感染症対策を講じ、授業を実施したことから国の示す方針に沿った授業時間数の確保ができた。 現状外国語活動指導助手が授業に関わる時間数は3・4年生で15時間、5・6年生で35時間である。令和2年度の小学校5・6年生における英語教育の教科化に伴い、英語力の向上を図るため、外国語活動指導助手の配置時間数を増やす必要がある。
蓼科保養学園の運営 こども課	コロナ禍を踏まえ、令和2年度冬季から休園が続いている。	本市の特徴的な取組みとして学識者や関係者からの評価は高いが、総体的な認知度は十分でない。学園生活の紹介や魅力発信のため、平成30年5月よりSNSを活用している。 <u>令和4年度もコロナ禍を踏まえ年間を通じ休園していたが、年度末をもって閉園することを決定した。</u>
未来創造ゆめスクールプラン事業 教育総務課	「未来創造ゆめスクールプラン基本計画」に基づき、城北小学校と高島小学校を統合し、城南小学校の一部通学区を変更した上諏訪小学校を令和3年4月に開校し、隣接する上諏訪中学校と小中一貫教育を開始。	上諏訪小学校と上諏訪中学校との小中一貫教育における児童・生徒の様子の観察、学習に対する評価、全体的な評価・成果を検証する。また、令和5年度から市内全校を対象とした分離型小中一貫教育を開始するため、「小中一貫教育プロジェクト推進委員会」を立ち上げ、研究・実践を開始するとともに、次期の再編の準備に着手する。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
新体験学習プログラムの研究と実践 教育総務課・こども課	先導的実践研究等の成果を参考にしながら学園の特長を生かした体験プログラムが行われてきたが、 <u>コロナ禍を踏まえ、令和2年度は感染症対策を最優先しプログラムを休止、同年度冬季から休園が続いている。</u>	<u>令和4年度もコロナ禍を踏まえ年間を通じ休園していたが、年度末をもって閉園することを決定した。</u>
長期宿泊体験が心の成長に及ぼす効果検証(「心の成長」測定) 教育総務課・こども課	学園生活が児童の心の成長・生きる力に及ぼす影響、効果について教育的見地から検証されてきたが、 <u>コロナ禍を踏まえ、令和2年度冬季から休園が続いている。</u>	<u>令和4年度もコロナ禍を踏まえ年間を通じ休園していたが、年度末をもって閉園することを決定した。</u>

4「学びたい、学ばせたい！」希望をかなえる

(3) 特別な支援が必要な子どもたちへの支援

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
教育相談終結件数	目標値		130件	130件	130件	130件	130件	130件	130件
	実績値	116件	120件	108件	127件	107件	108件	105件	111件
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
	感染症の影響	学校訪問や個別相談の日程変更を行うことはあったが、相談件数への影響は出なかった。							
	達成状況の分析	発達障がいなどに伴う就学相談や不登校、いじめ、家庭環境の問題等による学校生活の不適応やその傾向にある児童生徒の課題が深刻化・長期化している傾向にある。							
【備考】 計画当初の目標値を維持	今後の取組	相談内容が複雑化・多様化しているケースが増えてきているため、子ども家庭総合支援拠点(すわ☆あゆみステーション)と連携し早めの教育相談に繋げ、医療・福祉などの関係機関と連携した早期の対応、支援することが必要である。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
小中学校の不登校児童・生徒の支援 教育総務課	子どもや保護者との面談・支援会議回数 191件 学校や関係機関等との連絡調整回数 284件	児童生徒の学校不適応等の要因として、家庭内の養育環境に起因しているケースがある。学校側の積極的な介入が難しい家庭環境の課題に対し、スクールソーシャルワーカーが子ども家庭総合支援拠点(すわ☆あゆみステーション)と連携体制を維持しながら児童生徒を中心とした支援体制の強化を図っていくことで、適切な就学環境を整えていく。
中間教室の設置 教育総務課	中間教室の開室日数 229日 児童生徒の通室日数延べ 571日	小・中学校へ登校できない児童生徒にとって安心できる居場所であり、学習機会を確保する重要な場所である。個々の児童生徒に寄り添いながら社会的自立に向けた支援の充実を図る。
教育相談員の配置 教育総務課	単年度の教育相談の延べ回数 260回 " 終結件数 111件	発達に課題を抱える子どもや保護者への各種支援は学校だけの課題ではなく、幼児期から学童期を経て社会人に至るまでの一貫した支援が必要である。子ども家庭総合支援拠点(すわ☆あゆみステーション)と連携体制を維持しながら、各ライフステージに適した支援の充実を図る。
学習支援員・自立生活支援員の配置 教育総務課	学習支援員 小学校6名 勤務実績 5,919時間 中学校4名 " 3,888時間 自立生活支援員 小学校19名 " 15,179時間 中学校11名 " 8,759時間	発達障がいの児童生徒や合理的配慮が必要な児童生徒は増加傾向にある。学習面・生活面において支援の必要な児童生徒に対して、学習支援員や自立生活支援員を市内小中学校に配置することで、安心安全な学校生活やきめ細やかな学習活動の支援を継続して行う。

5「働き続けたい！」希望をかなえる

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) 多様な就労形態、育児休業の取得促進

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度	平成27年度 (基準値)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)	令和2年度	令和3年 (目標値)
「くるみん」認定企業数	目標値			1事業所	2事業所	2事業所	3事業所	3事業所	3事業所
	実績値	-	1事業所	1事業所	2事業所	3事業所	3事業所	3事業所	3事業所
	達成度			順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	目標値は達成したが、審査が厳しく認定取得のハードルが非常に高いため、多くの企業が取得することは難しい。							
	今後の取組	引き続き、比較的規模の大きな企業を中心に広くPRしていく。							
【備考】 計画当初の目標値を維持									
KPI	項目	平成26年度	平成27年度 (基準値)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)	令和2年度	令和3年 (目標値)
「社員の子育て応援宣言！」登録企業数	目標値			31事業所	40事業所	50事業所	60事業所	100事業所	100事業所
	実績値	-	23事業所	96事業所	108事業所	109事業所	109事業所	101事業所	94事業所
	達成度			順調	順調	順調	順調	順調	概ね順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	市内企業へPRした結果、平成27年度(基準値)より大幅に増加し目標値を達成している。最近の状況を見ると、取得する企業は一通り取得してしまった感があるので、今後は今の水準をいかに維持するかが課題である。							
	今後の取組	宣言で終了ではなく、次のステップである「職場いきいきアドバンスカンパニー」の認証に繋げてもらえるように支援していく。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)		課題と対応(令和4年度以降)	
	※感染症の影響については下線部		※感染症に起因する課題等については下線部	
子育て企業サポート事業 商工課	事業終了		事業終了	
子育て女性の雇用の確保 商工課	平成29年度に子育て中の女性の常時雇用に対し雇用した事業主に奨励金を交付する制度を新設し、30年度から申請に基づき交付を開始。 【実績】令和3年度奨励金交付 6件		女性が子育てしながら働き続けることができる社会をめざし、雇用の創出を図る企業を支援する制度の新設。令和2年度から補助対象要件を拡充し、フルタイムに加えパートタイムも対象としている。	

5「働き続けたい！」希望をかなえる

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
「ワーク・ライフ・バランス」啓発のための講座・講演会参加者数	目標値		120人	140人	160人	180人	200人	200人	200人
	実績値	100人	292人	165人	101人	155人	127人	-	47人
	達成度		順調	順調	努力が必要	概ね順調	努力が必要	実績値なし	努力が必要
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染症の影響により「ともに生きる諏訪セミナー」や「ともに生きる諏訪市民大会」が中止となった。							
	達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の状況を見つ「研修会」や「勉強会」を開催し、男女共同参画社会実現に向けて知識を得ることができた。							
【備考】 計画当初の目標値を維持	今後の取組	「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」等の市民団体と協力し、引き続き、男女共同参画社会の推進に向けた取り組みを実施する。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)		課題と対応(令和4年度以降)	
	※感染症の影響については下線部		※感染症に起因する課題等については下線部	
男女共同参画推進事業 地域戦略・男女共同参画課	新型コロナウイルス感染症の影響により「ともに生きる諏訪セミナー」や「ともに生きる諏訪市民大会」が中止となった。		市民団体と協働し、継続的に啓発活動を行うことにより子育て世代のワーク・ライフ・バランスの実現や、女性活躍推進を積極的に啓発していく。	

四之柱 誰もが安全・安心・安定して暮らせる、「個性」が輝く「まち」の創生

基本目標

諏訪市の特色を最大限に活用した「くらし」の充実により、住み慣れた地域で、健康的に自分らしい生活を送ることができる「まち」の創生を目指します。

達成度の目安

○順調：目標値以上

○概ね順調：80%以上100%未満

○努力が必要：80%未満

○実績値なし：当該年度の実績値なし

【数値目標の進捗状況】

数値目標	項目	平成27年 (基準値)	平成28年調査	平成29年調査	平成30年調査	令和元年調査	令和2年調査 (当初目標値)	令和3年調査	令和4年調査 (目標値)
防災対策に対する 市民満足度	目標値		向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上
	実績値	3.16	3.09	3.09	3.16	3.33	3.30	3.31	3.35
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	概ね順調	順調	順調
【備考】 基準値を上回ることを目標 に設定									
数値目標	項目	平成27年 (基準値)	平成28年調査	平成29年調査	平成30年調査	令和元年調査	令和2年調査 (当初目標値)	令和3年調査	令和4年調査 (目標値)
健康づくりに対する 市民満足度	目標値		向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上
	実績値	3.31	3.27	3.30	3.29	3.41	3.27	3.23	3.47
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調	順調
【備考】 基準値を上回ることを目標 に設定									
数値目標	項目	平成27年 (基準値)	平成28年調査	平成29年調査	平成30年調査	令和元年調査	令和2年調査 (当初目標値)	令和3年調査	令和4年調査 (目標値)
生涯学習に対する 市民満足度	目標値		向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上
	実績値	3.11	3.18	3.20	3.26	3.25	3.16	3.22	3.23
	達成度		順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調	順調	順調
【備考】 基準値を上回ることを目標 に設定									

【総合分析】

数値目標に対する新型コロナウイルス感染症の影響

●防災対策の強化、地域防災の充実

新型コロナウイルス感染症及び大雨災害発生のため、大人数が集合する従来の市主催総合訓練は見送り、災害対策本部を中心とした状況付与型図上訓練に取り組んだ。また、消防団の訓練や行事等の活動については、感染症の影響により、中止や大幅な規模の縮小、自粛となった。

●賑わいのあるまちの形成

駅前交流テラスすわっチャオは、感染症拡大防止策（臨時休館、自主事業の中止または延期、スタジオ使用停止、貸施設定員数の1/2制限、食事の制限など）の実施により、施設利用者数への影響があった。また、「諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ運営協議会」は、2回開催のうち、まん延防止期間と重なった1回は書面開催とした。

●快適な生活環境の維持保全

秋の一斉清掃及び浮遊ごみ除去（トヨタソーシャルフェス）以外の活動については、規模縮小となったことにより大幅にボランティア参加者は減少した。

●健康づくりの推進による健康寿命延伸

すわっこランドは、令和2年度に引き続きコロナ禍での感染症対策を講じながら運営となり、自主事業等の積極的な誘客活動はできない状況であったため、コロナ禍以前より来場者数は大幅に減少している。特定健康診査は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、健診期間を2ヶ月延長した4ヶ月間で実施。また、受診勧奨についても同様に差し控えた。その他の事業についても少なからず新型コロナウイルス感染症の影響を受けた。

●諏訪市の自然や歴史文化に触れる機会の創出

博物館は、展示事業は実施できたものの、学びの機会を提供するためのフォーラム、講座、学習会など、予定していた自主事業の中止、延期が相次ぎ、入館者数にも影響した。美術館は、共催展の一つを中止とし、展覧会関連イベントの多くを延期、中止とした。9/3～12を臨時休館した。

四之柱 誰もが安全・安心・安定して暮らせる、「個性」が輝く「まち」の創生

【総合分析】

基本目標の達成に寄与した取組成果
●地域公共交通網が確保された利便性の高い交通環境整備 かりんちゃんバスは、令和3年4月1日に霧ヶ峰線と西山線を統合し再構築した東西線を運行開始。また、利用促進事業を展開することにより、1便あたりの利用者数増につながっている。また、スマートインターチェンジ設置促進や国道20号諏訪バイパスの早期事業化への取組、その他道路の改良・修繕など、交通環境整備が着実に推進されている。 ●住み慣れた地域で暮らし続けるための介護予防、介護サービスの推進 認知症サポーター養成講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により地域住民グループからの講座依頼は減少したが、学校や事業所、地区民生委員等の団体等を対象に年6回開催し、86人が講座を受講。実際に地域で高齢者との関わりのある方にとって実践的で役立つ講座を実施できた。また、後期高齢者の要介護認定者数は増加しているが、全体ではほぼ横ばいに抑えられている。介護予防事業等の取組みにより、増加の傾向が緩やかとなっている。
今後の方向性
●快適な生活環境の維持保全 各種環境保全活動は、学習の意味合いもあるため、新型コロナウイルスの感染状況を見つつ、中止の選択肢はなるべく考えないようにし、少数でもボランティアとともに活動を行っていく。また、再生可能エネルギーについては、講演会等のイベント、令和4年度から「地球温暖化対策補助金」とした補助金の内容見直し等を毎年行っていく。 ●子どもから大人まで、生涯学べる環境整備 生涯学習課主催講座は、コロナ禍における講座開催の方法についてさらに研究・検討する。また、地域課題解決につながる講座を取り入れ、受講者が地域で主体的に活動するための取り組みを研究する。スポーツ教室は、より多くの市民が年齢や体力に応じたスポーツを楽しめるよう、子どもからお年寄りまでのライフステージにきめ細かく対応した教室を開催する。さらに、市民の運動機会増を目指すとともに、オンラインを活用するなどコロナ禍の沈静後の社会状況と住民ニーズに的確に対応した教室の開催を検討していく。

1 安全・安心な「暮らし」

(1) 防災対策の強化、地域防災の充実

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
市地震総合防災訓練 への参加者数	目標値		10,443人	10,557人	10,672人	10,786人	10,900人	11,430人	11,960人
	実績値	10,329人	-	10,628人	10,639人	11,630人	10,046人	6,058人	47人
	達成度		実績値なし	順調	概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要
	感染症の 影響	新型コロナ禍及び大雨災害発生のため、大人数が集まる従来の市主催総合訓練は見送り、災害対策本部を中心とした状況付与型図上訓練に取り組んだ。							
	達成状況 の分析	目標値である防災訓練への参加人数には到達しなかったが、地震を想定した図上訓練の実施により、職員体制の確認や課題の洗い出しを行うなど一定の成果を得た。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	今後の 取組	コロナ禍に対応した訓練内容を計画するとともに、課題となっている避難所開設運営について、福祉避難所や救護所等との連携を含めた体制整備や課題整理を行う。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
自主防災組織の組織 率	目標値		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績値	91.3%	92.4%	94.5%	94.5%	95.6%	95.6%	95.6%	95.6%
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
	感染症の 影響								
	達成状況 の分析	自主防災組織は、市内91地区のうち87地区で組織されており、組織率は95.6%であり概ね順調である。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	今後の 取組	組織化されていない地区は、自治会としての組織が無かったり、山間地で極端に世帯及び区民数が少ない等の事情があり、自主防災組織の組織化が困難な地区ではあるが、今後も引き続き組織化に向けた働きかけを実施していく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
防災気象情報システムの整備 危機管理室	気象情報を配信し災害対策への活用を図る。 【実績】インターネット、LCV行政チャンネルにより防災気象情報の日々配信	市内雨量計による雨量・気温データの収集・雨量予測・天気予想を行っており、その気象情報をHPや行政チャンネル、パソコン、外出先でも気象情報を取得できるよう、スマートフォン配信により、情報提供している。今後も多くの利用に供するため周知を進める。
災害時のための防災資機材や非常食等の備蓄 危機管理室	避難所開設のための自主防災組織の防災資機材の整備補助を実施した。また、市民に対して非常用持ち出し袋の斡旋を行った。	市備蓄品の計画的な更新を行うほか、自主防災組織の防災資機材補助事業については、希望する団体に対して補助を実施できるよう予算確保に努める。
防災メール配信システムの整備 危機管理室	・住民への防災情報等を登録制メールで配信。 【実績】登録制メール登録者数10,748人(R4.3末)	・登録制メールの登録者数を増加するため、保育園、小、中学校の新入保護者に対し、メール登録の依頼を行う。
出前講座の開催 危機管理室	防災啓発事業を通じ市民の地震対策意識の高揚を図る。新型コロナの影響により、出前講座を一部見直し実施した。 【実績】出前講座 5回 (区0、団体5)	出前講座の開催に向け、広報すわ等を活用し、広くPRを行う。大勢が集合して行う「避難所運営ゲーム(HUG)」等の出前講座は、新型コロナ対策として当面見合わせる。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
自主防災組織防災資 機材整備費補助金の 交付 危機管理室	自主防災組織における防災資機材整備費の補助 【実績】防災資機材等32地区	同補助制度を継続的に実施し、各自主防災組織の防災力向上を図る。
河川改修や水路整備 の実施 建設課	市内各地区の浸水対策のため、効果的な道路嵩上げや、河川、水路改修工事を実施した。 【実績】河川改良工事 7箇所	継続的に自然災害防止事業債を活用し整備を実施する。また、地区要望箇所については、損傷度や緊急性・優先性を考慮し、地元協議が整った箇所から整備を実施する。
自主防災組織活動支 援事業 危機管理室	地域防災の担い手となる防災士の資格取得の促進するための補助 <u>コロナ禍のため消防団等への周知が実施不可となった。</u> 【実績】補助金対象者 0人	同補助制度を継続的に実施し、地域防災力の向上を図る。
内水排除施設維持管 理の促進及び修繕の 早期対応 建設課	市の平坦部は、河川水位に比べ土地の低い地域となっているため、市内45か所のポンプ施設を地区の運営・協力により内水排除を行い冠水を防いでいる。局地的豪雨にも対応できるように、ポンプの稼働状態を保持するため点検・管理並びに故障の場合は緊急の修繕を行った。	・ポンプ施設の老朽化をはじめ、設備の修繕等、人件費及び経費の高騰も今後の課題になっていく。区内水路等の改修・維持も伴わなくてはならない。地区による運営も水害の大きな防御となり、地区協働による地域の協力が力強い助けとなっている。 ・令和3年8月・9月大雨災害対応を踏まえ、浸水区域における内水排除ポンプの新設等を検討している。
消防団の活動支援・団 員の確保 消防庶務課	消防団員の処遇改善として、年報酬の増額と共にその報酬を個人口座振込へと改善した。 <u>消防団の訓練や行事等の活動については、感染症の影響により、中止や大幅な規模の縮小、自粛となった。</u>	減少が続いている団員数については、消防団内の「団員確保検討委員会」にて対応を協議している。コロナ禍により接触しての勧誘は難しいため、SNSを利用した勧誘や紹介を始めている。また、女性団員の増加も課題であり、女性団員確保についても検討を行っている。
小型ポンプ積載車等、 資機材の更新・維持 消防庶務課	小型ポンプ積載車2台の更新があり、補助事業を行った。小型ポンプについては更新なし。水害により排水活動を行ったポンプ自動車及び小型ポンプ15台について、業者による点検・整備を行った。	小型ポンプ、小型ポンプ積載車については各地区等での更新に対しての補助事業のため、更新が平準化するよう事前の情報収集に努め対応する。多くの車両や資器材を保有していることから、計画的な点検・修理を行い、有事に支障のないよう維持してゆく。
消防小型ポンプの更 新に係る支援 消防庶務課	貯水槽の修繕・嵩上げ4件、消火栓の修繕・嵩上げ9件を行った。水道管の布設替えに伴う消火栓の移設新設は8基、他に消火栓移設1基を行った。消火栓の新設事業は部品の流通がなく未実施となった。	水道管の布設替えに伴う消火栓の移設新設や、道路の改修に伴う嵩上げ工事が事業の多くを占めており、布設替えや道路工事の進行にあわせての予算執行となるため、新設事業が後手となっている。消火栓の新設・移設については、条件が整う箇所については立ち上がり式としてゆく。
消火栓の新設・移設・ 修繕 消防庶務課	豊田文出の水防倉庫を更新(解体・新築)した。大型のスチール倉庫にて、開口部はシャッターのため、大きな資器材の出し入れや、大人数での活動が容易にできるようになった。	築48年が経過した水防倉庫が1棟あり、老朽化が激しいため早急な更新を予定している。この更新後は各水防倉庫の長寿命化を図るため計画的に改修を行ってゆく。また、収容されている水防資材についても順次更新を行ってゆく。
耐震診断ローラー作 戦の実施、耐震改修メ ニューの拡充 都市計画課	・耐震診断に係る戸別訪問は、 <u>新型コロナ対応により個別訪問を控え、代替策として市内全区長宛て資料を送付した。</u> ・諏訪市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムにより住宅改修の補助率向上(1/2→4/5)を図った。	・耐震診断未実施である住宅の掘り起こし

1 安全・安心な「暮らし」

(2) 誰もが安心して自分らしく暮らすことができる支援

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
ボランティア登録者率	目標値		11.3%	11.3%	11.3%	11.3%	11.3%	11.5%	20.0%
	実績値	10.6%	11.2%	12.8%	9.6%	15.8%	18.6%	11.6%	19.1%
	達成度		概ね順調	順調	概ね順調	順調	順調	順調	概ね順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	令和元年度9,132人、令和2年5,647人、令和3年度9,173人 新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度には登録者数が40%ほど落ち込んだが、令和3年度には元の水準に戻った。							
	今後の取組	コロナ禍における活動団体の現状・ニーズ把握を行い、ボランティア・市民活動センター事業に反映させていく。							
障がい福祉サービス利用計画作成率	目標値		88.2%	91.1%	94.1%	97.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績値	85.2%	96.3%	99.7%	99.6%	99.6%	100.0%	100.0%	100.0%
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	障がい福祉サービス等受給者数: 355人 計画作成済み人数: 355人 作成率: 100% 障がい児通所支援受給者数: 148人 計画作成済み人数: 148人 作成率: 100%							
	今後の取組	障がい福祉サービス利用計画作成率100%を維持するとともに、基幹相談支援センター(オアシス)及び諏訪地域障がい福祉自立支援協議会との協働によりサービス利用計画の質の向上に努める。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)		課題と対応(令和4年度以降)	
	※感染症の影響については下線部		※感染症に起因する課題等については下線部	
地域福祉推進事業 社会福祉課	第4期諏訪市地域福祉計画の基本理念である「快適な環境の中で誰もが健康で自立生活をし、みんなで助け合い、支え合うまち」の実現に向け、各種施策を推進した。		経済的困窮、病気、家族の問題など複数の課題を抱える人が増えてきている。複合・複雑化したニーズに対し、包括的に支援していくための体制の充実・強化を図るため、関係機関との連携を更に進めていく。	
社会福祉協議会の活動支援 社会福祉課	地域福祉を推進する中核的な団体である社会福祉協議会に対し、補助金の交付を行った。		社会福祉協議会の実施する各種事業について洗い出しを行ない、真に必要な事業を遂行するための補助を実施し、体制の盤石化を図る必要がある。	

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
ボランティア・市民活動センターによる活動支援 社会福祉課	前年度に引き続き、①活動者支援 ②きっかけづくり ③情報発信 ④相談 を重点に置き、諏訪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の内容に沿った事業展開を意識しながら、ボランティア・市民活動の発展と、活動者のすそ野を広げる取組を進めた。	これまでの事業をベースに各種事業の開催の可否について検討するだけでなく、コロナ禍における新しい取り組みについても検討実施していけるよう、ボランティア・市民活動センター運営委員会と連携しながら進めていく。
障がい者(児)福祉計画の策定 社会福祉課	圏域内の他市町村及び関係事業所等から構成される「諏訪地域障がい福祉自立支援協議会」とも連携し、計画を推進した。	諏訪地域障がい福祉自立支援協議会において、圏域内の他市町村とも比較する中で計画の進行管理を行う。
障がい者自立支援センターの運営 社会福祉課	諏訪市障がい者自立支援センター(オアシス)の利用状況 ・開館日数 291日 ・相談者数 4,114人(うち諏訪市1,680人)	国から設置が求められている、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築及や重層的支援体制の構築等の新たな課題に対応するため、センター職員の定着や専門性の向上に継続して努める。
障がいのある人の福祉サービス利用支援 社会福祉課	サービス利用者に対する計画相談実績(目標達成) ・障害者総合支援法分:100% ・児童福祉法分:100%	・サービス新規利用者に対しては、サービスの利用手順を説明するとともに、計画作成後のサービス利用を徹底する。 ・計画相談員が諏訪圏域全体で不足する中、支給更新期間の分散化など、計画作成が効率的に進む体制を整備する。
障がい者の地域生活支援 社会福祉課	地域特性や利用者の状況に応じた多様なサービスを提供している。	諏訪地域障がい福祉自立支援協議会との協働により、障がいの特性や生活の状況に応じた支援の在り方について検討を進める。
災害時に備えた地域での支援体制づくり 社会福祉課	民生委員・児童委員の協力をいただき、要援護者登録台帳の更新を実施。災害時要援護者リストを作成して区長及び関係機関に配布 ・登録者:高齢者ひとり暮らし、障がい者等1,529名	社会福祉協議会とも協働し、リストを活用した「地域支え合いマップ」の作成等、各地区の実情に応じた災害時に備えた体制づくりを進める。
生活困窮者相談窓口を設置 社会福祉課	令和3年4月より諏訪市社会福祉協議会へ業務委託し、専任の相談員を配置するなど、体制の充実・強化を図った。また、事務室を引続き市役所庁舎内におくことで、関係各所と継続的な連携体制の維持を図り、生活困窮者からの相談を一元的に受け付け、自立に向け寄り添い支援を行った。	発達障害、ひきこもりなど、専門分野の支援が必要な相談が増えてきており、相談員の資質向上が課題となっている。今後は生活保護のほか、各種制度の共通理解のための研修や情報交換を随時行い、確実に必要な制度が適切に受けられる体制づくりを進める。
生活困窮家庭の食料確保 社会福祉課	生活に困窮している家庭への支援及び食品ロスの削減の観点から、「おいでなしてフードドライブ諏訪」を平成28年度より実施し、生活困窮家庭や福祉団体へ提供している。令和3年度は2回(6月・12月)開催。	趣旨に賛同し協力していただける人が固定化しており、更に広く周知する必要がある。

2 みんなで支えあう「暮らし」

(1) 市民参加のまちづくり推進、コミュニティの活性化

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
区・自治会の加入率	目標値				93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%
	実績値			92.6%	89.6%	87.2%	87.8%	86.8%	83.9%
	達成度				概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	区・自治会加入率の達成度は概ね順調であるが、実測値は毎年微減となっている。							
【備考】 計画当初の目標値を維持	今後の取組	加入促進チラシ配付や加入促進マニュアルの配付など、引き続き区・自治会加入促進の取組を継続していく。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
外部評価制度の導入	目標値		検討	導入(試行)	導入(実施)	実施	実施	実施	実施
	実績値	-	検討	導入(試行)	導入(実施)	実施	実施	実施	実施
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により行政評価確定前に外部評価委員会を実施できなかったが、令和3年度は5月に実施し、行政評価へ反映することができた。							
【備考】 事務事業評価導入した外部評価制度を運用実施する	今後の取組	外部の意見を取り入れることは重要であるが、評価対象に選定された事業担当課の負担が大きいため、第六次諏訪市総合計画の評価を開始する令和5年度からは、簡素化を念頭に制度設計を行う。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
すわまちくらぶ来館者数	目標値		2,800人	2,800人	3,600人	3,600人	3,600人	3,600人	
	実績値	1,871人	3,375人	3,370人	3,045人	2,668人	3,107人	122人	
	達成度		順調	順調	概ね順調	努力が必要	概ね順調	努力が必要	
	感染症の影響								
	達成状況の分析	令和2年度事業終了							
【備考】 H29年度以降上方修正した目標値を維持	今後の取組	令和2年度事業終了							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
出前講座回数	目標値		50回/年度	50回/年度	50回/年度	50回/年度	50回/年度	50回/年度	50回/年度
	実績値	47回	47回	40回	62回	59回	56回	28回	19回
	達成度		概ね順調	概ね順調	順調	順調	順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染拡大により、地域や団体等の会合が控えられたことにより開催回数が減少した。							
	達成状況の分析	感染症の影響により開催回数が減少した。防災関係、生涯学習関係の講座のニーズが高い。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	今後の取組	アンケート結果や実績に基づいて講座内容の見直しを行い、ニーズに応じた講座を開催するとともに、広報紙等で周知し活用促進を図る。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
区・自治会の支援 地域戦略・男女共同参画課	・令和3年度区長会議は、 <u>新型コロナウイルス感染症の影響により中止。</u> ・平成29年度に新設した「がんばる地域支援金」により、区・自治会の主体的な課題解決の取組に対する支援を実施。【実績】交付件数3地区	協働によるまちづくりを進めていくには、区と行政の対話を引き続き継続していく必要があるとともに、人口減少・少子高齢化の進展により、区政運営や地域活動への課題が特に顕著に見られる地区については、先の将来を見据えた持続可能な地域のあり方を、区・自治会と行政が共に考えていく場を検討する。
まちづくり団体への活動支援 地域戦略・男女共同参画課	平成29年度に新設した「SUWAを磨くまちづくり支援金」により、市民が主体となって行う地域活性化の取組に対する支援を実施。【実績】交付件数2団体	市民が主体となって行う地域活性化の取組への支援に対する市民からのニーズがあり、将来のまちづくりを担う人材の育成を推進する観点からも、「SUWAを磨くまちづくり支援金」については、引き続き継続実施する。
行政への関心を高めるための出前講座の開催 秘書広報課	出前講座「よりあい塾」の活用により、市の仕事を身近に感じてもらうことで、市民と一緒に快適で暮らしやすいまちづくりを進める。 【実績】 講座数:47講座、利用件数:19件、参加者(延べ):1,085人、派遣課所:8課 <u>感染症の影響により、開催回数が減少。感染症対策として、職員がオンラインで参加した講座は1件。</u>	市民ニーズに応じた講座が開催できるよう、定期的に講座の見直しを行う。 出前講座は、職員が地域に直接出向いて、市民のニーズに合わせた講座が実施できる利点があるが、 <u>感染症の影響で、大人数が一堂に会して開催する機会が減少し、利用件数も減少した。オンラインや動画配信を活用した講座など感染症が長引く中でも可能な手段を検討する。</u>

3 快適・便利な「暮らし」

(1)賑わいのあるまちの形成

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
駅前交流テラスすわっ チャオ利用者数 (年間)	目標値						100,000人	150,000人	200,000人
	実績値						237,439人	114,874人	126,070人
	達成度						順調	努力が必要	努力が必要
【備考】 施設利用状況の指標とな る利用者数をKPIとする	感染症の 影響	感染症拡大防止策(臨時休館、自主事業の中止または延期、スタジオ使用停止、貸施設定員数の1/2制限、食事の制限など)の実施により、施設利用者数への影響があった。							
	達成状況 の分析	9月の臨時休館、営業時間短縮をはじめ、利用人数制限など、前年度に引き続き、レベルに応じた感染拡大防止策を実施したが、前年度より利用者数が増加するとともに、貸施設の実績も増加となり、前年度と比較して1割増となった。							
	今後の 取組	コロナ禍においても、十分な感染対策を講じつつ、自主事業の継続的な実施、オンライン配信の活用、カフェスペースの再開などにより、活動や交流の拠点として、また市民がくつろげる場所としての施設運営に努める。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
諏訪湖イベントひろば 利活用検討事業 企画政策課	専門委員会(2回開催)において検討を重ね、導入していく機能、現建屋の取り扱い、事業スキームなどの方向性を定め、並行してパブリックコメントを実施し、諏訪湖イベントひろば基本計画を策定した。	令和4年度以降は、「諏訪湖イベントひろば整備事業」として、基本計画に沿って着実に進めて行く。
諏訪市駅前公共スペース運営検討委員会の開催 駅前交流テラスすわっチャオ	子育て世代や地元商店街、高校関係など様々な分野から全9名の委員により「諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ運営協議会」を開催した。 <u>まん延防止期間と重なった1回は書面開催とした。</u> 【実績】令和3年度: 2回開催	令和3年度の運営協議会では、事業実績などの報告事項が中心となったが、引き続き、取り組むべき施策や事業について、委員と意見交換を実施することにより、施設の管理及び運営に反映させていく。
コンビニ証明書交付サービスの提供 市民課	窓口での交付数が減少してきているなかで、コンビニでの交付数は、着実に増加してきている。コンビニでの交付数は窓口での交付総数との対比で12%を超えた。	コンビニ交付にはマイナンバーカード取得が必須のため、カード普及に努め、更なるコンビニ交付の利用促進に繋げていく。 <u>また、非対面で証明書が交付できることから、人から人への感染リスクの減少も期待され、新型コロナウイルス感染症対策としても有効的なものである。</u>
商店街イベントへの支援【再掲】 商工課	商店街等が顧客獲得のために実施するセールなどのイベント事業に対して補助し、市内商店街の振興を図った。	商店街を維持していくため、イベントは集客という目に見える効果はあるが、商店街の独自財源での開催は難しく、継続した市の補助が必要である。 <u>コロナ対策を取りながら新規要素を取り入れたイベント開催となるよう助言をする。</u>

3 快適・便利な「暮らし」

(2) 地域公共交通網が確保された利便性の高い交通環境整備

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
かりんちゃんバスの1 便当たり利用者数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便
	実績値	7.1人/便	6.6人/便	6.5人/便	6.6人/便	6.9人/便	7.0人/便	5.5人/便	5.7人/便
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染対策として外出自粛規制が行われた影響によりかりんちゃんバス利用者数は減少した。							
	達成状況の分析	令和3年4月1日に霧ヶ峰線と西山線を統合し再構築した東西線を運行開始。また、利用促進事業を展開することにより、1便あたりの利用者数増につながっている。							
	今後の取組	新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、安心安全なバス運行を意識した環境を整備するため、地域公共交通計画を策定し、より利用しやすい公共交通の運行を目指す。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
二次交通を考慮した 路線及びダイヤの改正 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		-	検討	構築	構築	構築	構築	構築
	実績値	-	-	検討	構築	構築	構築	構築	構築
	達成度		実績値なし	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染対策として越県の外出自粛規制が行われた影響により、観光客数は減少した。							
	達成状況の分析	平成29年10月1日のダイヤ路線改正実施後、平成30年10月1日に軽微な改正を行い、利用促進事業を展開することにより、1便あたりの利用者数増につながっている。							
	今後の取組	新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、安心安全なバス運行を意識した環境を整備するため、地域公共交通計画を策定し、より利用しやすい公共交通の運行を目指す。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
かりんちゃんバスなど 市内バスの運行支援 地域戦略・男女共同参画課	かりんちゃんバス1便当たり利用者数は、 <u>新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の発出により減少した。</u> 5.7人/便	地域公共交通ネットワークを検証し、新たに地域公共交通計画を策定し、利便性の高い交通体系を構築していく。
有賀峠デマンド交通の 運行 地域戦略・男女共同参画課	平成28年10月から有賀峠デマンド交通の運行を開始。 (利用実績)4人	地域住民や区長、民生委員の意見を聞き、ダイヤ及び路線をリニューアルした。より利用が増えるような有賀峠デマンド交通を模索していく。
2市1町によるスワンバスの 共同運行 地域戦略・男女共同参画課	諏訪湖周2市1町が運行しているスワンバスは、地域住民の通勤、通学、通院及び買い物など日常生活を支える重要な交通手段のひとつとして活用されている。	2市1町で運行している公共交通を含めた利用促進事業を引き続き検討し、併せて観光客の移動手段として活用できるよう周知して行く。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
スマートインターチェンジの設置促進 建設課	市道33225号線(上り線SAアプローチ道路)・市道33112号線の道路築造工事の推進。 【実績】 ・道路築造工事及び工事に伴う用地取得 R3.5.18起工式(4事業者主催) R3.8.3有賀区対策委員会 R4.3.7有賀区対策委員会 R4.3.17地区協議会(書面決議)	観光及び地域経済の活性化、地域交通の利便性向上のため諏訪湖SAにスマートIC設置に向けて国の支援を受けながら、長野県・NEXCO・岡谷市・諏訪市共同で今後も事業を推進する。
国道20号諏訪バイパスの早期事業化 国道バイパス推進室	「都市計画の変更」と「環境影響評価」の手続きが国・県により進められる中で、各地区期成同盟会などから寄せられた声を国や県に伝えとともに、市長意見にまとめ県へ提出した。また、機運醸成と地域との合意形成を図るため、広報チラシを全戸配布するとともに、バイパス展やオープンハウスなど実施した。	「都市計画の変更」と「環境影響評価」の手続きが国・県により進められており最終段階に入った。住民や各種団体などからは、早期事業化や心配の声などが寄せられている。整備目的や効果、環境保全方法について更に理解を深めていただくとともに、合意形成と機運醸成を図るため、継続して広報チラシの発行やバイパス展・オープンハウスなどを開催し情報発信を行っていく。事業が円滑に進むよう創意工夫を図りながら、事業化に向けて取り組んでいく。
都市計画道路の見直し 都市計画課	実績なし	社会情勢の変化に対応した、効率的かつ効果的な道路整備を推進するため、適時適切な都市計画道路の見直しを実施していく。
道路舗装新設や修繕の実施 建設課	・市道の新設舗装及び舗装修繕、側溝や縁石など修繕工事を実施。 【実績】舗装修繕工事 14路線	舗装長寿命化修繕計画に基づき継続的に交付金・地方債を活用し整備を実施する。また、地区要望箇所については、損傷度や緊急性・優先性を考慮し地元協議が整った所から整備を実施していく。
道路拡幅や歩道改良の実施 建設課	・交付金を活用した幹線道路の拡幅、交差点、歩道整備を実施。また、地区要望による道路改良工事を実施。 【実績】道路改良工事 28路線	継続的に交付金・地方債を活用し整備を実施する。また、地区要望箇所については、損傷度や緊急性・優先性を考慮し地元協議が整った所から整備を実施していく。
交通安全施設の設置等交通安全対策の推進 建設課	・地区からの交通安全対策要望に対する対策の実施、通学路点検の危険箇所における安全対策を実施した。 ・季別交通安全運動の推進、保育園・小学校等での交通安全教室の推進	地区からの要望や通学路点検での危険箇所について、交付金等を活用できるものは活用し、地元区等関係機関と協議のうえ、効果的な交通安全対策を実施する。

3 快適・便利な「暮らし」

(3) 快適な生活環境の維持保全

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
諏訪湖・霧ヶ峰の環境 保全活動へのボラン ティア参加者数	目標値		629人	647人	664人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
	実績値	611人	762人	909人	1,155人	1,161人	963人	674人	337人
	達成度		順調	順調	順調	順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の 影響	秋の一斉清掃及び浮遊ごみ除去(トヨタソーシャルフェス)以外の活動については、規模縮小となったことにより大幅にボランティア参加者は減少した。							
	達成状況 の分析	秋は感染状況が落ち着いていたため、計画していたとおりにボランティアも参加する活動を行うことができた。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基 本計画との整合を図り設 定	今後の 取組	感染状況を見つつではあるが、中止の選択肢はなるべく考えないようにし、少数でもボラン ティアとともに活動を行っていく。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
再生可能エネルギー 等導入設置補助制度 等による太陽光最大 発電能力累計	目標値		4,969kW	5,244kW	5,518kW	5,793kW	6,490kW	6,495kW	6,500kW
	実績値	4,694kW	5,211kW	5,677kW	6,076kW	6,485kW	6,907kW	6,907kW	6,924kW
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の 影響								
	達成状況 の分析	補助制度については令和元年度で終了している。増加分はガイドラインに基づく個人設置分 (全量売電)となる。令和元年度時点で目標は達成している状況である。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基 本計画との整合を図り設 定	今後の 取組	家庭用太陽光発電設備設置に対する補助は、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の目 標値を達成し、一定の成果を上げたことから令和元年度で終了している。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
再生可能エネルギー システム等導入設置 補助制度による補助 件数累計(太陽光を除 く)	目標値		4件	6件	8件	10件	12件	14件	16件
	実績値	2件	4件	5件	9件	9件	9件	9件	9件
	達成度		順調	概ね順調	順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要
	感染症の 影響								
	達成状況 の分析	広報すわ、市ホームページ、市庁舎ロビー展示等で補助制度や地球温暖化対策における再生 可能エネルギー利用のメリット等を周知しているが、認知度の低さやシステム導入費用が 高額であることもあり、設置が伸び悩んでいると思われる。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基 本計画との整合を図り設 定	今後の 取組	補助内容の見直しをし、令和4年度から「地球温暖化対策補助金」をスタートした。地中熱及び 蓄電池導入に対する補助。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
都市公園等の適切な整備や維持管理 都市計画課	市内31都市公園及び緑地・緑道等の維持管理・修繕・整備工事を実施した。 【実績】公園管理委託44件、公園施設修繕16件、公園整備工事12件、諏訪湖Aゾーン維持管理 漂着物除去254台/2tD、樹木剪定4件	公園施設長寿命化計画に遅れが発生していたが、令和3年度国補正に対応して事業着手をした。(4か年事業) また、コロナ感染症に起因して公園需要は増加し更にニューノーマルへの対応が求められている。 これらにより公園事業は大幅な増加が引き続き見込まれる。
諏訪湖の環境保全活動 環境課	ヒシ除去作業については、一般ボランティアは募集せずに実施した。 浮遊ごみ除去作業については、例年の作業は強風で中止となったが、11/6に「トヨタソーシャルフェス」として学習会も含めて実施した。 【令和3年度参加者実績】ヒシ除去18人、浮遊ごみ除去77人	ヒシ除去作業も浮遊ごみ除去作業も、現状を知ってもらうという学習の意味合いもあるので、新型コロナの状況を見つつではあるが、大勢の一般ボランティアに参加してもらうことに意義があると考えます。
霧ヶ峰の環境保全活動 環境課	春と秋の草原再生作業はともに関係者のみで実施した。特定外来生物除去作業も同様。 【令和3年度参加者実績】草原再生作業延べ33人、特定外来生物(オオハングソンウ)除去作業延べ68人	霧ヶ峰の環境保全活動は、地道に継続していくことが重要である。草原再生作業については、引き続き春と秋の2回実施し、特定外来生物(オオハングソンウ)除去については、霧ヶ峰自然環境保全協議会との共催で、継続して実施していく。
再生可能エネルギーの活用 環境課	再生可能エネルギー普及に向けた講演会を2回予定していたが、2回とも中止とした。 再生可能エネルギーについてのパネル展示を、市役所ロビーで1回実施した。(1回中止)	講演会等のイベントは毎年実施していくが、イベント内容については講演会にこだわらず、親子で参加できる工作教室等も取り入れる。また、講演会は新型コロナの状況によってオンラインも取り入れていく。 パネル展示も毎年実施する。
再生可能エネルギー等導入設置補助等の実施 環境課	再生可能エネルギー等導入設備設置(太陽熱、地中熱等)に対して補助を実施したが、実績は0件だった。 補助内容の見直しを実施した。	令和4年度から「地球温暖化対策補助金」として、地中熱はそのままだ、太陽熱、再生可能エネルギー(国、県補助受けたもの)は廃止し、蓄電池に対する補助を新設した。 補助内容の見直しは毎年行っていく必要がある。
温泉熱エネルギーの活用 営業課 施設課	実証実験において、不具合や改良等が必要になった為、令和5年12月まで実験の延長を行った。	令和5年12月まで実証実験延長を行い、実証試験の結果を基に、配湯事業への影響・費用対効果等を慎重に検討をし、本格導入可否の判断を行う。

3 快適・便利な「暮らし」

達成度の目安

○順調:目標値以上

○概ね順調:80%以上100%未満

○努力が必要:80%未満

○実績値なし:当該年度の実績値なし

(4) 公共施設やインフラなどの既存ストックの計画的な維持管理

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
市公共施設の総延床面積	目標値		－	228,989㎡	224,250㎡	222,300㎡	220,400㎡	217,026㎡	215,891㎡
	実績値	約230,000㎡	－	226,499㎡	225,471㎡	218,870㎡	217,703㎡	217,372㎡	216,645㎡
	達成度		実績値なし	順調	概ね順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	令和3年度は市営住宅の解体などにより対前年度比△0.3%の延床面積の削減を進めた。							
	今後の取組	公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、平成29年度から延床面積10%の削減を目標数値として、計画的に取り組む。							
KPI	項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
個別施設計画の策定率	目標値				40.0%	60.0%	80.0%	100.0%	100.0%
	実績値			19.0%	7.0%	7.0%	7.0%	100%	100%
	達成度				努力が必要	努力が必要	努力が必要	順調	順調
	感染症の影響								
	達成状況の分析	令和3年3月に個別施設計画を策定、公表済。							
	今後の取組	毎年度、予防保全計画の見直しなどを重ねることにより適切な維持管理を推進し、次世代に大きな負担を残さない、安全かつ利便性の高い公共サービスの提供と持続可能なまちづくりを目指す。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)		課題と対応(令和4年度以降)	
	※感染症の影響については下線部		※感染症に起因する課題等については下線部	
公共施設等総合管理計画(計画期間:平成29～令和8年度)を策定・推進 企画政策課	計画策定時より、延床面積は13,414㎡削減し、全体の-5.8%となった。 また、毎年更新している施設カルテと個別施設計画の公表を行った。		計画推進において、利用者、地元区等からの同意や理解を得ることが重要である。廃止・集約化と位置付けた施設の代替について検討する必要がある。	
安心・安全で低廉な飲料水の安定供給、配水施設の更新と強靱化 営業課 施設課	諏訪市水道事業ビジョンに基づき、南沢水源、新井浄水場機械設備の更新等を実施。また、優先順位の高い送・配水管の布設替工事を実施。		・引き続きビジョンに基づき計画的な更新を行っていく。 ・施設の統廃合・基幹管路の更新を進めていく上で、計画から設計積算、現場監督まで行える人的資源の不足。 ・諏訪圏内でも広域化が検討されており、長期的な視点をもった整備が必要。	

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
温泉の安定供給、配湯施設の更新と強靱化 営業課 施設課	諏訪市温泉事業経営戦略に基づき、各湯湯(あやめ源湯)・配湯(七ツ釜・南部・湯の脇)・中継(西方・尾玉1)施設及び監視盤の設備改良・更新を実施。また、送・配湯管の布設替工事を実施。	温泉施設全体の需要度・優先度や、給湯契約者の状況等も考慮しながら、中長期的に更新需要見通しと財政支出見通しについて検討する。また、職員の育成強化が必要である。
下水道未普及地区の解消、下水道施設の維持・強靱化 営業課 施設課	・未普及地区解消に関しては、管きょ延長約280m(約1.8haの整備面積)を実施したが、人口減もあり普及率は99.5%と横ばいであった。 ・施設の維持においては、下水道ストックマネジメント計画に基づき、交付金を活用しながら約93kmの下水道施設を点検を実施した。	・未普及地区での要望や関心度が高く、また終末処理場での高度処理は公共用水域の水質向上に寄与する一方で、地形的制約等もあることから費用対効果を検証しつつ、総合的な検討をしながら場合によっては事業計画を見直すことも視野に入れる。 ・統合型GISと連動した施設データベース構築とその模索
空家対策の推進 都市計画課	・統合型GISによる空家情報の把握、適正管理に係る指導を継続した。 ・空き家パンフレット「あなたの空き家大丈夫ですか？」を作成、配布した。 ・空家等対策協議会を開催し、課題等を整理した。 ・空家跡地活用支援事業補助金は9件の実績があった。	・所有者等に向けた啓発及び効率的な空家情報の把握 ・関連部署との連携 ・適正管理が必要な空家に対する指導 ・利活用に関する支援策の検討

4 活きいき、元気な「くらし」

(1)健康づくりの推進による健康寿命延伸

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
すわっこランド入館者数	目標値		308,790人	309,093人	309,395人	309,698人	310,000人	310,000人	310,000人
	実績値	308,488人	306,263人	302,102人	282,304人	272,814人	274,772人	150,457人	193,828人
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	令和2年度に引き続きコロナ禍での感染症対策を講じながら運営となり、自主事業等の積極的な誘客活動はできない状況であったため、コロナ禍以前より来場者数は大幅に減少している。							
	達成状況の分析	大型連休や夏休み期間中など、以前であれば集客が見込まれる期間に、新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが引き上げられ経済活動が制限される等の影響により、令和2年度より来場者数は増加したものの、コロナ禍以前よりは大幅な減少となった。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	今後の取組	指定管理者変更による影響がないよう、また新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、安心して利用できる施設運営に努め、利用者の健康増進を図る。							
	目標値		60.00%	60.00%	60.00%	60.00%	60.00%	60.00%	60.00%
	実績値	52.30%	54.60%	54.30%	54.40%	54.50%	54.90%	50.30%	47.4% (暫定値)
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、健診期間を2ヶ月延長した4ヶ月間で実施。また、受診勧奨についても同様に差し控えた。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度より健診期間を延長しているが、コロナ禍以前より受診率は大幅に減少している。							
	今後の取組	特定健診については医療機関による個人健診が主であることから、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、広報や受診勧奨の方法等を検討し、周知を図っていく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
特定健康診査事業 健康推進課	特定健診については医師会の協力を得て個別健診を主体としており、令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響により受診率は低下しているが、県下においては高い受診率を維持している。	1人でも多くの方が生活習慣病予防をし、健康に目を向けてもらうため、引き続き受診率60%を目指す。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、健診期間・受診勧奨等の方法については医師会との調整が必要。
施設整備事業 健康推進課	すわっこランドについて、経年劣化への対応として、屋内25mプール空調熱交換器更新工事、3方弁他取替工事等を実施。また、防犯カメラシステム故障のため新規に購入をした。	すわっこランドは開館から17年が経過し、経年劣化に伴う施設の不具合箇所が増えている。指定管理者と協議しながら、利用者の安全を第一とし、施設整備を計画的に対応していく。
がん検診事業 健康推進課	胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん検診を実施。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により受診率が低下したが、令和3年度においては、コロナ感染症発生前と同率程度に戻った。	がん検診については、検診受診率とともに、検診受診後の要精密検査対象者の精密検査受診も重要であるため、再受診勧奨の取組を推進していく。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
予防接種事業 健康推進課	定期予防接種については、医師会、学校の協力を得て高い接種率を維持しているが、日本脳炎予防接種のみ全国的なワクチンの供給不足の影響により、接種率が大幅に低下した。 <u>なお、新型コロナウイルスワクチンの臨時予防接種も継続実施した。</u>	感染症のまん延、重症化を防ぐ観点からも引き続き接種率100%を目指し、医師会、学校などの協力を仰ぎながら事業を推進していく。 <u>また、引き続き新型コロナウイルスワクチンの臨時予防接種も実施する。</u>
健康づくりプロジェクト事業 健康推進課	令和2年度より国保特会の事業として、スポーツ課との共催で実施。運動習慣を継続するとともに生活習慣病の予防、介護予防を目指した。 <u>コロナ禍のため規模を縮小し、12名(延49名)参加。</u>	<u>体力の維持増進が病気への抵抗力、生活習慣病・介護予防にも大切であり、コロナ禍であっても継続して行うことが必要である。</u> 松本大学と提携した教室を再開し、活動量計の利用などをしながら、参加者の運動習慣の定着、体力の維持増進をはかる。
保健補導員の育成 健康推進課	<u>コロナの感染状況が悪化が繰り返され、地区会、地区活動、連合会事業はほとんど行えなかったものの、50周年記念事業は行うことができた。</u> 総会2回、理事会2回実施。	コロナ禍と現在の社会情勢もあり、補導員が集合しての活動や、昼間の活動が難しい状況である。活動内容を見直し、個人の健康維持のための活動、健康教育等を取り入れた保健活動を行っていく。

4 活きいき、元気な「くらし」

(2) 持続可能な地域医療の実現

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
小児夜間急病センター 利用者数	目標値		3,000人	2,900人	2,800人	2,700人	2,600人	2,591人	2,591人
	実績値	3,153人	2,900人	2,839人	2,371人	2,244人	2,317人	651人	922人
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の 影響	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大による受診控えが推測され、利用者数は令和2年度よりは増加したものの、コロナ禍以前より大幅に減少している。							
	達成状況 の分析	診療所の診察が終わった後の小児の急病に対応するため、広域計画に基づく運営を行っている。利用者数の減少は、新型コロナウイルス感染拡大による受診控え、インフルエンザ患者減少が要因であると考えられる。							
【備考】 諏訪広域連合広域計画 に基づき設定	今後の 取組	市民の安全・安心のまちづくりのためには、利用者数が少なくても事業の必要性はあるため、継続して運営費の支援を行っていく。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
在宅当番医の利用者 数	目標値					2,500人	2,500人	2,500人	2,500人
	実績値				3,302人	2,502人	2,846人	953人	1,026人
	達成度					順調	順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の 影響	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大による受診控えが推測され、利用者数は令和2年度に引き続きコロナ禍以前より大幅に減少している。							
	達成状況 の分析	休日の急病に対応するため、諏訪市医師会の協力の下、事業を実施している。令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大幅に減少している。							
【備考】 設定当初の目標値を維持	今後の 取組	市民の安全・安心のまちづくりには必要な事業であり、一時医療機関の当番医制度の安定運営のためにも継続して維持していく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
小児夜間急病センター 運営事業 健康推進課	諏訪市・岡谷市・諏訪郡医師会をもって構成する「諏訪地区小児夜間急病センター運営医師会」により諏訪地区小児急病センターは運営されている。 <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年以降利用者が大幅に減少している。</u>	病院小児科医師の過重労働や本来の二次救急業務への支障を避ける目的のため、小児救急医療の一次救急を担う「 <u>諏訪地区小児夜間急病センター</u> 」が設置されたが、設置当時と比べ小児科を取り巻く環境は大きく変わってきており、令和4年度以降の2年間で運営の方向性が検討される。
医療介護アドバイザー 事業 高齢者福祉課	地域包括ケアシステムの構築に向けた事業推進に係るアドバイスを受けるために委嘱。コロナ禍のためオンラインで適時、必要な相談を行い、先進地の事例紹介等を含め効果的な指導を頂いている。	地域包括ケアシステム構築への取組みが進んでいるなかで、アドバイザーによる指導効果に対して報酬が割高。全体的な費用対効果を検証し、事業見直しを検討する。
在宅医療連携ネットワーク推進事業 健康推進課	補助制度は令和元年度で終了した。	補助は令和元年度で終了したが、システム導入後の状況を注視しながら、今後の支援については引き続き検討していく必要がある。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
諏訪赤十字病院移転 新築事業補助金 健康推進課	令和3年度末累計償還額 3,240,785,978円	救急医療を含めた高度医療を提供する病院の体制を維持させていくためにも、長期にわたる財政支援を継続させる。
諏訪赤十字病院高度 医療支援事業 健康推進課	補助制度は令和元年度で終了した。	補助制度は令和元年度で終了したが、諏訪市民が必要に応じた適切な救急医療を受けられるためにも、今後も財政支援について引き続き検討する必要がある。
在宅当番医制運営事業 健康推進課	在宅当番医制実施日数(日・祝日) 76日	休日等における一次受診の当番医制度の安定運営は今後においても継続して維持していく必要がある。
地域包括ケアシステム を支える多職種協働 の推進 高齢者福祉課	・多職種協働セミナーはコロナ禍によりWeb開催し、「人生会議」について専門職への啓発を図った。 ・地域支え合い協働セミナーもWeb開催を検討したが、 <u>地域参加者とオンラインで実施することが困難なため中止。</u>	・医療職だけでなく多職種や地域住民が顔を合わせて、地域の課題を理解し話し合うことは相互理解につながり、連携した取り組みや活動への発展につなげるため、今後も継続してセミナー実施の必要がある。

4 活きいき、元気な「くらし」

(3) 住み慣れた地域で暮らし続けるための
介護予防、介護サービスの推進

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
認知症サポーターの 延べ養成数	目標値		1,800人	2,200人	2,500人	2,800人	3,100人	3,400人	3,700人
	実績値	1,439人	1,867人	2,155人	2,466人	3,077人	3,335人	3,907人	3,993人
	達成度		順調	努力が必要	概ね順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の 影響	・新型コロナウイルスまん延防止等重点措置期間中、サポーター養成講座を1回中止。 ・地域グループからの講座開催依頼件数が減少。							
	達成状況 の分析	・コロナ禍の影響により地域住民グループからの講座依頼は減少したが、学校や事業所、地区民生委員等の団体等を対象に年6回のサポーター養成講座を開催し、86人が講座を受講。 ・実際に地域で高齢者との関わりのある方にとって実践的で役立つ講座を実施できた。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	今後の 取組	・各団体からの講座開催の要請に応じるのみでなく、事務局主催で小中学校の児童・生徒を対象とした認知症サポーター養成講座を企画。また、一般市民向けには定期的に講座開催を企画していく。地域での支援の輪を広げるため継続的なサポーターの養成が必須。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
要介護認定率	目標値		17.23%	17.86%	18.49%	19.12%	19.75%	18.40%	18.80%
	実績値	16.60%	16.78%	17.11%	16.94%	17.03%	17.40%	17.30%	17.53%
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調	順調
	感染症の 影響	感染拡大防止のため、要介護・要支援認定の更新認定希望者に対し、要件に該当する場合認定有効期間の延長を実施した。							
	達成状況 の分析	後期高齢者の認定者数は増加しているが、全体ではほぼ横ばいに抑えられている。介護予防事業等の取組みにより、増加の傾向が緩やかとなっている。							
【備考】 諏訪広域連合第7期介護保険事業計画に基づき設定	今後の 取組	認定率の高い後期高齢者の増加により認定者数は増加することが予想されるが、介護予防事業や認知症予防の取組みにより認定率の抑制に努める。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
高齢者のいきがいに つながる事業の推進 高齢者福祉課	・敬老祝金・祝品支給事業 88歳(330人)、99歳(32人)に祝金、99歳(32人)100歳(24人)、男女最高齢(2人)に祝品を支給。 <u>・お年寄りの集いはコロナ禍により中止。</u> ・老人クラブ連合会及び単位老人クラブ、シルバー人材センターへの運営支援。	・ <u>お年寄りの集いは、コロナ禍での自粛生活を強いられている高齢者にとって、外出の機会を増やし、心身の健康を維持・回復する機会として重要。</u> ・老人クラブ連合会及び単位老人クラブについては、団体の活性化に向けて相互に協議。
高齢者の自立・生活支援のためのサービス提供 高齢者福祉課	・高齢者タクシー利用料金助成制度を146人が活用。 ・緊急通報システム利用制度を54人が活用。 ・家庭介護者慰労金を98人に支給。	・高齢者の「足」の確保については、公共交通機関や地域における支え合い活動を含め、関係課所で連携した検討が必要。 ・家庭介護者慰労金については、今後の方向性を検討。
介護予防の推進 高齢者福祉課	・年間を通して開催している各種介護予防教室は、 <u>新型コロナウイルス感染警戒レベルの上昇により一時期中止。</u> ・コロナ禍の影響により、高齢者が集まる従来の教室に替えて、自宅で3ヶ月フレイル予防に取り組む「うちトレ元気アップ講座」を開催。	・ <u>コロナ感染による短期的なリスクよりも、コロナ禍での自粛生活に伴う、フレイルの進行を長期的に大きなリスクと考え、高齢者の介護予防教室は感染予防対策を徹底し極力開催する。</u> ・各種教室は、全般に参加者の固定化がみられる。特に前期高齢者や男性への働きかけが課題。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
任意事業 高齢者福祉課	・家族介護支援事業を社協へ委託し、介護教室や在宅介護者リフレッシュ事業を9回開催。 ・配食サービスは、実利用者130人に対して24,062食を配食 ・家族介護用品購入援助を実施し、実利用者11人に対して31回の援助を実施。	・家庭介護支援事業は、家族の介護技能向上と心のリフレッシュを行い、継続的在宅介護を支える事業として重要 ・配食サービスは、バランスの良い食事により低栄養化防止に対して効果的。 ・家庭介護用品購入援助は国の次期介護事業計画では任意事業対象外となる予定。市費での継続実施を要検討
地域支え合いの推進 高齢者福祉課	・中洲とちの木ひろば、西山の里なかよし広場に冷暖房設備を設置し、利用者の安全性・利便性の向上を図った。 ・地域での通いの場として、住民活動グループへの運営支援を実施。29団体40事業へ支援。	・地域における高齢者の通いの場や活動拠点を一層充実させることで、ひきこもりやフレイルを予防し、お互いに見守り支え合い、助け合う住民意識の醸成と体制の構築が必要。
包括的支援事業 高齢者福祉課	・総合相談支援事業として、市内4ヶ所の在宅介護支援センターに地域高齢者の実態把握調査と相談支援等業務を委託。 ・在宅医療・介護連携推進業務等の4事業を市医師会のライフドアすわに委託。専門的知識を活用し効果的に施策を推進。	・独居高齢者または高齢者のみ世帯の増加により、地域高齢者の実態把握と早期の支援提供が重要となっている。 ・「ライフドアすわ」と連携・協働し、地域包括ケアシステムの推進の向けて、医療・介護等の専門的立場からの助言を受け事業を進める。
認知症施策の推進 高齢者福祉課	・認知症初期集中支援チームの活動。(チーム員会議12回開催、支援検討数45件) ・認知症予防教室を18回開催し160人参加。 ・認知症予防啓発講演会を1回開催し85人参加。	・認知症初期集中支援チームによる、適時、適切な支援の提供により、認知症になっても地域で暮らし続けることができる体制を維持・継続していく必要がある。 ・市民に広く認知症を理解してもらい、地域での支援の輪を広げるために認知症サポーターの養成が必須。
在宅医療・介護連携の推進 高齢者福祉課	・医療や介護の専門職及び住民を対象とした研修会の開催。住民を対象とした出前講座の新規実施。 ・認知症地域支援推進員を4名配置 ・生活支援コーディネーターを1名配置し、生活支援情報リーフレットを作成。	・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の視点から、最後まで安心して暮らし続けられる地域支援、在宅医療の構築を図る。 ・地域住民への出前講座を実施し、認知症に関する正しい理解の普及・啓発を図り、認知症の人を地域で支える体制の構築を図る。

5 学べる、感じる「くらし」

(1) 子どもから大人まで、生涯学べる環境整備

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
生涯学習課主催の講座延べ参加者数	目標値		14,563人	14,672人	14,782人	14,891人	15,000人	16,000人	17,000人
	実績値	14,454人	17,010人	17,199人	15,259人	14,943人	14,588人	2,747人	6,214人
	達成度		順調	順調	順調	順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講座を中止した期間もあったが、感染対策を行いながら可能な範囲で、募集定員や回数を減らして開催した。							
	達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染対策を行いながら実施したため十分な成果を得られなかった。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	今後の取組	・コロナ禍における講座開催の方法についてさらに研究・検討していく。 ・地域課題解決につながる講座を取り入れ、受講者が地域で主体的に活動するための取り組みを研究する。							
	目標値		2,194人	2,271人	2,347人	2,424人	2,500人	3,385人	3,385人
	実績値	2,118人	2,096人	3,176人	3,482人	3,497人	3,901人	1,981人	2,351人
	達成度		概ね順調	順調	順調	順調	順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	新型コロナ感染症の影響により、教室の実施方法を例年に対して見直したことで、8月から9月、1月から3月にかけてスポーツ課主催・共催の教室の実施を取り止めることとなったため、令和2年度に引き続いて教室延べ参加数は少なかった。							
【備考】 過去5年間の平均値から目標を設定	達成状況の分析	教室取り止め期間が短かったことで、令和2年度よりも約2割増の教室延べ参加数となったが、令和3年度においても目標値を大きく下回ることとなった。							
	今後の取組	より多くの市民が年齢や体力に応じたスポーツを楽しめるよう、子どもからお年寄りまでのライフステージにきめ細かく対応した教室を開催する。さらに、市民の運動機会増を目指すとともに、オンラインを活用するなどコロナ禍の沈静後の社会状況と住民ニーズに的確に対応した教室の開催を検討していく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
生涯学習講演会の開催 生涯学習課(生涯学習係)	【実績】なし ※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。	・関連する事業を精査し、必要に応じて事業化する ・コロナ禍であっても、開催できるよう感染対策を行い工夫をしながら講座を実施する。
通年講座の実施 生涯学習課(公民館)	【実績】令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大により延期又は中止、オンラインにより開催した。 「生きがい学級」全29回 延404人 「女性セミナー」全10回 延448人 「男のおもしろ倶楽部」全6回 延223人 「男のプレミアム倶楽部」全7回 延130人	・いずれも受付開始から間もなく定員に達し、参加者の期待度の高さが伺える。 ・前年度からの継続受講者が多い。継続的な学びの機会の提供をめざすとともに、更に内容の充実や周知方法等の工夫によって、一層の新規受講者増を図っていく。 ・コロナ禍により、感染対策を講じ、分散開催や内容の検討が今後も必要である。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
ふるさとや地域に着目した講座の実施 生涯学習課(公民館)	ふるさとの魅力を再発見する講座や地域課題講座の開催。 【実績】令和3年度 ・実践！ふるさとの自然を再発見講座 全3回 延37人 ・「歩く・見る・聞く・読む」諏訪を知る歴史講座 全4回 延385人 ・諏訪塾と歩く甲州道歴史散歩 全4回 延77人	地域のことを知りたいというニーズは一定程度あり、講義、実践ともに、積極的に参加する姿勢が見られた。今後も自らが住んでいる地域について学ぶ機会を創出するとともに、その学びを地域や家庭生活に生かすことができる取り組みが重要となる。併せて、参加者の主体性を引き出し、学びを講座だけで終わらせられないような仕掛けも必要である。
老朽化した生涯学習施設のあり方検討 生涯学習課(文化センター)	生涯学習施設の再編の要として考えている文化センターの大規模改修は、昨年度作成した改修検討資料を元に3課(企画政策課、財政課、生涯学習課)による検討を進めているが、改修時期の確定には至らずにいる。そのため、他の生涯学習施設の今後の展開も進まない為、各施設毎に維持に必要な修繕を最小限行うことで、施設維持をしている。<u>感染者の動向に応じ施設の制限等を行ってきたが、コロナ禍及びコロナ後の施設の利用についての検討も情報を共有しながら進めている。</u>	文化センターの大規模改修については、引き続き3課にて協議を進めるとともに、改修に向けたスケジュール、改修場所や内容などの検討を進める。老朽化した生涯学習施設の再編についても、文化センター改修の進捗状況に合わせ、スケジュールを調整しながら必要な改修が行えるよう計画の検討を行う。 <u>これまで、感染状況に応じた施設の利用制限を行い対策を行ってきたが、感染者の増減にとらわれない施設の運営についても検討を行う。</u>
市主催・市共催の教室の開催 スポーツ課	市主催・市共催の教室は、市民の参加状況やアンケート結果をもとにメニューの見直しを行ったほか、幼児から小学生の体力と運動能力向上のため運動教室を開催した。 <u>新型コロナウイルス感染症の影響による教室開催の中止や実施方法の見直しのため、教室参加者数が大きく減少したため、昨年度に続き目標としていた成果を上げることはできなかった。</u> 【実績】令和3年度参加者：市主催1,785人 市共催566人	生活習慣病のひとつの大きな要因とされている中高年の運動不足が現在課題となっているなどの理由から、多くの市民が運動習慣を身に付けられるような教室を開催し、市民ひとり1スポーツを目指す。 子どもの健全な心身の成長には、幼少期からの適切な運動習慣を身に付けることが必要とされていることから、発達段階にきめ細かく適切に対応した子ども向け教室をスポーツ関係者とも連携して実施する。 <u>新型コロナウイルス感染症に適切に対応した、感染を発生させない教室、講習会の開催を進めながら、オンラインを活用するなどコロナ禍の沈静後の社会状況と住民ニーズに的確に対応した教室の開催を検討していく。</u>

5 学べる、感じる「くらし」

(2) 諏訪市の自然や歴史文化に触れる機会の創出

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
博物館入場者数	目標値		17,121人	17,341人	17,560人	17,780人	18,000人	17,000人	17,000人
	実績値	16,901人	18,854人	22,931人	9,491人	12,000人	12,833人	8,380人	8,688人
	達成度		順調	順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	展示事業は実施できたものの、学びの機会を提供するためのフォーラム、講座、学習会など、予定していた自主事業の中止、延期が相次ぎ、入館者数にも影響した。							
	達成状況の分析	入館者は目標値をかなり下回る結果となったが、観光や修学旅行などで訪れる団体客は激減したのに比べ、御柱祭を前に個人客の入館やすわ大昔情報センターの利用は前年に比べ増えたことから、諏訪の歴史文化への関心の高まりが感じられた。							
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画及び資料整理休館等を勘案		今後の取組							
		諏訪の歴史文化の情報を発信し学びを提供する拠点として、コロナ禍にあっても、感染対策を行いながら、もしくはオンラインを活用して諏訪の歴史文化を未来に伝えていく場を創出する。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
美術館入場者数	目標値		8,835人	9,126人	9,418人	9,709人	10,000人	10,000人	10,000人
	実績値	8,544人	8,054人	9,251人	9,385人	8,670人	6,838人	2,831人	3,125人
	達成度		概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要
	感染症の影響	共催展の一つを中止とし、展覧会関連イベントの多くを延期、中止とした。9/3～12を臨時休館した。							
	達成状況の分析	開館日数は、9/27～10/30の燗蒸休館、2/14～3/18の資料整理休館、コロナによる臨時休館を加味して、前年度より25日多い。しかし感染症による外出自粛傾向の影響も大きく、1日あたりの入館者数の回復が見られなかった。							
【備考】 人口減少による影響を抑制して入場者数増加を目指す		今後の取組							
		作品の保存・活用のための研究と整理を重点的に集中して行うには、資料整理の期間が一定期間必要のため、今後も繁忙期を避けて資料整理休館を行いたい。その成果は、展覧会やワークショップ、SNS等で市民に情報共有し、また行きたくなる美術館を目指したい。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
芸術祭・文化祭・ダンス体験教室の開催 生涯学習課(生涯学習係)	【実績】 ・第57回文化祭については、書道展、菊花展、文芸作品展、書道パフォーマンス等を感染予防対策を行い実施した。 ・ <u>市民コーラス祭、市民芸能祭、ダンス体験教室については、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。</u>	・施設整備の状況に応じて、関連する事業を精査し、必要に応じて計画的に事業化していく ・ <u>コロナ禍であっても、感染予防対策を行い工夫をしながら市民の発表の場を確保していく</u> ・ <u>多くの市民に参加いただくイベント実施にあたっては、感染症の発生状況に応じて、中止も含め実施について慎重に判断し感染予防対策を行いながら実施する</u>
地域資源としての霧ヶ峰天然記念物の環境復元 生涯学習課(文化財係)	・踊場湿原内における外来植物駆除作業およびモニタリング調査の実施 【実績】 外来植物の減少および在来植物の増加を確認	・調査成果に基づいた駆除作業とモニタリングの継続 ・他の湿原内における外来植物侵入状況の把握 ・湿原内の雑木に関する処置の検討 ・保存活用計画策定の検討(計画策定には費用負担と職員体制の強化を要するためハードルが高い)

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
木道整備・自然保護パトロールの実施 生涯学習課(文化財係)	・天然記念物指定地保護のための木道整備 【実績】車山湿原木道改修・新設108.18m ・自然保護パトロール(規模縮小して実施) 【実績】見学者の指定地内への立入抑制とマナー向上	・木道新設事業の今後の見直しおよび既存木道の維持管理 ・活動の長期化および社会情勢の変化による自然保護パトロールの実施内容の見直しと規模適正化
歴史資産を活かしたうるおいのあるまちづくり 生涯学習課(文化財係)	・国史跡高島藩主諏訪家墓所の保存活用のための計画策定作業を実施 【実績】専門家による策定委員会を開催、保存活用計画案を作成(コロナ禍のため一部書面審査)	・専門家の指導による具体的な整備計画の策定と実施 ・史跡の価値をアピールする取り組み ・多額の費用が見込まれる事業費について補助金以外の財源確保の検討
文化財の保護と活用拡大 生涯学習課(文化財係)	・「未来に伝えよう諏訪市の文化財-豊田編-」展(10/23～11/28)を開催(博物館・公民館連携) 【実績】期間中入館者数1,747名、講演会98名 ※コロナ禍によりガイドウォークは中止	・次回(R5上諏訪編)で一巡するため、文化財保護思想普及のための新たな取り組みの検討 ・種別ごとの悉皆調査に基づく未指定文化財の把握と調査 ・持続可能な文化財保護を推進するための基本方針の策定
歴史的建造物の調査の実施 生涯学習課(文化財係)	・国重要文化財諏訪大社上社本宮(建造物)保存修理に伴う発掘調査の実施 ・所有者からの国有有形文化財登録希望に基づく現地調査および申請援助	・市内の歴史的建造物についての総合的な悉皆調査を実施し、基礎データの収集および全体像の把握 ・まちづくり関連部署との連携による活用策の模索
諏訪市の著名人に関する紙芝居の作成 生涯学習課(図書館)	紙芝居「岩波茂雄ものがたり」を市内小中学校で上演をしていたが、令和2年度と3年度はコロナ禍で上演ができなかった。	小中学校でのふるさと学習の素材として紙芝居の貸出をするなど、有効活用を検討していく。
寄贈資料の整理 生涯学習課(博物館)	・前年度に引き続き会計年度任用職員1名を資料調査専門職員として任用し、学芸員と共に手長丘資料収蔵室及び博物館収蔵庫にある資料の調査、記録、整理を行った。 ・未処理となっている寄贈資料の調査を進めた。	・調査資料の全体量の把握と収蔵方法の検討や資料の分類と活用へ向けた準備を具体的に進める。 ・資料調査でリスト化した資料のデータベース化を進め、ホームページから検索できる資料を充実させる。
企画展・資料公開展・講座の開催 生涯学習課(博物館)	・特別展 市制施行80周年記念「写真で振り返る諏訪市の80年」4月29日(木祝)～8月22日(日) 3,220人 ・特別展「諏訪信仰と御柱」令和4年3月5日(土)～8月21日(日) 844人(3月31日現在) ・すわ大昔フォーラム「御柱と諏訪信仰」シリーズ全10回をオンライン講座で開催。	・特別展「諏訪信仰と御柱」3月5日(土)～8月21日(日) ・企画展「諏訪信仰と仏たち—知られざる上社神宮寺—」10月1日(土)～11月27日(日) コロナ禍において、自主事業の中止、延期が続くような場合に、人々が本当に必要としている学びの場をどのように工夫して提供出来るかが大きな課題である。

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和4年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
博物館のあり方検討 生涯学習課(博物館)	・諏訪市博物館の重要なテーマの一つである諏訪信仰に関する特別展、フォーラムを開催。 ・博物館資料の集約に向けて、博物館が所蔵する資料の全体像を把握するための資料調査を実施し、今後のあり方に関わる「資料の収集・収蔵・活用方針」について検討。	・資料調査の結果をもとに、「資料の収集・収蔵・活用方針」を暫定版から確定版とし、諏訪市博物館を特色付けるテーマ、運営方針について検討する。 ・友の会の再編と博物館サポーターの育成を行い、地域の歴史関係団体やまちづくりグループとの連携から、博物館で「ひと」と「まち」が出会い繋がる試みを行う。
企画展・特別展・体験学習や講座などの開催 生涯学習課(美術館)	【実績】 ・収蔵作品展「自然とくらし」4/1～5/16 382人 ・特集展示「戸田祐暉5/22～7/18 543人 ・市制施行80周年記念企画展「彫漆家・小口正二」7/24～9/26 676人 ・共催展「第43回諏訪市美術展」10/31～11/7 453人 「長野県書道展諏訪展」中止 ・学校連携展「上中 身近な植物を見つめて」11/9～11/28 436人 ・学校連携展「諏訪清陵高校/城南小+倉谷拓朴」12/4～2/13 480人 他 ・つきいちアート、ギャラリートーク等 10回、参加者97人	・地域にゆかりのある作家の企画展、学校連携展等を引き続き開催し、多くの市民、子ども達に作家の存在や作品を紹介することによって、文化芸術への関心を高めていく。 ・誰もが参加しやすいイベントの開催により、家族連れでの入館者増を図る。 ・イベント補助ボランティアの募集を継続し、増員を図る。 ・ボランティア研修やイベント参加の経験を積み、実践で活動できる人員を育成する。